

令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件

令和3年度使用西宮市立義務教育諸学校教科用図書採択について、別添により審議の上、定める。

令和2年7月20日提出

西宮市教育委員会
教育長 重松 司郎

○ 採択項目

- (1) 令和3年度使用西宮市立中学校、義務教育学校後期課程教科用図書
- (2) 令和3年度使用西宮市立小学校、義務教育学校前期課程教科用図書
- (3) 令和3年度使用特別支援学級用一般図書

令和2年(2020年)7月20日

西宮市教育委員会 様

令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択について

(報 告)

義務教育諸学校教科用図書選定委員会

はじめに

当義務教育諸学校教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という）は、西宮市立小学校、中学校義務教育学校が使用する教科用図書について、西宮市教育委員会が採択するための調整及び審議を行う、西宮市教育委員会の附属機関である。

本年5月21日に委員委嘱を受けた9名の委員から構成される選定委員会は、以来、5月27日に教科別調査員会、学校教育法附則第9条第1項の規定による特別支援学級用一般図書（以下「一般図書」という）調査員会を設置し、6月から7月にかけて教科用図書の調査研究を進めた。

7月1日の第2回選定委員会、7月2日の第3回選定委員会において、各調査員会より調査研究結果の報告を受け、選定委員会による審議を行い、報告をまとめた。

報告書を読むにあたって

◆報告書の構成

はじめに	1 - 2		
(1) 中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告について	3 - 24		
1. 国語 (3-4)	2. 社会 (5-10)	3. 数学 (11-12)	4. 理科 (13-14)
5. 音楽 (15-16)	6. 美術 (17)	7. 保健体育 (18)	
8. 技術・家庭 (19-20)	9. 外国語 (21-22)	10. 特別の教科 道徳 (23-24)	
(2) 令和3年度使用小学校、義務教育学校前期課程教科用図書一覧	25		
(3) 特別支援学級用一般図書の調査報告	27 - 34		
(4) 義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員名簿	35		

◆中学校、義務教育学校後期課程教科用図書調査研究の観点について

調査研究を行うにあたり、7の観点（特別の教科 道徳は8の観点）を設け、観点ごとに、西宮の子供の学習活動の様子に照らして分析をした。観点の趣旨は次のとおりである。

I 全教科に共通に設定する観点

- ① 教科目標から見た編集の適切さ
資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫
- ② 主体的・対話的で深い学びについての工夫
ア. 言語活動を充実するための工夫
イ. ICTを活用した学習活動の工夫
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫
- ③ 他教科との連携の工夫
- ④ 写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ
- ⑤ 表記・表現のわかりやすさ
- ⑥ 単元（教材の配列）の適切さ
- ⑦ 判・ページ数

II 特別の教科「道徳」に設定する観点の変更・追加

② 主体的・対話的で深い学びについての工夫

ア. 言語活動を充実するための工夫

イ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫

ウ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫

エ. 個々の考えを深めるための工夫

オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫

⑧ 現代的な課題への対応

◆中学校、義務教育学校後期課程教科用図書調査報告書内（国語）の下線部表記について
全ての発行者で扱われている教材名について、下線部表記としています。

◆中学校、義務教育学校後期課程教科用図書調査報告書内の発行者表記について
発行者番号及び報告書内において使用している発行者の正式名称は次のとおりである。

2	東京書籍	:	東京書籍株式会社
4	大日本	:	大日本図書株式会社
6	教育図書	:	教育図書株式会社
9	開隆堂	:	開隆堂出版株式会社
11	学校図書	:	学校図書株式会社
15	三省堂	:	株式会社三省堂
17	教育出版	:	教育出版株式会社
27	教育芸術社	:	株式会社教育芸術社
38	光村図書	:	光村図書出版株式会社
46	帝国書院	:	株式会社帝国書院
50	大修館	:	株式会社大修館書店
61	啓林館	:	株式会社新興出版社啓林館
81	山川	:	株式会社山川出版社
104	数研	:	数研出版株式会社
116	日本文教出版	:	日本文教出版株式会社
224	学研	:	株式会社学研教育みらい
225	自由社	:	株式会社自由社
227	育鵬社	:	株式会社育鵬社
229	学び舎	:	株式会社学び舎
232	廣済堂あかつき	:	廣済堂あかつき株式会社
233	日科	:	日本教科書株式会社

(1) 中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告

1 国語

観点	発行・教科書名 東京書籍 2 新しい国語	三省堂 15 現代の国語	教育出版 17 伝え合う言葉 中学国語	光村図書 38 国語	
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	「話す・聞く」「書く」「読む」の学びのポイントをわかりやすく明示している。「読む」→「書く」→「話す・聞く」と系統的に積み上がるように工夫されている。キャラクターの使用、物語やゲームを取り入れた教材、漫画による導入など学習意欲を高める仕掛けを工夫している。	領域別に各教材でつきたい力が具体的に示され、「思考力・判断力・表現力」と「知識・技能」との関連性が示されている。見直しを持って学習を進め、振り返りを通して身につけた力の自覚と達成感が段階的に次の学びへつなげるように系統的に構成されている。	学びナビを教材の前に持ってくることで、なにを学ぶのか意識を持たせる効果が期待できる。国語科の課題、学習者を取り巻く課題を考えるためのキーワードを7つにまとめ、3年間でそれぞれの単元に位置づけている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では「思考する・判断する・表現する」のために、「集める・整理する・表現する」の3つの項目で、また、「読むこと」では「捉える・読み深める・考えをもつ」の3つの手立てを示し、活用方法が示されている。	
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	ア. 言語活動を充実するための工夫	単元ごとに「言葉の力」や、「学びを支える言葉の力」が設定されており、巻末の一覧表で3年間の指導が系統立てられている。「読書への招待」「読書への案内」「読書案内」のページを設け、多様な作品を紹介している。読書活動の一つとして、本のポップづくり(1年P182)やビブリオバトル(2年P88)、読書会(3年P94)を取り上げている。図書館の活用について記載している。(1年P94)	3年間を通して9種類の思考の方法をバランスよく配置し、各教材の学習活動の文脈に沿って活用できるように図解が示されている。「読書体験」「読書の広場」のページを設け、多様な作品を紹介している。読書活動の一つとして、ブッククラブ(1年P181)やビブリオバトル(2年P175)、ブックトーク(3年P179)を取り上げている。	思考と語彙の連携がなされている。学習に関わる語彙や表現をまとめたり、学習用語を取り立てて学習の意識化が促されたりしている。全ての単元の中で、「広がる本の世界」のページを設け、多様な作品を紹介している。読書活動の一つとして、本の帯やポップづくり(1年P59)やビブリオバトル(3年P54)を取り上げている。図書館の活用について記載している。(2年P77)	「季節のしおり」「季節のこぼれ」で、四季に関する言葉や詩歌を紹介して、我が国の言語文化にふれる機会を設けている。「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」のページを設け、多様な作品を紹介している。読書活動の一つとして、本のポップづくり(1年P82)や読書ポスター(2年P82)、ブックトーク(3年P80)を取り上げている。
	イ. ICTを活用した学習活動の工夫	Dマークを示した教材では、QRコードからインターネットを通して利用できる音声や映像などの資料が収められている。「話す・聞く」の音声や古典の朗読・資料映像、文法ゲームなどを、スマートフォンやタブレットからも活用できるようになっている。	「読書の広場」と古典教材にQRコードを設け、「読み方を学ぼう」を活用する補充教材など、資料が豊富に掲載されている。	QRコードでまなびリンクから役立つ情報を得ることができる。図書館の活用、読書に関することや、国語に関する世論調査などの情報、ワークシートなども充実している。	QRコードが示された箇所に、話し合いなどの動画資料や作家へのインタビューなど、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりする資料が収められている。
	ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	各教材を「目標」・「問いかけ」→「言葉の力」→「振り返り」という一貫した学習の流れで構成している。(例:1年P64)「振り返り」は記述式で学んだことを自分の言葉でまとめ、取り組むことができる。	各教材冒頭に、つきたい力として学習目標を提示し(例:1年P172)、「学びを振り返る」では振り返りのキーワードを示している(例:P173)。「確かめよう」では問題に取り組むよう設定されている。	各教材に、読み深め→伝え合い→振り返りの3ステップで構成された「みちしるべ」が掲載されていて、自分自身で学習を調整できる工夫がある。(例:1年P40)	巻頭のページにある「学習の見直しをもとう」では、1年間の学習を見渡せる工夫がある。教材のあとの「振り返る」で理解を定着させるとともに、「つなぐ」で生活に結びつけるような工夫が見られる。(例:1年P35)
	エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	生徒どうしが助言し合ったり、議論を通して考えを深め、互いの考えを生かしてまとめたりする活動が多く設けられている。(例:話し合いで理解を深めよう1年P193)	「学びを広げる」で、他者との交流を図るように設定されており、これからの学習や読書へつなげるような工夫がある。(例:1年P19)話し合いの中から学びがさらに深められるよう場が設定されている。(例:「人間は他の星に住むことができるのか」2年P51)	生徒一人一人の学びが交流できるようにSDGs(持続可能な開発目標)関連の教材を設けている。(1年P76)	「話すこと・聞くこと」において、多様なテーマ・言語活動を配列している。(例:「情報を的確に聞き取る」1年P30・「話題や展開を捉えて話し合おう」1年P146)主体的に聞く力を重視し、「対話・質問」の系統を位置づけている。(例:「聞き上手になろう」1年P116)
	オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「ニュースの見方を考えよう」(1年P184)を通して、普段ニュースを見たり読んだりするときの注意点などを自分の言葉でまとめることで、実生活に生かすきっかけとすることができる教材である。	「資料や機器を活用して効果的に発表する」(1年P98)は、プレゼンテーションを行うために、身の回りや社会生活に目を向け、発見したテーマを、相手や目的に応じて伝えるための工夫ができる教材である。	「持続可能な未来を創るために一人の暮らし方を考える」(1年P76)は、自分の課題を発見できる教材として扱われている。「子どもの権利」(1年P172)では、筆者の主張を読み取る中で、自分の経験と関連付けながら考えをまとめることで、新たな課題発見につながる教材である。	「自分で考える時間」をもとう(2年P64)、「わからない」は人生の宝物(P86)、「達人からのひと言」(P219)では、各界で活躍している方からのアドバイスを掲載し、実社会とのつながりを意識させ、自らの課題に目を向ける工夫がされている。
③他教科との連携の工夫	他教科と相互に学びを深めることができる題材を多く取り上げ、教科関連マークで示している。	思考の方法を9種類取り上げ、他教科の学習でも活用できるようにしている。	各領域において、教科を横断したテーマを取り上げ、汎用性のある学習ができるようになっている。	「つなぐ」を設け、他教科や日常生活にも活用できる指針を掲載している。	
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	カラーユニバーサルデザインに配慮しており、色以外の模様や記号での識別ができるようにしている。古典の折り込み資料等、カラーで見やすく充実しており、便覧が不要なほどである。	カラーユニバーサルデザインに配慮している。パステル調の淡い色彩が多く、見た目が優しい。色の濃淡や野線の使い分け等の工夫がなされている。	カラーユニバーサルデザインに配慮しており、全体を通しての統一感や一体感がある。読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウトや色使いで見やすくなっている。	カラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性を考えた配色にしている。図表は色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋での識別の工夫がある。目次の「話す・聞く」、「書く」、「読む」、「読書・情報」の印が色分けされている。	
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	本文書体には、教科書体に筆遣いや字形を合わせた特別な明朝体を使用し、小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮している。	文字については、自社作成のゴシック体・明朝体・教科書体を使用している。また、漢字のしくみでは、画数、筆順が二色で示され、理解しやすい工夫がある。	ユニバーサルデザインフォントが使われている。筆順、画数を判断できるように配慮された書体を用いている。新出漢字が太字で表記されており、見やすい。	自社作成の明朝体・ゴシック体を用いられている。書体の特徴を損なわない範囲で画数や点画の付き方を調整している。手書き文字との差が学習上の支障にならないように配慮されている	
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	言葉の力として7つの活動でまとめられ、「書くこと」が後ろに多く配列されている。「ニュースの見方を考えよう」(1年)では情報活用能力やメディアリテラシーを育成することができる。 【文学教材】(1年)少年の日の思い出 トロッコ (2年)走れメロス 坊ちゃん 字のない葉書(3年)最後の一句 形故郷【韻文教材】(1年)月夜の浜辺(2年)春暁 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 春望 絶句(3年)初恋【韻文教材 短歌・和歌・俳句】(1年)俳句3(2年)短歌15(3年)万葉集(和歌10)古今和歌集(和歌4)新古今和歌集(和歌4)奥の細道(俳句12)	領域ごとにまとめられ、関連づけや指導計画の編成が必要である。「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」(1～3年)では、情報を見比べ、多様な考えに触れ、考えをまとめる力の育成ができる。メディアリテラシーに関する資料も掲載されている。 【文学教材】(1年)少年の日の思い出 トロッコ 字のない葉書(2年)走れメロス 小さな手袋 (3年)坊ちゃん 故郷握手 高瀬舟【韻文教材】(1年)朝のりレー(2年)大阿蘇春暁 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 春望 (3年)初恋【韻文教材 短歌・和歌・俳句】(2年)短歌12(3年)万葉集(和歌8)古今和歌集(和歌3)新古今和歌集(和歌3)奥の細道(俳句13)	7つのキーワードをもとに教材が構成されており、「読むこと」に力点が置かれ、バランスよく配列されている。「構成を考えて主張をまとめる」(3年)では、新聞の社説の比較などを用いながら、メディアリテラシーや情報活用能力を育成することができる。 【文学教材】(1年)少年の日の思い出 蜘蛛の糸 オツベルと像(2年)走れメロス 坊ちゃん 字のない葉書(3年)最後の一句 故郷【韻文教材】(1年)ふしぎ 四季の詩(3年)黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 春望 初恋【韻文教材 短歌・和歌・俳句】(1年)俳句4、短歌4(2年)短歌18、俳句4(3年)万葉集(和歌8)古今和歌集(和歌4)新古今和歌集(和歌4)奥の細道(俳句14)	各学年8つのまとまりで教材を構成しており、まとまりごとの教材数はバランスよく配列されている。「情報を集めよう」(1年)では、グラフや資料などをもとに情報を活用する力を育成することができる。図書館やインターネットの活用についても触れている。 【文学教材】(1年)少年の日の思い出 坊ちゃん(2年)走れメロス 字のない葉書(3年)故郷 握手 高瀬舟【韻文教材】(1年)朝のりレー 大阿蘇(2年)月夜の浜辺 春暁 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 絶句(3年)初恋【韻文教材 短歌・和歌・俳句】(2年)短歌11(3年)万葉集(和歌9)古今和歌集(和歌3)新古今和歌集(和歌3)奥の細道(俳句13)	
⑦判・ページ数	B5判 1年332、2年336、3年344	B5判 1年351、2年351、3年335	B5判 1年344、2年356、3年344	B5判 1年334、2年329、3年318	

1 国語(書写)

観点	発行者・教科書名 東京書籍 2 新しい書写	三省堂 15 現代の書写	教育出版 17 中学書写	光村図書 38 中学書写
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	「見つけよう」で文字から書写のかぎを見つけ出したり、「生かそう」で書写のかぎを他の文字に応用したりする活動を行うことで、思考力・判断力・表現力が養うことができる。文字文化コラム「文字のいずみ」を中心にして、伝統と文化を尊重し継承しようとする態度が育めるよう配慮している。	各単元の基本の流れが、「字形の整え方と筆使い」→「書いて身につけよう」→「学びを広げる」という構成になっており、基本的な知識や技能を身につけ、さらに理解を深め、学校生活や社会生活に生かせる力を獲得できるよう工夫している。	学習の進め方を明記し、生徒の書字例や活動写真を示すことで、知識・技能を習得する手立てとなっている。話し合いや気づいたことを書き込むことで、主体的・対話的で深い学びにつなげられる。	学習のポイントがひと目でわかるよう、学習の窓を設けている。また、書写ブックを設けることで、書く力の定着を図ろうとしている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	文字を正しく整えて速く書くための知識・技能を整理して、書写のかぎと名付け、学習事項を明確化・焦点化している。また、生活の中で活用する単元を組み合わせることで、学習した内容の確かな定着を図っている。	「書いて身につけよう」では、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、実践的な力の定着が図れるよう工夫されている。資料編「日常の書式」では、送り状の宛名やのし袋の書き方等、生活に必要な書式を提示している。	硬筆、毛筆とも、学年における生徒の発達段階や語彙・言語環境等を考慮して、言葉としても適切かつ書写の学習要素が理解できる文字や語句を選んで教材化している。案内文、報告文、掲示物などの言語活動例が豊富に掲載されており、書写学習で習得した能力を活用できる構成になっている。	「書写ブック」において、毛筆教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定し、硬筆の関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆に生かせるよう工夫している。文字の歴史や書文化への理解を深めたり、活字やデザイン文字等、伝達表現としての文字に目を向けたりできるよう工夫している。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	イ. ICTを活用した学習活動の工夫 学習に役立つデジタルコンテンツが提供されており、目次にQRコードが掲載されている。毛筆教材文字の運筆動画などを見ることができる。単元を見開きにし、振り返りまでが一目でわかるように配置されている。	「基礎編」では、書写の学習に役立つ動画資料として、デジタルコンテンツを提供している。教科書掲載のQRコードを読み取ることで、硬筆・毛筆の姿勢や持ち方、筆の運び方、用具の扱い方等、基礎的な内容を確認できるよう工夫している。	学習に役立つ情報を集めたまなびリンクというウェブサイトがある。目次のQRコードやURLでページにアクセスすることで、毛筆教材の運筆動画を見ることができ、運筆のリズムや字形のとり方を確認することができる。	QRコードがある教材で、動画コンテンツを閲覧することができる。「用具の準備・片付け」では、スムーズに用具の出し入れを行う手順が分かりやすく解説してある。運筆動画や筆記具の持ち方、アルファベットの書き方等の動画も豊富である。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	巻頭の書写で学ぶことで何を学び、何ができるようになるのかを意識できるようになっている。単元末の振り返って話そうでは学んだことを説明する対話的な活動を取り入れて、対話を促している。	全単元に学習目標やねらい、振り返りを設定している。学習したことを意識して文字を楷書や行書で書く(硬筆)スペースが設けられておともに、最後の振り返りで、学んだことを書き記す欄を設けている。	「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の学習手順で学習プロセスの明確化を図り、どのように学ぶかの見通しが持てるよう工夫している。	全単元において、「目標」、「学習を振り返る」を設定している。 ①考えよう ②確かめよう ③生かそう という単元構成でシンプルかつわかりやすくしている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	書写の学習の進め方のサイクルの一つ、振り返って話そうにおいて、自分で書いた文字を使って、分かったことや考えたことを説明する活動を設定している。	「やってみよう」では、グループ新聞や情報誌の作成、名言集等を作る活動を設定している。編集会議やできあがった作品を読み合ったり、感想を述べ合ったりする活動を設定している。	ポスターセッションや学校行事の案内状などの活動を通して、相手や目的を意識することで書く力を身につけようとする工夫がある。課題解決の方法の一つ、話し合い活動では、話し合いのポイントを示している。	壁新聞を作ろうや文字の特徴を話し合うなど、グループ活動を設定し、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力を育めるよう工夫している。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「身の回りの文字の目的と工夫」(P80)では、兵庫県に関する案内標識や、生活の中で目にする案内表示などを資料として掲載している。身の回りの文字の目的を考えると、目的に沿って美しく文字を書くことを、自分の生活に生かせる教材である。	「グループ新聞を作ろう」(P48)では、これまでの学習を生かしながらグループで編集会議を開き、取り上げる出来事を話し合う活動が設定されている。学校生活を振り返り、記事を選ぶことで、生活と書をつなげて考えることができる教材である。	「多様な表現による文字」では、兵庫県を含む様々な場所の案内表示が掲載されている。身の回りの文字表現を考えることで、生活と書と結びつけながら、効果的に書くことについて学習が深められる教材である。	全国文字マップ(P92~P94)では都道府県にある石碑を扱い、身の回りの文字や書体を考える資料が掲載されている。「はがきの書き方」(P114)では、日常に役立つ書式が紹介されている。自分の生活と書をつなげ、課題発見ができる教材である。
③他教科との連携の工夫	国語や他教科との関連をマークで示し、防災・環境、キャリア教育、国際理解、情報、バリアフリー教育など現代的諸課題に関連した題材や文字を取り上げている。	私の好きな言葉、文字の歴史を探る、壁新聞を作ろう、都道府県行書一覧と県章等が示され、他教科と関連づけられている。	生活に広げようでは、教科書関連マークを示し、国語、防災学習、キャリア学習とのつながりが意識できるよう工夫している。	レポート、手紙、本の帯やポップ、ポスター案内文などから、防災・環境教育・キャリア教育・高校への接続性等が図られ、他教科と関連づけている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	基本の点画では筆の向きをイラストや筆の写真を用いてわかりやすく示している。右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置している。AB版で、大きな書き込み欄と、情報の区切りが分かりやすい紙面を実現している。	B5版で色による区別に加えて、形の違いや記号、番号、説明文等の補助的な手がかりを設けている。色の濃淡や罫線の使い分け等の工夫を凝らし、情報を整理しやすくしている。挿絵、図版を適所に配置して、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。	AB版で書写で学習した書き方が、他教科の学習活動や日常に生きて働くような活動場面の写真が豊富に掲載されている。見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトに工夫されている。色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色になっている。	学習のポイントを示す学習の窓や、問題解決のヒントを与えるキャラクター等、紙面を構成する要素の役割を明確にし、生徒の主体的な学習の助けとなるよう配慮されている。B5版で複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用している。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	筆の動きを視覚的にわかりやすくするために、穂先の通り道が分かるように朱墨文字も使用している。硬筆・毛筆文字は印刷の濃度や色味を調整して、本物に近く見やすいものになっている。	生徒自身がページ全面を使用して書き込みをするページが多い。巻末の補充資料で見本が多く提示されている。2色の薄墨で解説図版を掲載している。	視写ができるページを多く採用し、単元名や目標が見本半紙の外側に配置され、半紙のイメージを大切にしている。2色の薄墨で解説図版を掲載している。	主な学習要素は大きく、それに付属する要素は小さく簡潔に示されている。硬筆練習や視写用に書写ブックを別冊にしている。2色の薄墨で解説図版を掲載している。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	各学年ごとに生活に広げられるよう、文字を整えて書く場を単元内に設けるとともに、日常生活に生かせる単元を配置している。	小学校書写と高等学校芸術科書道との繋がりが意識できるよう、教材を配置するとともに、各学年ごとに文字文化に触れられるような単元を配置している。	整えて書く場面に生かせるよう、普段の学習活動を意識した単元を各学年ごとに時期を考慮し配置している。	文字を整えて書く場が単元内に多く設けられている。国語と連動できる教材を豊富に配列するとともに、日常とのつながりが実感できる教材も豊富である。
⑦判・ページ数	AB判 112	B5判 128	AB判 144	B5判 157

2 社会(地理的分野)

観点	発行者・教科書名	東京書籍 2 新しい社会 地理	教育出版 17 中学社会 地理 地域にまなぶ	帝国書院 46 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	日本文教出版 116 中学社会 地理的分野
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫		巻頭部分で、持続可能な社会の形成の実現に向けて明確に示しており、学習方法も系統的に示されているため、「主体的な学び」につながりやすい。各章毎でテーマも明確にしており、現代的な諸課題に対して考えることができるような工夫がみられる。	「持続可能な社会を創造する市民の育成」を柱とし、主権者として共に生きる力を育むために、社会のしくみや課題を読み解き、自分の言葉で学び合い、市民的教養としての基礎・基本を身につけられるように工夫されている。	「地理的な見方・考え方」について、全体を通して考えていく流れになっている。日本のさまざまな地域の学習では、「社会的な見方・考え方」を働かせる中で、環境や産業、防災、地域振興など課題を追究したり解決する内容になっている。	「地理的な見方・考え方」の5つの観点「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」がイメージしやすいように工夫されている。SDGsや災害・防災・減災といった現代的な諸課題に関わる教材が多数用意されている。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	ア. 言語活動を充実するための工夫	「探究課題を解決しよう」(p.19など)のコーナーや「見方・考え方」(p.41など)を設定し、自分の言葉で説明したり、一例を挙げて説明をするなどがあり、言語活動につながる工夫がされている。	学習課題と対応させた「表現」のコーナー(p.21など)は、課題などに関わる説明や話し合いの活動があり、言語活動につながる工夫がされている。学習のまとめでは「意見を交換しよう」という投げかけがあり、言語活動につながる工夫となっている。(p.127など)	「節の学習を振り返ろう」(p.64~65など)では、「社会的な見方・考え方」を働かせた章の問いに対する答えを論理的に説明し、多面的・多角的に考察できるように構成されている。また、各見開きにある「説明しよう」では文でまとめる課題を設定し、多様な言語活動につながる工夫がある。	「確認」(p.11など)には「長所短所に分けて説明しよう」とあるなど、論理的に説明する工夫がされている。地域のあり方の章(p.263~)では、話し合いや考察のメモが示され、論理的にまとめていく工夫がされている。
	イ. ICTを活用した学習活動の工夫	QRコードの掲載がある(p.5)Dマークがつけられており(p.48など)、Webサイト(国土地理院など)から情報を得ることができる。クイズや時差の調べ方などのシミュレーションができ、他分野関連資料も閲覧できる。	各章の最初に、Webサイト(総務省統計局や国際連合広報センター、外務省など)とリンクさせて学習に役立つさまざまな情報を利用したり、動画視聴ができたりするQRコードを掲載している。	QRコードから動画でも地域の姿を概観することができる。Webサイト上でWeb版「地球儀」やNHK for Schoolなどにつながるようになっている。	QRコードが掲載されている。デジタルマークの箇所は、Webサイト(三重県HPや博物館のバーチャル体験など)を利用することができる。教科書内容の理解を助ける動画やワークシート活用ができるようになっている。
	ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	毎時間の学習課題が明示されており、学習課題を解決するために学習の最後に取り組む課題として「チェック&トライ」(p.81など)が示されている。また、各章節のまとめでは「基礎・基本のまとめ」、「探究のステップ」(p.86など)が設けられており、学習の振り返りに工夫がみられる。	冒頭の「地理の学習を始めるにあたって」(巻頭p.1-4)で、小学校社会科との接続・関連を図ると同時に、「地理的な見方・考え方」を働かせて学習が展開できるように示されている。また、地球的課題がSDGsの目標の何と関連するのかを考えられるように構成されている。	冒頭の「この教科書の学習のしかた」(巻頭p.5)で、学習の見通し・展開・振り返り活動の基本的な流れが示されている。知識を整理する作業から、深い学びの課題まで段階を踏みながら学習できるようになっており、振り返りでは、「確認しよう」「説明しよう」という課題が設けられている。	ページ始めに「導入資料」と「学習課題」が、ページ終わりに学習の課題を確かにする問いが「確認」として示されている。単元の終わりには、「アクティビティ」(p.261など)のコーナーが用意されており、具体的な課題を考える活動を通して学習を深められるようになっている。
	エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	各単元におけるまとめの活動において、「みんなでチャレンジ」(p.52など)を設定することで、グループディスカッション等を促し他者と関わって学習を深めることを想定した教材を設けている。多様な意見に触れながら学習を深め、価値判断や意思決定が行えるような工夫がみられる。	「学習のまとめと表現」(p.215など)では、設定されたテーマについて、まとめた意見について互いに話し合う「意見を交換しよう」を設けている。また、今日的な課題に迫る「特設ページ」(p.116など)を設け、グループで学びを深めていく工夫がみられる。	「節の学習を振り返ろう」(p.92~93)では、課題の背景を踏まえた上で、論点を絞り根拠を持ってグループで話し合う場面が設定されており、学習を深める工夫がされている。「技能をみがく」(p.152~153)では、生活につながる情報があり、活用に結びつける工夫がある。	具体的な課題を自ら調べたり、クラスで議論する活動ができる「チャレンジ地理」(p.70など)が設けられている。発達段階を考慮し、考えを図や表などを使って表す思考ツールを体系的に用いて、グループで課題を追究するなど、様々な場面で思考力・判断力・表現力等の向上を図ることができるようになっている。
	オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	単元を貫く問いとして「探究課題」が設定され、それを達成するための「学習課題」、深い学びへの「探究のステップ」の3段階で構造化されている。「資料から発見！」(p.123など)では、段階的に資料活用の技能が習得でき、地域の特色に応じた課題を発見できる工夫がみられる。	学習課題に対して、地図やグラフなどの諸資料に「Q」のマーク(p.32など)で問いを設けて、課題意識をもって資料を読み取り、学習が進められるように留意されている。また、興味や関心を広げていくコラム「地理の窓」(p.45など)を設け、さらに課題発見ができる工夫がされている。	「学習を振り返ろう」、「確認しよう」、「説明しよう」などというように問いが構造化されている。実社会の人々の話を多数紹介しており、(p.42、46、72など18か所)日本だけでなく世界の人々の生活を知ること、様々な問題を見だし、課題を発見しながら考えを深める工夫がある。	「深めよう」(p.69など)では、今後解決すべき課題は何かを話し合う場面が設定してある。「アクティビティ」(p.115)では多文化共生についてゲーム形式で話し合う場面が設定されているなどの工夫がある。
③他教科との連携の工夫	他教科の学習と特につながりの強い内容に教科関連マーク(p.23、35など)が示されている。また、写真資料に分野関連マーク(p.54-55)を付し、歴史・公民との関連も示されている。	本文の下の、歴史・公民との関連が示されている。また、世界の諸地域での各単元において、その地域にみられる地球的課題が、SDGsの目標の何と関連するのかの視点で構成されている。	本文の下の、歴史・公民との関連性が示されている。「未来に向けて」(p.69など)ではSDGsの取り組みを紹介している。また、全編を通じて人々の営みや努力の姿が伝わるように道徳教育に関する事項にも配慮されている。	本文の下の「連携コーナー」(p.18など)で、歴史・公民とのつながりが多数掲載されている。また、道徳に関わる「社会参画、公共の精神」、「国際理解、国際貢献」等について各所で取り扱われている。	
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	地図では、各地域の特徴をイラストを入れて掲載している(p.57など)。写真も大きく掲載し(p.62など)、文字が縁取られ、資料中の線も破線を減らす(p.96-97など)などの工夫がみられる。	単元の導入部分で生徒の興味・関心を高める写真を大きく掲載し(p.48など)、資料にも工夫がされている(p.247など)。また、地図と写真を工夫し構成している(p.248など)。カラーユニバーサルデザインを採用している。	折れ線グラフなど、線種を変える工夫を行い、色以外の情報からも読み取ることができる。日本の諸地域において、写真・図表、分布図、挿絵などが豊富である。「カルデラ」(p.174)など理解しづらい単語には、図解が添えられていて視覚的な工夫がみられる。	写真資料が大きく示されており(p.58など)、生徒の興味関心が引きやすくなっている。地図やグラフなどは、読み取りやすい配色になっており、さらに形や模様によって色に頼らずに読み取ることができるようになっている。	
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォントが使用され、ユニバーサルデザインに配慮した編修が行われている。語句に適宜ルビがつけられている。	ユニバーサルデザインフォントなどの工夫により、学びやすい紙面になっている。語句に適宜ルビがつけられている。	見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。重要語句にルビが付けられている。	教科書本文には、読み間違えにくいようにユニバーサルデザインフォントが使用されている。小学6年生以上で学習する漢字の初出の箇所や、重要語句にルビが付けられている。	
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設け、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	第3編第4章「地域のあり方」では、「日本」の学習成果をふまえ、地域の発展に努めようとする社会参画の視点から、公民的分野との連携を考慮して配列されている。	各節の冒頭のイラスト地図から、各地方を概観し、これから学ぶ地方の特色や小学校の既習事項も確認でき、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	第1編で地域の諸事象を理解する視点を養い、これを生かして世界及び日本の諸地域を学習し、地理的な見方・考え方を働かせることができる配列となっている。	
⑦判・ページ数	AB判 295	AB判 295	AB判 299	AB判 287	

2 社会(歴史的分野)

観点	東京書籍 2 新しい社会 歴史	教育出版 17 中学社会 歴史 未来をひらく	帝国書院 46 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	山川出版社 81 中学歴史 日本と世界
①教科目履から見た編纂の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	主体的・対話的で深い学びを通じて、持続可能な社会の実現に向けて、「今を問い、未来をともに拓く力」を育てることを柱とし、基礎的・基本的な知識・概念や技能を身に付ける、多面的・多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を持つ、持続可能な社会の形成に参画することを目指した3つの方針に基づき編修されている。	歴史を学ぶ「楽しさ」を実感しながら、確かな理解とそれを活用する力の育成を図る。歴史的事象を多面的にとらえるなかで多様な見方・考え方を深めるとともに、自分の言葉で表現する力の育成を図る。主権者として主体的に社会に参画し、持続可能な多文化共生社会を創造する態度の育成を図ることを目指した3つの方針に基づき編修されている。	人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていける教科書を基本方針としており、資質・能力の3つの柱に基づいて編修されている。また、当時のさまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動を多数設け、社会の多様性へのまなざしを備えた正義感や責任感を涵養するなどの工夫を行い、多様化した社会の中で互いの文化の尊重について考えていく主旨が伺える。	日本と世界がどのような歩みを経て現在に至ったかを、わかりやすく理解できる教科書であるとし、その具体として豊富な発問で、歴史的な見方・考え方を身に付けることができる教科書、世界史も含めた歴史全体の流れをつかむことができる教科書など4つの特徴が示されている。歴史を学ぶことを通じて社会を知り、自ら考え、社会を作る力を養うことを目指している。
ア. 言語活動を充実するための工夫	5つの歴史的な見方・考え方(時期や年代/推移/比較/相互の関連/現在とのつながり)を活用して取り組む場面にはマークが付けられており(p.32など)、より深い思考・判断ができる言語活動の工夫がされている。	歴史にアプローチでは、歴史学習の中で見方・考え方(時期や推移、比較、関連)を働かせるための方法が説明され、活発な言語活動を促す工夫になっている。各節の終わりに、特に重要だと考えるできごとや言葉を1つ選び、自分の言葉でその理由を説明する学習活動が組み込まれている(p.29など)。	「歴史的な見方・考え方を働かせよう」では、歴史的な見方・考え方(時期や年代/推移/比較/相互の関連)を働かせるための特集ページが設けられており、具体的に示されている(p.12)。また、「未来に向けて」のコラムを通して、対話的な学習がしやすいように課題が明示されている(p.51など)。	p.26、p.48に、資料を比較して学習を深めることができる資料の掲載がある。社会的な事象をものごとの差異や共通点に着目させることで、「歴史的な見方・考え方」を捉えさせるような発問が提示されている(p.52など)。さらに、各章のまとめでは、自分の言葉で説明させる構成となっている(p.60-61など)。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	DマークやQRコードが付けられており、専用のウェブページなどから、クイズや動画などを通して学習をサポートする情報を得ることができる(p.120など)。他教科との関連ページが閲覧でき、論語や万葉集などの資料などもある。	教科書とWebサイト(文化庁や日本芸術文化振興など)をリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」というマーク(QRコード)が、各章の初めのページに付けられている(p.17など)。	QRコードの利用で、教科書に掲載されている資料の一部を、タブレットパソコンなどで閲覧できる仕組みになっている。各章冒頭のQRコードでは学習内容に関連する動画を、章末特設「章の学習を振り返ろう」では知識を確認する問題の解答を閲覧でき、自学自習が支援される内容となっている(p.102など)。NHKforSchoolも視聴できる。	QRコードを用いた「くわしく見てみよう」(p.133など)や、くわしく聴いてみよう等のコーナーを通して、博物館・資料館のホームページや動画を見たり、音声を開いたりすることができる内容が所々に盛り込まれている。また、地域からのアプローチでは、奈良・福岡・札幌などを様々な角度から考察し、歴史的分野の内容と紐付けて多角的に考察できるようにしている。
ウ. 学習を見通したり振り返りやすいたるための工夫	導入の活動では、図、年表、資料、写真があり、探究課題が明示されている。節ごとの「探究のステップ」では、学びが深められるようになっている(p.18、p.19など)。小单元ごとに「チェック」「トライ」として、学習内容を振り返り、確かめることができる(p.119など)。「まとめの活動」を設け、思考ツールを使って学習内容を整理することができる。	「とびら」「本文・特設」「まとめ表現」という紙面構成となっており、系統的に学習の見通しが立てられ、まとめにも取り組みやすい工夫が見られる(p.18、p.56など)。	巻頭に「学習のしかた」が設けられており、学習活動の基本的な流れを明示している。各章の「章の学習を振り返ろう」の右ページでは、歴史的な見方・考え方を働かせて、「章の問いに対して自分の考えを整理しよう」→「話し合いを通して自分の考えを深めよう」→「この時代の特色を理由とともに説明しよう」という流れで各時代の特色を説明する活動が組み込まれている。(p.57など)	「歴史を考えよう」では、課題を話し合い、考察する工夫がされている(p.56など)。また、各学習内容の末に「ステップアップ」として、まとめをする項目が明示されているため、復習に取り組むやすい(p.17、p.19など)。各章末の「まとめ」の5では、章全体の時期・推移・因果関係・差異などに着目させる発問が設定されており、各時代の流れ・特徴を振り返ることができる構成となっている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や身体的な活動を取り入れるための工夫	小集団での参加型学習みんなでチャレンジを設けることで、本文での学習内容を確実に理解させ、話し合いなどの対話的な活動を通じて学習を深められる。	「歴史すごろくにチャレンジしよう」(p.2-3)や「人物カード作り・チーム作りチャレンジしよう」(p.6)、「身近な地域の歴史を調べよう」(p.10-16)など、仲間と協力して取り組むことができる内容が見られる。	節の冒頭に設けられているタイムトラベルでは、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観する内容が組み込まれており、資料の読み解き活動から前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、学習の動機づけや方向づけができるようになっている(p.58-59など)。	「歴史を考えよう」(p.178-179など)や「歴史へのアプローチ」などでは、取り上げた美術品や史跡などから課題を話し合い、考察しながら歴史を学ぶことができるような構成となっている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「課題をつかむ→課題を追究する→課題を解決する」という構成のもと、課題解決的な学習の流れが確立されている。多文化共生都市・神戸(p.200)、「解放前から水平社へ」(p.240)、「持続可能な社会に向けて」(p.270-271)、「日本のエネルギーのこれまで」(p.272-273)などで環境やエネルギー、多文化共生、人権、同和問題などの現代的な諸課題を扱っている。	学習課題と対応させた「確認」「表現」のコーナーがあり、話し合いなどの課題解決学習が段階的に取り組める工夫がある。「働く女性や子どもたち」(p.88-89)、「リサイクル都市・江戸の町人」(p.140-141)、「改革や平等を求めて」(p.166-167)、「琉球とアイヌ文化を伝えた人々」(p.184-185)などで環境や人権、多文化共生などの現代的な諸課題を扱っている。	「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、特設「多面的・多角的に考えてみよう」では、社会で見られた課題に対する当時の様々な立場や選択を踏まえて考える活動がある(p.188-189など)。「森林伐採と植林」(p.127)、「人々を魅了した洋菓子文化」(p.226)、「男女共同参画社会へ」(p.273)などで、環境や多文化共生、人権、平和などの現代的な諸課題を扱っている。	見開きごとに学習課題が設定されており、各ページのステップアップでは、その章に関わる疑問点を投げかけ、説明を促したり、調べ学習につなげたりする工夫がされている。「現代の日本と世界」「琉球の歴史と文化」(p.88-89)「アイヌ民族の歴史と文化」(p.90-91)などでは、人権や多文化共生などの現代的な諸課題を扱っている。
③他教科との連携の工夫	連携を重視したところについて教科書関連マークが付けられており、横断学習の確認がしやすい。また、同マークに合わせて、Dマークが付いている箇所は、当該教科の教科書の紙面をQRコードやURLから確認することができる。	身近な地域の歴史の学習では、学校外での活動において留意すべきマナーが身につくような項目を設け、他教科の調べ学習にも反映できるように工夫されている。	第1部において「歴史のとらえ方と調べ方」の内容を充実させ(p.2-11)、他教科でも反映できるような情報分析の技能を育成し、自主・自律の精神を養えるように工夫されている。	情報の活用について「身近な地域を調べよう」においてテーマ設定や調査方法、発表方法など(p.8-13)、他教科の調べ学習にも反映できる情報が掲載されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	単元名などでフラットデザインが採用されており、特別支援教育の観点から、学習に必要な情報に集中できるような配慮がある。また、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色が使用されている。グラフや地図などでは、読み取りづらい破線や点線が少ない。(p.75モンゴル帝国の拡大など)。	色覚特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトなどが工夫されており、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮されている。	インクルーシブ教育の考え方に則った表現面への配慮が見られ、すべての生徒が読み取りやすい紙面となっている。また、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色が使われている。	図版が大きく掲載されているので、見やすいものになっている。また、地図やグラフはカラーユニバーサルデザインにも配慮されており、読み取りやすくなっている(p.148-149など)。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性が高い。ゴシック体の振り仮名が採用され、小さな文字が読み取りにくい生徒への配慮がある。視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象が軽減されている。	ユニバーサルデザインフォントが使用されており、読みやすい文字となっている。また、文章中の重要語句は目立ちやすいフォントになっており、振り仮名も見やすくなっている。	見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されており、学習上支援が必要な生徒に限らず、すべての生徒への配慮がなされている。	各時代の歴史がくわしくいねいに説明されている。また、学習学年に合わせて、ルビも適切につけられている。各テーマを理解するための発問があり、本文を読む上での視点が示されている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時帯など)	小学校の学習指導要領で示された42人の人物や文化財、出来事を振り返る活動を設け、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	全体を7つの章に分け、節のまとめや単元の配列を工夫することで、各時代の特色を捉え、歴史の大きな流れをつかみやすいように構成されている。	節の冒頭に設けた時代を概観するイラストにより、小学校で学習した人物や既習事項を確認でき、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	各章に日本史と世界史の年代を上下に分けて示す帯年表を付し、2・8・13・16・18世紀の世界をイラスト等で紹介し、世界の状況を通観し理解できるように配列されている。
⑦判・ページ数	AB判 295	AB判 298	AB判 292	AB判 288

発行者・教科書名	日本文教出版 116 中学社会 歴史的分野	育鵬社 227 [最新] 新しい日本の歴史	学び舎 229 ともに学ぶ人間の歴史
①教科目横から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	新しい時代を担う主権者を育てるを基本理念とし、確実な知識・技能の定着、主体的・対話的で深い学びを通じた思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性を養うという3つを編修の基本方針としている。	国民としての自覚をもって国際社会で主体的に生きる力を育てる！を編修の基本方針とし、何を学ぶかを、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深められる内容構成、主体的・協働的(対話的)に学ぶアクティブラーニングと言語活動の重視という2つを軸に構成されている。	生徒が国際的視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民的資質を備えるべき、第一歩となること、生徒が正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいて、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を培うことなど、目指す生徒像として6つの具体が示されている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	小学校での学習を振り返りながら、歴史的な見方・考え(時系列/推移/比較/つながり)がわかりやすく解説されている(p.12-13)。また、本文の学習ごとに「見方・考え」のマークが付けられており、4つの視点のいずれかをを用いた課題が設定され、言語活動につなげることができる(p.68など)。	「つかむ→調べる→まとめる→表現する」という問題解決学習の教材の配列になっており、言語活動につなげることができる。「虫の目で見ると鳥の目で見ると」では、(p.162, p.216など)言語活動につなげる様々な発問がされ、学習を深めるための工夫になっている。	単元の導入で学習課題が示され、何を中心に学ぶかがはっきりしている。また、資料が大きく表示されているので、対話的な言語活動を充実させ、学習を深めることにつながる(p.10-11, p.54-55など)。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	特設ページ「チャレンジ歴史」では紙面上にデジタルマークが掲載されておりQRコードからアクセスができる。ワークシートやスライド、動画などがあり、資料をもとに自分で考えたり対話を取り入れたりして興味・関心を高め、歴史を学ぶ面白さを体験できる内容となっている。	「地域の歴史を調べてみよう」(p.13-18)では、調べ学習の手法として、ウェブページの検索についての説明が見られる。また、「歴史ズームイン」では、多彩なコラムなどを用いて、学習内容をより深めることができる(p.146など)。	特設ページ「歴史を体験する」では、インターネットで洛中洛外図屏風を見ることができ、情報活用能力の育成ができるような聞き取りやまとめ方なども紹介されている。また、インターネットなどを利用した調べ学習の道筋が示されている(p.7など)。
ウ. 学習を見通し振り返り振り返りするための工夫	第2編～第6編は、生徒が導入ページで見通しを持ち、本文ページや特設ページ「チャレンジ歴史」で見方・考え方を働かせながら考察を進め、まとめページで学習の整理と活用ができる基本構成となっている。「私が考える『中世』の特色」(p.105)では、習得した知識を関連させて時代の特色をとらえ、学習の振り返りができる工夫がある。	歴史モノサシにより、歴史の大きな流れが捉えやすく、学習の見通しが持ちやすい。学習のまとめでは、文章記述など自分の言葉で説明し、理解を深めることができるため、学習の振り返りにつながる工夫がされている。(p.67など)	各地域の生活や世界のつながりが視覚的に捉えやすいように工夫されている(p.10-11, p.246-247など)。章のふりかえりや部の学習のまとめで、学習した用語を用いて論述したり、説明や発表させたりすることで学習を深めることができる(p.52-53など)。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や主体的な活動を取り入れるための工夫	「歴史を大きく変えた人物はだれだろう」(p.8-10)では、「ふり振り返り→課題→調査→対話→まとめ」という学習の流れの中で、調べ学習のポイントや対話を通じて考えるときポイントなどが盛り込まれている。	各章の「歴史のターニングポイント①～⑥」(p.64など)では、各時代を象徴する大きなできごとについて様々な資料をもとに詳しく掘り下げて考え、意見を交換し議論する活動が組み込まれている。	章のふりかえりや部の学習のまとめでは、学習した内容を用いて自分の言葉で論述し、説明・発表させる活動が数多く組み込まれている(p.52-53)。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	学習課題と対応させた「確認」のコーナーがあり、自分の言葉で説明させる活動がある。「歴史との対話」を未来に活かす(p.298-P305)という教材の中に、災害の歴史に学ぶ、政治参加の歴史に学ぶ、世界平和への取り組みに学ぶというテーマが設定されている。課題について学習したことや資料を関連づけながら考えをまとめ、よりよい未来を構想する教材として編修されている。	各章の「○○の世界へようこそ!」、巻末の「歴史学習のまとめ①②」では課題と向き合う設問がある。「人物クローズアップ」(p.81など)や「なでしこ日本史」(p.154など)では、各時代を代表する人物を取り上げ、歴史上の様々な課題と向き合い、考えることができる。「現代の日本と世界」では環境やエネルギー、平和、グローバル化など現代的な諸課題を扱っている。	地図や年表や歴史的な事象を関連付けたり、意見を交換したりして課題解決をする場が設定されている。(p.84-85, p.134-135など)また、例えば、第一章文明のはじまりと日本列島では、原始・古代の学習課題が示され、単元の中で自らが課題を発見しながら学んでいく工夫がある。「現代の日本と世界」では、貧困や差別、平和、ジェンダーフリーなどの現代的な諸課題を扱っている。
③他教科との連携の工夫	「でかけよう! 地域調べ」(p.185など)では地域の調べ方・学び方について紹介をし、他教科の調べ学習にも反映できるように工夫されている。	巻頭で新聞づくりの方法や、調査活動に便利な道具の紹介など、他教科でも反映しやすい調べ学習の方法について掲載されている。	インターネットを利用した、洛中洛外図屏風の調査(p.104-105)など、他教科でも反映しやすい調べ学習の方法が例示されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	グラフや図版、カラーユニバーサルデザインに配慮した配色や処理が行われており、見やすくなっている。また、文化財や絵画資料を大きく掲載し、楽しい学びになるような工夫もされている(p.78など)。	図版は色覚特性を踏まえ、判別しやすい色の使用や表示の工夫がされており、見やすくなっている。また、図版や写真などの資料が大きく掲載されている(p.162, p.163など)。	色覚特性に配慮し、歴史地図・グラフをカラーユニバーサルデザインにしており、読みやすいものになっている。また、A4版を利用し、多様な資料が大きく鮮明な画像で掲載されている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用され、振り仮名も判読しやすいよう、ゴシック体が使われている。また、文字が大きいので、読みやすい。	ルビにはゴシック体を用いており、小さな文字が読み取りにくい生徒にも読みやすいように配慮されている。重要語句や重要人物は、本文・さくいとに太字のゴシック体が使われており、分かりやすくなっている。	無理なく読み通すことができるよう、学習学年に即した文章表現や漢字の使用・ルビ振りなどになっている。また、生徒自身が読みながら問いや疑問を持てるように編修されている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時系列など)	第1編で「見方・考え方」を学び、これを働かせて第2編～第6編で各時代の特色を捉え、巻末の「歴史との対話」でよりよい未来の創造に何が必要か構想できる配列となっている。	序章において、小学校の学習指導要領で示された42人の人物の似顔絵を掲載し、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	世界の歴史を充実させ、日本と世界の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考察し、文化や生活の多様性に気づくことができるように配列されている。
⑦判・ページ数	AB判 317	AB判 302	A4判 299

2 社会(公民的分野)

発行者・教科書名	東京書籍 2	教育出版 17	帝国書院 46	日本文教出版 116
観点	新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	主体的・対話的で深い学びを通じて、持続可能な社会の実現に向けて、今を問い、未来をともに拓く力を育てられるように編集されている。基礎的・基本的な知識・概念や技能の定着、多面的・多角的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力を持たせ、持続可能な社会の形成に参画できるような課題解決的な学習の流れになっている。	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、持続可能な社会を創造する市民の育成を目指して編集されている。	よりよい社会を目指して自ら考え、主体的に社会の形成に参画できるようになることを目指している。導入の「学習の前」には社会の全体像を概観させ主体的な学びを、「技能をみがく」では議論を整理する対話的な学びを、「アクティブ公民」では選択や判断に取り組む深い学びを実現する工夫がされている。	基礎・基本を大切に「何を学び」「どのように学ぶのか」のポイントを押さえ、生徒が知識・技能を確実に見つけることのできる工夫がある。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各編の学習における習得・活用・探究の学びの過程の中で、見方・考え方を自然に繰り返し働かせられるように編集されている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	学習のまとめとして「チェック&トライ」では、基礎事項を確認し、学習内容を要約・説明する言語活動を取り入れている。章ごとの探究課題の解決を補助するため、「探究のステップ」では、章の学習内容をふりかえり整理・表現することを積み重ねていく工夫をしている。見方・考え方コーナーでは、見方・考え方を捉え、働かせるプロセスを通じて学習を深めることができる。	各章で学んだ内容を振り返って整理したり、学習したことを活用して考察、構想、表現したりする言語活動が取り入れられている。まちづくりのアイデアを提言しよう(p122.123)では、地域の様子を知り、調査テーマを決める。地域の課題を見つけ、学習したことを活用して解決策を具体的に検討する。そして提案をプレゼンテーションする等、言語活動を充実させる工夫がされている。	本文ページにある「確認しよう」は本文からの書き出しを、「説明しよう」は生徒自身の言葉で説明する活動場面が用意され、言語活動を備えた振り返り活動ができる。選挙制度とその課題(p75.76)では、「確認しよう」で衆議院と参議院の選挙制度の特徴を本文から書き出させたり、「説明しよう」では選挙区制と比例代表制の違いについて説明させたりする工夫がみられる。	本文ページで「学習課題」を明確に示し、「確認」のコーナーでは、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させる学習活動や、生徒自身の考えを説明させる問いを提示し、習得した知識を用いて文章化、言語化できるように工夫されている。国会の地位としくみ(p88.89)では、国政における国会の位置づけとしくみを「学習課題」とし、「確認」では国会が国権の最高機関であることを説明させている。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	QRコードやURLからリンクすると、地理や歴史と関連する紙面や他教科の紙面を確認できる。生徒のつまづきを補うシミュレーションや動画も掲載されている。	ウェブサイト(内閣府や経済産業省など)を通じて、学習に役立つさまざまな情報を見ることができQRコードが設けられ、まなびリンクが示す場所では、一人一人の学びを広げるための情報や資料の収集などに役立てることができる。	QRコードの利用で、掲載資料の一部を閲覧でき、理解しやすくさせている。また、学習内容に関連する動画や、章の学習を振り返ろうの知識を確認する問題の解答が閲覧でき、生徒の自学自習を支援している。	理解を助ける動画教材やワークシートなどがwebページで見ることができる。QRコードも設置されている。該当ページにはデジタルマークが掲載されており、調査・考察した内容の発表手段として、プレゼンテーションソフトの利用も取り扱われている。
ウ. 学習を見通したり振り返りするための工夫	第3章では、「だれを市長に選ぶ？」(p76.77)で単元全体を貫く問いである「探究課題」を、2節では、権力の分立が必要な理由(p90)を節ごとの課題である「探究のステップ」、1時間の学習の目当てである国会と行政の関係(p94)を学習課題としているように、各単元の学習を3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決し、思考・判断した内容を、適切に表現できるような見通しをもった学習ができるように工夫されている。	各章の導入にある「学習のはじめに」において学習内容と章全体の学習課題が掲載され、見通しが持てる。各章の学習において着目すべき概念的枠組みとしての見方・考え方が明示されている。第2章の導入では、「個人を尊重する日本国憲法」から5つの見方・考え方(p39)をもとに、まとめでは、個人が尊重されるようになった理由について(p80)考察させることで、学習の見通しが持てる工夫がされている。	章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、「章の問い」、「節の問い」、「学習課題」のように、学習内容が問い形式で示されており、学習を生徒自身が見通しを持てる工夫をしている。章・節・各本文ページそれぞれの末尾では、「章の学習を振り返ろう」、「節の問いを振り返ろう」、「確認しよう」、「説明しよう」のように、冒頭の問いの受け皿として設定されており、生徒自身が学習の振り返り活動を行える工夫がされている。	公民の見方・考え方を、各編冒頭の「学習のはじめに」や最初の本文ページでわかりやすく解説されている。本文ページでは、学習課題の解決に向けた手がかりとなる見方・考え方コーナーが設けられ、見方・考え方を働かせ、考えさせている。国会の仕事(p90.91)では、国会の仕事や運営を対立と合意、民主主義に着目して見方・考え方を働かせ、考えさせる工夫がされている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「みんなでチャレンジ」の活動が22か所に設定されており、本文での学習内容を確実に理解し、対話的な活動を通じて多様な意見に触れながら学習を深められ、他者との関わりや体験的な活動を取り入れやすくなっている。お金の使い道を考えよう(p131)では、学習内容を理解し、お金の使い道について、グループで考えを深めながら意思決定学習に取り組む工夫がされている。	本文の学習から興味や関心を広げていく「公民の窓」や「クリップ」のほか、表現スキルの習得を中心とした「言葉で伝え合おう」、さらに詳しくテーマを掘り下げて考える「読んで深く考えよう」のテーマ学習のページもある。グループ活動や意見交換などの場面が設定されている。新しい人権を考える(p68)では、忘れられる権利について、ディベートを行わせる工夫がされている。	アクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」では、社会的な概念に基づいた論理的な説明と、さまざまな立場を踏まえての合意形成を目指す議論が促されている。自分が住むまちのまちづくりを考えよう(p101.102)では、課題に対し、意見を整理、分析して予算を分類し、予算案を考え、社会に見られる課題の解決に向けた選択・判断に取り組む活動が行える。	「アクティブシティ」や「深めよう」を通して、生徒が見方・考え方を働かせ、課題解決ができる工夫がされている。公正な選挙について考えよう(p81)では、小選挙区制と比例代表制の特色について理解し、日本の選挙制度がさまざまなしくみを組み合わせで行われている理由を、生徒が見方・考え方を働かせ、意見を交流しながら「公正」の観点から説明させている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	学習内容に関連した「もっと公民」では、内容を深め、広げ、異なる視点で捉えることができるよう工夫している。東日本大震災からの復興と防災についての項目では、自助、公助、共助によって被災を考えたまちづくりについて考えることができる工夫がある(p124.125)。また、選挙権年齢と青年年齢の満18歳以上への引き下げに対応する18歳へのステップで、選挙の流れを理解させる(p88.89)など、主権者意識を高める為の工夫が見られる。	学習課題を明示して課題意識を持って学習に取り組めるようにしている。本文の学習の中にもコラムサイズの公民の技のコーナーをコンパクトに設けている。お小遣いの使いみちランキングを考えよう(p130)では、お小遣いを使う項目や理由をランキング形式で考えさせ、意見の交流をはかりながら、消費生活や経済活動に関する学習課題を主体的に見つけられるような工夫がされている。	コラム「未来に向けて」や「よりよい社会を目指して」では、実社会の人々が連携・協働して社会的な課題の解決に取り組む姿から、社会的な正義感・責任感や、自他の敬愛と協力を重んじる、公共の精神を養える工夫がされている。「家計簿アプリでお金を『見える化』」(p132)では、フィンテックによる、様々な家計簿アプリサービスについて、自分のお金を見える化することで、新たな課題を見つけられる工夫がしてある。	「チャレンジ公民」では、各編や章に関わる社会の課題について考察・構想する活動が行える。争点を明確にしてヒントとなる資料や思考を整理する技能を提供するなど、すべての生徒が議論に参加できる工夫がされている。社会保障のあり方について考えよう(p172.173)では、国の状況を理解し、政策を考え、よりよいものにしていく過程で、政党の政策や視点の提供、考えるためのポイントが示され、課題を見つけやすくとめられている。
③他教科との連携の工夫	各単元(章)の導入部に、地理や歴史と関連付けて効果的に公民の学習を進める工夫がされている。他教科で取り扱っている内容はマークを付し、連携をとっている。	脚注部に「小学校、他分野、他教科との関連」や「関連するSDGs」を示すマークが明示されており、系統的・横断的な学習をしやすい工夫がされている。	本文ページ左下部で、中学校社会科の地理的分野・歴史的分野で学習した事項を紹介している。法やきまりの意義など、道徳教育との関連も見られる。	地理的分野・歴史的分野で学習した知識を生かせるよう、脚注に「連携コーナー」が設けられている。また、道徳科と関連する教材が採用されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	立体感や陰影のある表現を省いたフラットデザインになっており、学習者が必要な情報に集中できるようになっている。また、資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、構造を明確化するなど、特別支援教育に配慮した工夫がされている。	1時間の授業を見開き2ページで構成し、授業の展開や学習の見通しがもてるように工夫している。色覚等の特性を踏まえた判読しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)やレイアウトなど、すべての生徒にとって学びやすい配慮がなされている。	すべての生徒が読み取りやすい表現となるような配慮や、見やすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。グラフ、地図などの資料は色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使用し、折れ線グラフは線種をかえるなど工夫を行い、色以外の情報からも読み取れるようになっている。	AB判を採用し、写真等の図版が大きく、体裁や配色など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。図表は線の種類や濃淡でも識別できる工夫があり、すべての生徒にとって、興味や関心を持ちやすく、見やすいものとなっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォントを使用し、振り仮名には読み取りやすいゴシック体を使用し、文字の視認性を確保し、黒色を抑えることで、読み取りやすい工夫がされている。	すべての生徒にとって、判読しやすい表現方法や文字(ユニバーサルデザインフォント)の工夫がなされており、学びやすい配慮がなされている。	すべての生徒が読み取りやすい表現となる配慮や、見やすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。	すべての生徒が等しく学習できるよう、本文はユニバーサルデザインに配慮したフォントが採用され、ふりがなも多く、判読しやすいゴシック体を使用している。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	巻頭と巻末で、5つのテーマに関わる社会的事象を取り上げ、公民学習を通して5つのテーマを意識し学習できるように配列されている。	4つの大項目のうち「政治」と「経済」はさらに2章に細分化され、終章には課題探究活動を配列し、現代社会をとらえる見方や考え方が効果的に学べる。	部や章の冒頭に設けた社会の全体像を概観するイラストでは、小学校での既習事項を確認でき、小中の円滑な接続を考慮して教材が配列されている。	第1編で学習する概念的な枠組みの基礎「対立と合意」「効率と公正」について、第2編以降の学習においても働かせられるように配列されている。
⑦判・ページ数	AB判 255	AB判 264	AB判 234	AB判 257

発行者・教科書名	自由社 225 新しい公民教科書	育鵬社 227 [最新]新しいみんなの公民	
観点			
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	生徒の発達段階を考慮し、生徒が基礎的な意味を理解できるように基礎的事項を厳選し、そこから体系的に整理し再構成して、主体的に学ばせることによって深い公民的資質が養えるように、生徒が自ら表現し、自ら考え、自ら答えていく学習ができるように編集されている。	生徒一人ひとりが、歴史的分野で学習した「日本の歴史」に連なる存在であることを自覚した上で、家族・地域社会・国家・国際社会と自分の関係を認識することにより、これからの日本の国や地域社会を支え、国際社会に貢献できる日本人としての公民的資質の基礎を養うように編集されている。	
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	ア. 言語活動を充実するための工夫	「学習のまとめと発展」のコーナーで、課題をまとめさせたり、考えさせたりする工夫がある。(p120)では、課題を一つ選び、約400字でまとめさせる課題があり、学習したことをさらに発展させる工夫がある。また、アクティブに深めようの中で、600字程度で班としての研究結果をまとめるなどの工夫がある。	各章の学習のまとめの部分で、調べたことをカードにまとめたり、話し合いをしたり(p72.73)、KJ法で分析したり(p112.113)するコーナーを設けてあり、言語活動を促す工夫がある。社会科のまとめにおいて、プレゼンテーションの方法、レポート作成について丁寧に解説している。
	イ. ICTを活用した学習活動の工夫	生徒の発達段階によって、基礎的事項を厳選し、教えるべき教材を体系化することで得た学びを、生徒が家庭でインターネット等を使用し、理解や深い学びに繋げることができるように工夫されている。	家族・地域社会・国家・国際社会と自分の関係を認識し、国際社会に貢献できる日本人として、生徒が家庭でインターネット等を使用し、理解や深い学びに繋げることができるように工夫されている。
	ウ. 学習を見通したり振り返りするための工夫	基礎理解の上に教材を体系化し、また、公民としての重要な主題は、生徒の学習心理も踏まえ、段階をつけて学習するようにしている。各章の終わりに学習のまとめがあり、重要語句が定着しているか、どのようなことを学習したのか振り返る場面が設定してある。さらに、問題が設定してあり、確かめに取り組めるようになっている。	各章の導入に、入り口を設け、各章の学習内容への興味・関心を促している。2章から5章の章末には、その章で学習した内容を踏まえて、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したり、未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」が設けられている。2章では憲法の入り口(p36.37)と憲法のこれから(p72.73)が掲載されている。
	エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「やってみよう」や「アクティブに深めよう」など、生徒が主体的に思考、判断し、表現できるように工夫されている。やってみよう(p137)では、生徒が住むまちの産業について分類させ、対話的な活動を取り入れながら理解させようとしている。家事方法の進歩は私たちの生活にどのような影響を与えただろうか(p160.161)では江戸時代と現代との比較を、話し合いを通じて考えさせている。	「スキルアップ」では、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング、ポスターツアーなど、公民の基礎的な技能を身につける工夫がされている。ロールプレイング(役割演技)(p76)では、ロールプレイングの手法についての説明や進め方が書かれており、政治の入り口(p76)にある問題を解決するための方法として扱われている。
	オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	発展的に学習して理解を深める必要があるところでは、「もっと知りたい」が設けられており、ものごとを根源的に考え、生徒の人間としての目覚めや生きる態度の形成に手助けをすることで、自主的に学習する態度を育て、さらに歴史的文化背景や社会の仕組みについて興味をもって学ぶことで、深い理解が得られる。「地方自治と防災」(p116.117)では、災害に襲われたときの地方自治体の務めを通じて、理解を深める工夫がされている。	学習に対する興味・関心を高めるため「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料が配置されており、生徒が問題解決できるような課題設定と、資料や調査学習を通して「考え」「判断した」ことを自分なりの表現方法でまとめるテーマ設定を行い、知識・思考・判断・表現の一体化が図られている。選挙のしくみ(p82.83)では、導入部の資料を用いて学習課題の設定につなげ、まとめとして、若い世代の投票率について考えさせている。
③他教科との連携の工夫	他分野との関連が本文中に見られ、ミニ知識のコーナーの中で日本の伝統についてふれるなど道徳的な内容の記載がある。	他分野との関連が本文中に見られ、コラムで、「情報リテラシー」(p13)「部落差別の起こり」(p59)に言及するなど、道徳的内容にもふれている。	
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	写真やイラストなど、各ページで大きく示されており、どの生徒にとっても見やすいものとなっており、説明も読み取りやすい。また、配色にも理解をしやすい工夫がされており、すべての生徒にとって、読み取りやすく、見やすいものとなっている。	AB判を採用し、カラーバリアフリーへの配慮をしている。図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫がある。図版資料には、見開きごとに通し番号をつけ、生徒が確認しやすいような配慮がされている。	
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	すべての生徒にとって学習しやすい文字が採用されており、重要語句は太い文字で書かれていたり、行間が詰められているなど、判読しやすいような配慮がされている。	本文には、読み取りやすい文字が採用されており、振り仮名には、ゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮している。	
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	重要な事柄については、複数の単元にて重ねて学習する配列によって、理解を段階的に発展させ、より深くより明瞭に学習することができる。	「現代社会をとらえる見方や考え方」を、各章の随所に配列することにより、正義や責任、自他の敬愛と協力について考えることができる。	
⑦判・ページ数	AB判 258	AB判 248	

2 社会(地図)

発行者・教科書名 観点	東京書籍 2 新しい社会 地図	帝国書院 46 中学校社会科地図
①教科目標から見た編集の適切さ ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	社会科の3分野の学習での効果的な活用を目指し、今を問い、未来をともに拓く力の育成を基本方針としている。地理的事象の多面的・多角的な考察、歴史的事象の背景や経過の空間的考察、現代社会の現状理解や諸課題を解決するための方策を構想できるように工夫されている。	変化する日本と世界を広く、深く、自ら学べる地図帳を基本方針としている。はじめて地理を学ぶ生徒が興味・関心をもちながら、日本の国土理解と世界の諸地域への理解が深まるように、資料活用能力を高めて、主体的に学ぶことができる工夫がされている。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	ア. 言語活動を充実するための工夫 資料の読み取りのポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを設け、考察が深められるようにしている。	「地図活用」のコーナー(p.68)に二つの資料に着目して説明させる課題を設定しており、論理的に説明する工夫がされている。
	イ. ICTを活用した学習活動の工夫 QRコード(p.3)を利用して、デジタル地図の「地理院地図」を参照することができるようになっている。シミュレーションができ、他教科関連資料の閲覧もできる。	QRコードを世界の各州や日本の各地域ごとに設けて、専用サイトにて地図帳を補完する資料やクイズなどがある。NHKforSchoolの視聴もできる。
	ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫 世界と日本の諸地域の単元を中心に、探究課題を軸にした課題解決的な学習に活用できる資料(p.119-120など)が掲載されている。歴史・公民学習で活用できる資料を掲載し、マークを付して明示している。	世界の資料図では、比較を通して地域の特色がわかるよう国ごと(p.44など)や州ごと(p.63-64)に同縮尺で掲載している。また、日本の地域別資料図では、自然地形、降水量、人口分布、農業、工業・交通の5図を設けている(p.105など)。
	エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫 キャラクターの吹き出し(p.94など)や、ジャンプ(関連する資料の参照ページ)の提示をすることによって、他者と協力した学びへつながるように工夫がされている。	地図活用(p.66など)において、地図から一つ取り上げクラスに紹介しようなど他者と協力してまなぶ工夫がされている。
	オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫 近畿地方のテーマ資料が掲載されている。(p.109-112)神戸市の主な文化財や観光地の資料に加え、過去から現在に至るまでの様々な資料と比べながら、住んでいる地域の課題やこれからについて考えることができる。	日本の自然災害・防災について、地震と火山の分布図が掲載されている。(p.149-150)日本で起こる自然現象について、いくつかの資料を関連づけて考え、自然災害に対する備えなども考えることができる。
③他教科との連携の工夫	SDGsを特集するページ(p.7-14)を設けて、環境・資源・エネルギー問題や人口・貧困問題、紛争・難民問題など、国際社会のさまざまな課題への理解を促せるように、写真や主題図、グラフなど豊富な資料を掲載している。	インクルーシブ教育に配慮し、都道府県名と都市名を手話で表すコーナー(p.186)を記載している。地震の震源とプレートが確認できる資料図(p.149-150)など理科で活用できる工夫がある。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ (大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けられる配色になっている。文字への縁取り、グラフでの線種の見分けなど情報の読み取りを支援する工夫が見られる。	大判(A4)のメリットを生かし、地図の広域なつながりが確認できるようになっている。イラスト付きの鳥瞰図(p.25-26など)を世界各州に掲載し、より具体的、視覚的に捉えられるようになっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ (字体、文字の大きさなど)	UDフォントを使用している。振り仮名はゴチック体を採用し、読み取りを支援している。	UDフォントを使用し、可読性の高い丸ゴチック系を多用している。重要な地名には縁取りをつけている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ (関連付け、時期など)	世界と日本の資料は、全体の資料と各州・地方の資料で構成され、地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野の教科書の本文や資料を補完する資料を掲載し、学習効果を高めることができる。	世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選定されている。統計資料を巻末に掲載し、数値的に地域の特徴等を捉えることができる。
⑦判・ページ数	AB判 192	A4判 188

3 数学

発行者・教科書名	東京書籍 2 新しい数学	大日本図書 4 数学の世界	学校図書 11 中学校数学	教育出版 17 中学数学
観点				
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	「基本の問題」で、早期のつまずきの解消を図れ、「補充の問題」で練習問題を豊富に用意している。(★)では、やや難易度の高い問題も設定されている「深い学びのページ」では、思考力・判断力・表現力等を育成でき、「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査や入試に対応した問題等を取り上げている。詳細な解答例や「考え方」「説明のポイント」を掲載し、自学や無回答への対応も図られている。「章のとびら」では、生活と結びついた題材や実社会での数学活用例などで、学ぶ意義の実感を持つ工夫がある。	「プラス・ワン」「たしかめよう」「〇章をふり返ろう」などで、反復練習問題を掲載している。問題発見・問題解決の流れが示されており、思考力等が育成できる。基礎的な知識を習得するために、「活動」「例」「例題」が適切に配置されている。思考力を高める問題として、章ごとに「活用・研究」が設けられている。導入に考えようを設置し、自らが問いを見いださせる工夫がある。各章や巻末の「MATHFUL」では豊富な資料を通して、数学と社会とのつながりが実感できる。	基本的な概念や法則が理解できるように「考え方」として明記され、「確かめよう」では、知識や技能の習得を確認できる。数学的活動を設定し、問題発見・解決の過程を意識して取り組めるよう工夫されている。巻末には応用・活用問題もある。章の導入で関心を高めるための「次の課題へ！」を提示している。「深めよう」で領域横断的、教科横断的な学習に取り組むことができる。また、身近な数学を「さらなる数学へ」で紹介している。	節末の「基本の問題」で知識・技能の習得、巻末の「学習のまとめ」で用語の理解を確認できる。「数学的活動」を複数の章に設置し、問題発見・解決の過程を意識して取り組めるような工夫がある。巻末には活用問題があり、思考力・判断力・表現力を高めることができる。学習したことを活用する課題、多様な考え方ができる課題、他者との考えを合せる課題を設定している。数学の楽しさ、実社会とのつながりなどを実感させる教材が掲載され、幅広い知識を身につける工夫がある。
ア. 言語活動を充実するための工夫	「Q(考えてみよう・説明してみよう)」では、考えを伝えたり説明したりする活動が行える。「深い学びのページ」では、生徒の多様な考えを引き出す課題が設定されている。「数学マイノート」では、振り返りの視点や生徒の記述例が示され、他者の考えと関連付けたり自分の考えを深めたりすることができる。「学びを振り返ろう」で、話し合いや、考えをまとめる機会が設けられている。(1年P119)	各章の「活動」において式や表、グラフなどを利用して調べたり、説明したりする学習ができる。問題発見、問題解決の流れを示した活動も設定されている。数学のことはや図などを使って、自分の考えを伝える問い「伝えよう」が新設されている。「ノートの作り方」(3年P11)、「レポートを書こう」(3年P100)では、具体例をあげながら説明されており、自分の考えを数学的言語で記述する力を養うことができる。	「アイデアボード」は、協同学習で活用できる。「Q」では問題解決の見通しを立てる話し合いの場面がある。「数学的活動のページ」(1年P50)「表現する力を身につけよう」(3年P252～253等)では、互いの考えを交流する場面の設定がある。巻末の「表現する力を身につけよう」では、レポートのつくり方や発表のしかた、発表の聞き方を提示している。キャラクターによる問いかけにより、言語活動が行いやすい。	「工夫してノートを書こう」では振り返りノートや自分の考えの例がある。自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりして、問題を解決する場面が設定されている(1年P61 P91など)。「みんなに説明しよう」(3年P170など)では、解法の仕方を話し合う課題が設けられ、活動の中で数学的な表現力を高めるような工夫がされている。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	デジタルコンテンツは全52箇所(1年25・2年16・3年11)。QRコードは巻頭に掲載されている。学習意欲を高め、理解を助けるシミュレーション的なデジタルコンテンツは活用しやすく、魅力ある内容へと工夫改善されている。また、導入映像やインタビュー映像、プログラミングなど多様なコンテンツも用意されている。タブレット上で拡大の様子を観察できる(3年5章)工夫も見られる。「深い学びのページ」では、シミュレーションをしたり数値を入力したりしながら図形の条件を変えて、統合的・発展的な考察ができるものがある。	デジタルコンテンツは全36箇所(1年15・2年7・3年14)QRコードは、巻頭に掲載されている。生徒が思考ツールとして活用できるようなシミュレーションがある。活用や探究、発見の項目で「仕事の中の数学」などで、社会にリンクという形式で興味を持ってネットなどで検索を促す項目が挙げられている。ウェブコンテンツの中身としては動画、資料が多い。対応するページにはマークがつけられている。	デジタルコンテンツは全31箇所(1年14・2年10・3年17)QRコードでいくつかのコンテンツが使えるようになっている。情報処理を行う場面では、コンピュータの効率的な活用ができるように使い方が明記されている。巻末の「プログラミングを体験してみよう」では、いくつかのプログラミングを体験できるようになっている。データの活用ではエクセルを活用したデータ処理を紹介している。	デジタルコンテンツは全28箇所(1年13・2年7・3年8)QRコードは巻頭に掲載されている。図形領域とデータ活用領域に関するデジタルコンテンツが用意されている。「7章データの分析」では、気象庁をはじめ、いくつかの統計データを検索することができる。効果的な学習への配慮でまなびリンクがあり、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるように工夫されている。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	「章のとびら」では身近な場面を提示し、数学と日常生活とのつながりが実感できる。章タイトルが、めあてに適した文章で表現されており、見通しをもって学習に取り組むことができる。「学びを振り返ろう」では学習内容を自分の言葉でまとめる機会を設けている。「深い学び」では、問題を把握する→見通しを立てる→解決する→振り返る→深めるの過程を示すことにより、問題解決の進め方を意識して取り組めるような工夫がある。	既習事項との関連を重視した導入課題「考えよう」により、新たな学習へ興味・関心をもって取り組むことができる。巻末の付録の「まとめ」を切り取ってミニ冊子が作れる。付録には「学年のまとめ」があり、習得すべき技能や知識などが簡潔にまとめられている。「学びにプラス」で学習を振り返り、それらを活用できる問題を提示している。巻末に「〇章をふり返ろう」を設け、評価の際に利用できるように工夫されている。	「目標」に対するまとめ「どんなことがわかったかな」で振り返りができるようにしている。身近な題材を扱うことで、生徒自身に疑問をもたせ、それを数学的問題に焦点化できるように、「Q」が設定されている。「確かめよう」で大問ごとに関連するタイトルとページが表記され、振り返りがしやすい。また、巻末に「～を学んで」が設けられ、獲得すべき知識・技能の確認ができる。「高校へのかけ橋」で、高校数学への見通しが持てるよう工夫されている。	巻頭の「数学的な考え方」で問題解決に向けての様々な考え方が示されている。「Let's Try」では、日常の事象の考察から数学的活動や生徒の疑問を引き出し、学習のめあてが設定できる。巻末の「学びのマップ」では、単元の系統性についても示されている。評価・改善ができるよう学習感想の書き方例の掲載がある。「学習のプロセスページ」では、考えを振り返る活動が組み込まれている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「深い学びのページ」では他者と互いの考えを認め合い、問題解決に取り組めるよう工夫されている。「節の導入」では作業的な活動を取り入れ、生徒がすすんで取り組めるよう、ワークシート形式の紙面で構成されている。各学年巻末に観察・操作などの体験的活動が行える付録があり、1年では立体模型を作ることができる。「学びをひろげよう」(3年P122～123)では、数学と実社会や職業とのつながりの中で数学の有用性を実感できるよう設定されている。	導入時に活動を取り入れ、興味づけを図り、めあてを明示し、主体的な活動を促している。身近なことを問題として取り扱い、「生活に生かそう」「視点を増やそう」などの体験的な活動が提示されている。問題の解決過程や研究の仕方、ノートの作り方などが紹介され、主体的に活動できる工夫がある。3年P78～79などの数学的活動では、主体的に取り組む、対話的に学びを深めていく工夫がある。	各章の「Q」で自分なりの考え方を持たせ、意見交流できる場を設定している。キャラクターの吹き出しなどで話し合いを行いやすい工夫がある。「数学的活動のページ」(1年P50)で、互いの考えを伝えあったり、他者の考えを説明したりする場面を設定している。話し合いのツールとして「アイデアボード」などが添付されている。	「章のとびら」では社会や生活、先端テクノロジーに関する話題を取り上げ、数学の有用性を感じさせて、学びに向かうきっかけ作りをしている。「自分の考えを持とう」「みんなで話し合おう」などで、対話的な学びに取り組む場面を設定している。(1年P62)
オ. 問題解決的な学習や問題発見ができる教材の工夫	「深い学びのページ」を設定し、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動が行える。記述式の問題を設け、苦手な生徒向けに考え方や説明のポイントを示すような工夫がなされ、粘り強く考えさせることができる。「渋滞学を学んでみよう」(3年P122～P123)では、数式で表すことが難しい現象を単純なものに置き換えて考える「モデル化」を紹介し、渋滞を解消する方法を考察する活動がある。	問題発見・問題解決の流れを意識できる工夫があり、特に統計的な問題解決法を身につけさせるため、PPDACサイクルによる数学的活動が示されている。「コピーで拡大するときの倍率を調べよう」(3年P69～P70)では、実生活と数学をつなぐとともに、コピー機でA4版をA3版に拡大するとき141%と書かれていることから、平方根の考えを利用し説明する活動がある。	自ら問題を発見し、それらを数学的な問題に焦点化する中で必要な知識や教養が身につくような工夫がある。吹き出しが多く見られ、問題解決における見方・考え方の活用法が分かりやすい。「エコキャップ運動」(1年P162)では、リサイクル活動の一つであるエコキャップ運動で、比例の考えをもとにどのくらいの個数が集まれば、途上国にワクテン代として寄付できるかを考察する場面がある。	学習過程における生徒の疑問を解決したり、新たな問題を見い出したりする「問題解決のプロセスページ」がある。「数学の広場」「数学メモ」では、自分なりの新たな課題発見のきっかけを作ることができる工夫がある。「花粉の飛散量」(2年P214～P216)では、過去の花粉の飛散量を箱ひげ図に表し、傾向を捉えてレポートにまとめ発表するという流れで、データを活用する方法を示している。
③他教科との連携の工夫	2年7章「データの比較」で、コンビニエンスストアの実際の販売数のデータを用いた学習ができる工夫があり、職場体験学習と関連づけるなどキャリア教育の視点も取り入れている。デジタルコンテンツとして他教科の教科書が閲覧できるように工夫されており、他教科との連携やカリキュラムマネジメントの参考にすることができる。	2年7章「データ分析」では岐阜の気温の比較を取り上げている。他教科関連マークをつけ見やすくし、保健体育や理科、社会、技術などに関連する題材を提示し、視野をひろげて学習への興味関心が持てるように工夫されている。(文字式でグラウンドのトラック、1次関数で標高と気温など)	「役立つ数学」において、実社会の仕事に関するコラムを紹介している。「今の自分を知らう」では、持続可能な開発目標の記載があり、世界や環境問題に目を向けるような工夫がある。1次関数では水温の上昇を取り上げ、自然科学との関連が意識されている。「深めよう」「疑問を考えよう」を通して教科・領域横断的な学習に取り組むことができる。	2年7章「データ分析」では札幌市の7月と8月の気温の比較を取り上げている。空き缶のリサイクル、地域の夏祭りのボランティア、スロープの勾配に配慮したバリアフリーの事例などを取り上げ、環境学習や特別の教科道徳との関連を図っている。他教科関連マークが付けられている。関数で理科、図形で美術との関連もある。また、キャリア教育を意識した話題の紹介もある。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	紙面の右側を余白とする側注形式をとり、十分に余白のある構成となっている。「例」「問」の範囲がひと目で分かる野線をひき、十分な間隔をとるなど、レイアウトが工夫されている。ユニバーサルデザインを取り入れ、文字などが見やすい。	□…1時間、□…2時間の指導時数が分かりやすい。色覚等にも配慮し、カラーユニバーサルデザインを採用している。キャラクターに外国にルーツを持つ生徒を設定したり、写真やイラストに外国人などを掲載したりして、多文化共生の視点を意識づけさせるような工夫がみられる。	写真よりもイラストを多用している。章ごとに色使いを変えており、区別しやすい。ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりがなされている。立体図形では、濃淡をつけてわかりやすい。	色覚等の特性をふまへ、判読しやすい配色やレイアウトを意識している。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	シンプルな紙面構成で、本文は文節ごとのまとまりで改行されており読みやすい。文字のルビや側注の文字はゴシック体のUDフォントを使用しており視認しやすい工夫がなされている。証明の記述では根拠を明確に示している。	「めあて」「発問」「ヒント」「活動」ごとに言葉の使い方を覚えてあり、なじみやすい。UDフォントを使用しており視認しやすい。	文字が大きく、文字間や行間にゆとりがあり、見やすく理解しやすい。「たしかめよう」では、問題と問題の間に適度なスペースがあり、書き込みができる工夫がある。	側注形式を採用し、青線などで本文と他の情報を区別している。文字が判読しやすい。文節で改行されており、視覚的にも分かりやすい紙面となっている。UDフォントが使用されている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	思考の流れを大切に、疑問が次の学びへとつながる系統性、連続性のある単元構成となっている。本文や節末、巻末、巻頭に適切な内容・分量の問題が配列されている。やや複雑な計算や発展性の少ない内容を精選し、予備の学習時間を確保できる工夫がある。	主体的・対話的で深い学びが実現できるように数学的活動が豊富にとり入れられ、知識・技能、思考力・判断力・表現力が育成できる工夫がある。各章で自己評価したり、学習したページに戻ったりすることができるよう配列されている。	各領域ごとに「ふりかえり」のページが挿入され、小学校での学びを生徒がふりかえることで、スムーズに各学年の学習に入っていけるように配慮されている。「高校へのかけ橋」が設定され、高校数学への見通しがもてるように工夫されている。	小・中学校や学年間の滑らかな接続に配慮され「〇章を学習する前に」「もどって確認」などで、適宜既習内容を振り返ることができる。巻末の「学びマップ」では、小学校や前学年までに学習した内容を領域ごとに分けて一覧に掲載され、本学年の内容との系統性についても示されている。
⑦判・ページ数	B5版 1年312, 2年250, 3年284	B5版 1年324, 2年250, 3年302	B5版 1年316, 2年270, 3年310	B5版 1年332, 2年280, 3年306

発行者・教科書名	啓林館 61	数研出版 104	日本文教出版 116
観点	未来へひろがる数学	日々の学びに数学的な見方・考え方をほたらかせる これからの数学 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの数学探求ノート	中学数学
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	「もっと練習しよう」や「学びをたしかめよう」では問題を充実させ、基礎・基本の定着を図ることができる。「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」を設け(1年P42,80,101)、知識を活用する場面がある。創造力が養われるように「学びを身につけよう」(1年P55,85)がある。節の始まりに「学習のとびら」を設定し、最後に「…の利用」を設け、自主的に学習を進めていく工夫がある。利用の節では、4段階構成で学習に取り組むことができ、問題発見・解決能力を高めるための工夫がある。(1年P49,50,51,99,100,101)	「学習の進め方」「ノートのつくり方」など学習内容の習得と合わせて学び方を身につけることができる。既習事項が確認でき、生徒がつまづきやすい内容を丁寧に扱っている。補充問題「力をのばそう」では難易度の高い問題がある。「TRY」では、キャラクターのヒントをもとに、新しい学習内容が理解できる。別冊の探求ノートで総合的な問題に取り組めるような工夫がある。数学的活動を意図した場面では生徒たちの対話場面が掲載され、授業の流れが見てとれる。	基本の問題で基礎・基本の定着を図り、チャレンジでは、やや難易度の高い問題に取り組むことができる。章末の○章の問題、とりくんでみようで応用的な問題にまで取り組める。導入の問題に「Q」と横欄に「確かめ」が設けられ、既習事項を確かめることができる。学び合おうを各学年4箇所程度設定し、問題解決の流れを例示している。説明できるかなでは、記述式問題が用意されている。問題量が豊富でバランスよく力を習得できる。
ア. 言語活動を充実するための工夫	「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」では、考えを伝えたり比較したりすることができる。巻頭ではノートの工夫を取り上げ、他者の意見をノートに残した例など、対話的な活動の記録を例示している。書かれている説明などに対して?マークを付け、自ら疑問を持つ習慣を身につけさせる工夫がされている。	ヒントや振り返りにおいてキャラクターの吹き出しを利用している。2年P.28の式の値を求める問題などでは、話し合いの場面に移行できるような工夫がある。事実・方法・理由などを説明する問いで、自己の考えを他者に伝える機会を増やして言語活動を充実させる工夫がある。「Q」や「TRY」では、自分の考えを他者と交流したり、数学的言語を用いて説明する活動がある。	話し合いを通してよりよい考えに高めたりする活動として「話し合おう」を設けている。対話シートに自分の考えや他者の考えを書き込むことができる。事柄や事実、方法、理由などを数学的な表現を用いて説明する問題が「説明できるかな?」として設定されている。全ての章に記述式の問題を設け、数学的言語を用いて説明する力を養うことができる。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	デジタルコンテンツは全149箇所(1年56・2年39・3年54)QRコードからヒントや解答を確認できる。巻末に設けられた「自分から学ぼう」では自分で解答結果をチェックできる。「学びを生かそう」では「プログラミングで模様をつくらう」(1年P51~52)「プログラミングで教を並べかえよう」(2年P39~P40)などで、プログラミング的思考を育む課題がある。紙面にQRコード(1年P53,83,107,109, 3年P91,173等)を掲載し、ICT機器の利用により情報を参照できるが、自ら操作するシミュレーションより、見て学ぶ画像や映像が多い。	デジタルコンテンツは全164箇所(1年63・2年50・3年51)QRコード(P.5)に掲載されている。QRコードより、各章に設けられた「Link」のマークのついていない項目でデジタルコンテンツを活用することができる。「補充」「資料」「イメージ」「考察」のアイコンで補助教材へリンクできるようにしている。「データの活用」のはじめに、インターネットリテラシーに関する文言が記載されている。	デジタルコンテンツは全70箇所(1年27・2年22・3年21)QRコードは巻頭に記載されている。計算問題は10問程度の練習と図形領域。単純なコンテンツが多く、指導者の解説が必要である。WEBマークをつけた箇所に、関連したコンテンツを用意している。「数学マイトライ」の「素数を求めるプログラムを考えよう」(1年P270)や「星形正多角形のアルゴリズムを考えよう」(2年P204)などではプログラミングを扱っている。
ウ. 学習を見通したり振り返りするための工夫	「学びをたしかめよう」で既習内容を示し、振り返りながら学習を進めることができる。(1年P52,53,82,83)「学びのあしあと」のセルフチェックシートでこれまでの学習を確認できる。(1年巻末P4)系統性を考え、新しい学習内容へとスムーズに発展していけるように「ひろげよう」を設定している。新たな学習の前には「ふりかえり」として既習事項を取り上げている。	各単元の「～の学習の前に」で、既習事項の振り返りができる。数学的活動を意図した場面では、数学的な見方・考え方ができ、問題解決につなげていけるよう、流れを見てとれるようになっている。各項目の主たる目標にマークをつけて、学習の見通しを持ちやすくし、見返しのチェックシートで何ができたようになったかを自己評価できる。	「大切な見方・考え方」の欄を設定し、「知っていることを使えるようにする」や「同じように考える」と明示することにより、学びのステップを明確にしている。「Q」で本時の課題を把握し、「めあて」で学習の習得とそこまでの道筋を確認することができる工夫がある。ノートのくふうや、マイトライに振り返りの記述例が示されている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「…の利用」では身のまわりの問題を解決していける場面を設定し、実生活との結びつきに気づくことができる工夫がある。「自分から学ぼう」編では、「社会見学に行こう」など、キャリア教育につながる項目も設定されている。また、生徒どうしで説明や話し合いを行える問題が多く設けられている。	別冊の「探求ノート」で話し合いを促すワークシートが用意されている。学習内容を活用して解決する「TRY」を設け、数学の有用性を感じることができる。事実・方法・理由などの説明をする問題や、自己の考えを他者に伝える機会を増やす工夫がある。3年P8,9ではグループ学習で発表する際の注意点がある。	よりよい考えを導き出したりする活動として「話し合おう」が設定され、話し合おうマークがついた問が設けられている。数学的活動を通して他者との関わり合いの中で思考を深めていけるように工夫されている。「学び合おう」では、話し合いが行いやすい問題を扱っており、ワークシートも用意され、深い学びが実現できるような工夫がある。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「利用」を多くの章の最終節に設定し、問題解決過程を3段階のステップで展開するよう工夫されている。学びを生かそうでは、日常生活や社会と数学との関わりを考える題材を扱い、数学の課題を発見する経験ができる。「料金が安いのは?」(2年自ら学ぼう編P27~P28)では、お祭りであらわを作って配布するにあたり、最も安い料金になる会社に注文するために、関数の考えを利用して考察する場面がある。	別冊探求ノート「課題学習」では、身近な場面から問題を見だし、解決する課題が用意されている。各章の学びから発生する自然な疑問を扱った題材や日常生活の中にある数学に着目した題材を取り上げ、解決を図る工夫がある。「機関車の模型を作ろう」(1年探求ノートP20~P23)では、鉄道模型を入れる車庫の模型を寸法を自分で決めて、立体の投影図や展開図をかき制作する活動がある。	「学び合おう」では問題解決型の授業展開が示され、「数学のたんけん」「数学を仕事に生かす」などを通して、生活や社会の中で数学の役割について気づかせる工夫がある。「身のまわりの正の数と負の数」(1年P23)では、水害から住民を守るための表示板や陸上競技での風速表示板をとりあげ、正の数・負の数が使われている身のまわりにある数量を調べる活動がある。
③他教科との連携の工夫	2年7章では、日常生活の題材としてインターネットの通信速度を扱っている。理科との関連(音の伝わり方・バネ・濃度など)、保健体育との関連(AEDの重要性・トラックレーン・得点計算・走り幅跳びなど)がある。美術との関連でストリングアートが取り上げられている。「学びをいかそう」で職業に関わる題材、少子高齢化、ランドルト環、緊急地震速報などを扱っている。	2年6章のデータの活用では、ハンドボール投げの記録の比較を扱っている。アルファベットを取り上げ、数学で用いる場面との違いを示している。濃度や水圧の問題があり、理科との関連が見られる。3年P233~の「数学旅行」で他教科(理科・保健体育・技術・美術など)と関連した教材の紹介がある。	2年第7章のデータ分析で大阪の猛暑日のデータや大阪万博の入場者数を扱っている。道徳教育や他教科の学習内容と関連のある素材や、プログラミングに関する特設ページもある。巻末の索引に英語表記がある。陸上トラックの問題を扱っている。社会で活躍している方のインタビューを掲載し、実社会とのつながりを意識できる。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	色使いなど、すっきりとしたデザインになっている。現在MUD協会に認証を申請中。また、見やすい大きさで、紙面が広く見える製本形式を用いている。インクルーシブ教育に配慮されたシンプルなデザインになっている。	文字はUDフォントを用い、図中の線分や角度のマークが大きく表示されている。図などを書き込みやすいように配置している。カラーユニバーサルデザインを採用し、識別しやすい配慮がある。図などが書き込みしやすい配慮があり、奇数ページにツメ見出しがついており検索しやすい。	全体的にゆったりとしていて、落ち着いて学習に取り組めるよう、水色を基調としている。カラーバリエーション、ユニバーサルデザインを採用している。拡大教科書も作成されている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっている。裏表紙からの縦開きの構成は必修とオプションが区別されているが、縦開きの扱いに工夫がある。UDフォントを使用している。文章を理解しやすいように、意味改行になっている。	吹き出しが使用され、親しみやすい。文章は文節で改行され、読みやすい。UDフォントを大きめのサイズで用いている。太線、下線、枠囲みなどにより大事なところが分かりやすい。	初出の数学用語を理解・活用させるため、用語の使用例が「表現の例」で提示されている。学習していない漢字にふりがながされている。UDフォントの使用し、図中の文字が大きくて見やすい。読みやすい位置で改行し図中の文字を大きくするなど紙面構成に工夫がみられる。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	指導時数を標準時数よりも少なめに設定し、ゆとりをもって指導できるように配置されている。「自分から学ぼう編」では、活用的な内容、補充の問題も用意されているので、習熟度別・少人数学習などの授業でも適宜活用することができる。	授業1時間の区切りがページの途中にならないように配慮されている。小・中での既習内容に触れることができ、内容の系統性も理解できるようにされている。別冊では、高等学校での学習につながる内容も扱われており、高度な数学につながる考え方に触れることができる。	学年ごとの系統性や3年間を通した関連性や、小・中・高の連携にも配慮され、各学年の配当時間の約9割で学習できる分量となっている。既習事項とのつながりが分かる、一覧性のある目次となっている。巻頭、各章、巻末の構成で内容が配列され、適宜関連コラムなどが配置されている。
⑦判・ページ数	B5版 1年336, 2年264, 3年320	B5版 1年312, 2年254, 3年312 別冊 1年50, 2年50, 3年58	B5版 1年324, 2年254, 3年296

4 理科

観点	発行者・教科書名 東京書籍 2 新しい科学	大日本図書 4 理科の世界	学校図書 11 中学校科学	教育出版 17 自然の探究 中学理科
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	「レッツスタート」やコラムで生徒の主体性を意識し、イラストで協働・対話を促している。各節のまとめができるように身近な現象を取り上げ、例題とDマークで基礎の定着やつまづきに気づけるように工夫されている。	各単元末に「探究活動」が設定され、これまで得た知識や技能を生かして、思考力・表現力・判断力が育成できるような工夫がなされている。	各単元始めの「問題発見」では、学習への動機付けを行い、自ら学んでいこうとする意欲を高める工夫がなされている。また、各章の始めの「Can-Do List」では、できるようになりたい目標が示されている。各単元末では、知識及び技能を日常に生かす問題を工夫して設定している。	各授業において、探究の流れで授業を行うことができるように工夫されており、その課程で知識や技能を習得し、思考力・表現力・判断力が養えるような構成になっている。「課題」を大きく示すことにより、その単元や時間での解決すべき物事が明確である。
ア. 言語活動を充実するための工夫	「課題に対する結論を表現しよう」では、各節の学習課題に対する結論を自分でまとめるよう設定されており、その中で、「使用するキーワード」が書かれていることで、生徒をサポートする工夫がなされている。	生徒イラストの会話場面にて、課題に対しての自分の考えを整理したり表現したりすることを促している。また、「話し合おう」など対話的活動を通して深い学びが実現できるよう配慮されている。	巻頭「理科のトリセツ」では、新たな疑問が生じるまでの過程や探究過程で生じる他者との話し合いの仕方など理科の見方・考え方が解説されており、生徒の表現をサポートする工夫が見られる。	単元ごとに学んだ内容を説明する場面設定があり、仲間との話し合いができるようにイラストを活用して、方向性を指し示している。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	目次に掲載されているQRコードに端末をかざすことで、教科書の図版や動画にリンクすることができる。シミュレーションや他教科の内容を見ることができる。	目次ページに「理科の世界WEB」のQRコードが掲載されており、ウェブサイトを活用した学習が可能となっている。水族館や動物園、科学館のサイトや、他教科のページを閲覧できる。	随所に掲載されたQRコードにより、インターネット教材へとリンクでき、動画や練習問題、コラムなどを視聴できるようになっている。	目次に「まなびリンク」というQRコードがあり、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるように工夫されている。科学館のサイトを閲覧したり、掲載されている図鑑を利用して、学習に生かすことができる。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	生徒が難しいと感じる単元には、例題・考え方・練習・確認が掲載され、つまづき解消に努めている。本の紹介や自由研究につながる記述があり、興味を持った生徒が自ら内容を深められるようにしている。また、「学んだことをつなげよう」や「Before & After」など確認の仕方の工夫もされている。単元末にはまとめと練習問題が掲載されている。	単元のはじめの文章や大きな写真で全体のテーマを捉え、既習事項を振り返りながら、見通しをもった学習が出来るよう工夫している。単元末にはまとめと単元末問題が用意されている。振り返りに重点が置かれており、多くの「振り返ろう」が設定されている。	各単元のはじめと終わりに、その単元における本質的な問いとなる同一の「学びのあしあと」が示されており、学習の見直しや振り返りを行う工夫がなされている。また、学習前と学習後の「学びのあしあと」を比較することで、生徒が自身の学びの変容を実感できるようになっている。	単元の導入でダイナミックな写真を紹介し、「学習前の私」で単元を通した課題が提示されている。章末に「学習後の私」で学習したことを用いて考える課題が設定されている。単元末にはまとめと章末問題が用意されている。また、「自然の探究」の進め方の例があり、学習への見通しが立てやすくなっている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	対話の具体例が示されており、答えを言わないようにイラストのセリフが工夫されている。生徒が主役で、登場する教師はサポートする意見にとどめている。また、「課題に対する結論を表現しよう」では、「ノートに書いてほかの人と比べよう」と記載され、積極的に他者と関わる工夫がなされている。	各単元末の「探究活動」では、キャラクターが対話の具体例を示すことによって、生徒の対話を引き出し、協働的に課題解決に望む姿勢を促している。また、「Science Press」では学習内容とつながりがある内容で興味・関心を高めている。	各章の中で設定されている「探究」では、キャラクターの会話から積極的に他者と関わるヒントが記載されている。また、「ふり返り」では、新たな問いについて議論するヒントも示されている。	生徒が対話しているイラストと意見セリフの吹き出しを多く掲載しており、常に自分の考えをもち、生徒の思考を共有し、他者と共に学習を練り上げていくことを促している。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「力の世界」「いろいろな生物とその共通点」(1年)、「電流の性質」「水蒸気の変化と湿度」(2年)、「化学変化とイオン」「生命の連続性」(3年)では、問題発見→課題→構想→実験・観察→分析解釈の流れで学習が展開されている。SDGsに関する内容(生物・エネルギー・環境など)を扱っている。(3年P301～311)	「力のはたらき」「生物の世界」(1年)、「電流と回路」「気象観測」(2年)、「化学変化とイオン」「生命のつながり」(3年)では、問題の発見→学習の課題→予想、計画→観察・実験→結果→考察の流れで学習が展開されている。SDGsに関する内容(植物・環境など)を扱っている。(2年P287, 3年P105, P187, P295, P324～327)	「力のはたらき」「動植物の分類」(1年)、「電流と電圧」「大気中の性質と雲のでき方」(2年)、「化学変化とイオン」「生物どうしのつながり」(3年)では、気づき→課題→仮説→計画→方法→結果→考察→ふり返り→まとめの流れで学習が展開されている。SDGsに関する内容(環境・災害など)を扱っている。(1年巻頭⑤, 2年巻頭④, 3年P257～263)	「力のはたらき」「いろいろな生物とその共通点」(1年)、「電流と電圧」「空気中の水の変化」(2年)、「化学変化とイオン」「生命の連続性」(3年)では、疑問→課題→仮説→計画→実験考察結果の流れで学習が展開されている。SDGsに関する内容(生物・気象・環境・エネルギーなど)を扱っている。(1年P73～220～221, 3年P41, P273, P304～307, P322～325)
⑥他教科との連携の工夫	ページのサイドにリンクマークが設定され、数学科・社会科などの他教科や1, 2年時の履修内容の確認ができる。	「つながる」というアイコンがあり、他教科との連携の工夫がなされている。例えば、密度を計算するページでは小学校の割り算の計算を例に、簡単に計算する方法を示している。	各単元のはじめに「振り返ろう・つなげよう」という項があり、小学校の理科学習や、中学校での既習事項との関連がまとめで示されている。	水溶液の学習では、線分図を使って計算することを促すなど、「ブリッジ算数」という項目で小学校算数との連携について紹介されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	グラフの線を色だけで区別せず、線種を変えたり文字を付記したりして、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。ダイナミックな写真や活火山分布・前線などの立体ペーパーグラフトの付録がついているのが特徴的である。	ページ内の写真やイラストの配置が工夫され、事象がイメージできるようにになっている。カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	AB版であることを活かし、比較的大きな図が多く配置されている。グラフの線を色だけで区別せず、線種を変えたり文字を付記したりして、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。詰め込みすぎないよう、余白や図の配置に余裕があり、見やすくなっている。	AB版であることを活かし、各単元のはじめにダイナミックな写真がある。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。紙面において、本文による思考の流れを止めないように、写真、図が補助的に配置されている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルフォントを活用し1ページに集約しているため、比較的、字は小さめ(1年生の文字サイズは大きい)に設定されている。シンプルなレイアウトで淡い色調のデザインである。	実験・観察について1ページにまとめている。少し小さめのユニバーサルフォント(1年生の文字サイズは大きい)を使用している。	従来のフォントを活用し、レイアウトを工夫している。文字の大きさに統一感があり、文章記述もシンプルである。	ユニバーサルフォントを採用し、改行ピッチを工夫している。ページの隅々まで文字が行き渡り、より通読できる教科書の体裁となっている。重要語句は目立つようにオレンジ色で記載されている。文字は大きめの12ポイントで1年生はさらに大きい。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	第1学年の化学分野の単元では、気体の性質、水溶液の性質を学んだあとに物質の3態を学ぶ構成となっており、学習内容がスムーズにつながるよう工夫されている。	第1学年の地学単元では、火山の学習の次に地震の学習を行うことで、大災害につながる2つの大地の現象のつながりが示され、その後に、その原因となる地層の学習が設定されている。	第3学年の単元配列において、夜空の観察に適した冬にあたる時期に、宇宙の学習が設定されている。	第1学年の学習では、つまづきの少ない生物、地球の単元から始め、物理、化学を後半に配置している。
⑦判・ページ数	A4判変形 2年272 2年322 3年338	B5判 1年294 2年318 3年374	AB版 1年274 2年290 3年282	AB版変形 1年320 2年338 3年376

発行者・教科書名 観点	啓林館 61 未来へひろがるサイエンス
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	各単元に「探Q実験」「探Qシート」を設定し、主体的に課題を見つけ、計画的に探究活動へと導入できるようにする付録がついている。また、つまずきが多い箇所には例題を多用し、生徒が学びに向かう意欲のアシストをしている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	生徒相互の考えを深めるために、教科書に書き込める箇所を設定し、作図だけでなく学習した語句を用いて互いに学びの評価ができるようにしている。また、レポートの書き方の例を「わたしのレポート」で多数示している。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	生徒がつまずいたり興味を持ったりする箇所にQRコードが多数配置され、家庭内で端末を利用した補助教材の役割がある。Webのリンクや独自の動画が豊富に用意され、教科書図版の動画説明が詳しい。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	各章の導入に「学びの見通し」や「学ぶ前にトライ！」が設けられ、課題意識を持たせるように工夫している。単元末に「学んだ後にリトライ！」で学習内容を振り返りようになっている。単元末にはまとめと章末問題が用意されている。また、高校理科につながる学習内容にはマークが表示されている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	実験で仮説や計画を立てる場面で、生徒の話し合いの場面が設定されており、生徒の吹き出しを多用している。生活の中の何気ない疑問を、対話を通して解決する場面として「みんなで解決」が多数設定されている。他者との連携すべき場面を3つ設定し、話し合い・自己思考・自己表現の中で系統的に関わり合えるように構成されている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「力による現象」「いろいろな生物とその共通点」(1年)、「電流の性質」「大気の動きと日本の四季」(2年)、「化学変化とイオン」「生命の連続性」(3年)では、課題→仮説→計画→結果→考察→探究のふり返りの流れで学習が展開されている。SDGsに関する内容(気象・エネルギー・科学技術など)を扱っている。(2年P134～135, 3年P248～249, P302～309)
③他教科との連携の工夫	これから学習する内容には「つながる学び」、同じ学年で関連する学習には「つながるページ」、社会科や数学などの他教科と連携する場所には興味を引くコラムとともにトピックスが設けられている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	AB版であることを活かしてダイナミックな写真が多く配置されている。グラフの線種を変えたり文字を付記したりして、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。メディアユニバーサルデザインという、個人の特性に寄らずに理解できる工夫がある。イラストの色調や構図が統一され、仕組みをイメージできる構成になっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	AB版を生かして、見開きのダイナミックな表現を実現している。生徒が読む文章を教科書の中心に整列させ、思考やイメージを膨らませる図版などは両サイドに配置している。ユニバーサルデザインフォントを活用し、細かい文字の改行ピッチを広めにとっている。(1年生の文字は大きめ)
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	第2学年の単元配列において、気候現象の観察に適した夏にあたる時期に、気候の学習が設定されている。
⑦判・ページ数	AB版 1年316 2年332 3年364

5 音楽(一般)

発行者・教科書名 観点	教育出版 17 音楽のおくりもの	教育芸術社 27 中学生の音楽
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	全体的にバランスよく教材が配置されている。ICTや関連ページを活用しながら、思考を深める工夫がなされており、生徒たちが主体的・協働的に学ぶことができるようになっている。	全体的にバランスよく教材が配置されている。共通事項に示された内容が的確に、かつ視覚的に確認することができ、生徒にとって学習目標が明確になっている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	「ACTIVE！」が随所に配置されている。ワークシートを使いながら、生徒たちが意見や考えを交流したり、助言し合ったりすることで、学びを深められる場面が多く設定されている。また、グループワークを用いた課題が表記されている。	巻頭で音楽に携わる人々の思いに触れることで、音楽を創造する喜びを知り、主体的に学ぶ意欲を育てる工夫がなされている。随所に配置されている「深めよう！音楽」では、自分の言葉でまとめたり、話し合ったりする活動が順を追って設定されている。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫 イ. ICTを活用した学習活動の工夫	QRコード「学びリンク」があり、アクセスすると動画や模範演奏を各自で視聴できる。生徒たちにとって自主学習がしやすいコンテンツが多く、これを活用して学びを深めることが可能である。	QRコードが多くあり、アクセスすると学習の参考となる資料や音源を各自で確認できる。これを活用することで、生徒たちが授業を振り返ったり、学習をさらに深めたりすることが容易である。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	キャラクターの吹き出しにより、学習のポイントが分かる。「比べてみよう」や「深めてみよう」では関連ページが示されていて、主要教材で学習した内容をさらに生かせるよう、教材の設定がなされている。「音のスケッチ」では、創作の手順が分かりやすく示されている。	教材が單元ごとにまとまっていて、教科書を順に追うことで学習すべき内容を網羅できる。キャラクターの吹き出しにより、単元の目標や、生徒たちに身につけさせたい内容が明確に示されている。ポイントやQ&Aなど多く記載され、学習の手順が分かりやすく番号で示されている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「話し合おう」では、生徒たちが曲を聴いて感じ取ったことをまとめ、互いに交流できる。体験活動の手順に沿って模範演奏を試聴することも可能となっていて、深い学びの実現を目指した工夫が見られる。	「深めよう音楽」を活用することで、生徒たちがそれぞれ意見を出し合うことができ、協働的な学習を目指す工夫が見られる。指揮やリズム打ち、アウトリーチに関するページがあり、体験活動もしやすい。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	私たちのくらしと音楽について学習するページがあり、これまでの生活を振り返り、課題について考える活動が設定されている。「私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～」(P70～71)では、著作権についての問題を通して、生活の中の課題について学ぶことができる。	いろいろな音楽との出会いの機会が広げられるよう、様々なジャンルの代表的な作品や作曲家を紹介している。また、変わりゆく日常生活や現代社会における課題を取り上げる内容が示されている。「生活や社会の中の音楽～音楽体験を拓くアウトリーチ～」(P72)では、自分たちの生活と音楽のつながりについて学ぶことができる。
③他教科との連携の工夫	国際理解教育や外国語学習との関連から、英語の歌が掲載されている。東日本大震災に関する資料や、「世界人権宣言」に関する歌など、他教科の学習につなげることができる。コンピュータの活用についても記述されている。	国際理解教育や外国語学習との関連から、英語の歌が掲載されている。東日本大震災に関する歌も採り上げられており、他教科の学習につなげることができる。音楽の著作権に関する記述も詳細で、他教科の学習にも生かせる言語活動が設定されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	ユニバーサルデザインに配慮している。写真やイラストを大きく使用しているページと、楽譜だけを掲載するページが区別されている。最終ページが折り込みとなっていたり、学習項目ごとに紙面全体が色分けされたりして、生徒たちにとって視覚的アピールが強い構成である。	ユニバーサルデザインに配慮している。製本は開きがよく、使いやすい。学習を進める上で、特に重要な情報を視覚的に捉えられるようになっている。全体的に色の使い方やデザインがすっきりとした構成となっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォントに配慮されている。内容によって字の大きさや色を変える工夫がなされている。	ユニバーサルデザインフォントに配慮されている。字の大きさやデザインが工夫されている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	3年間を見通した系統的な教材の配列になっている。表現と歌唱を組み合わせた配列が多く組まれている。	3年間を見通した系統的な教材の配列になっている。表現の領域を基に歌唱と創作を組み合わせた配列になっている。
⑦判・ページ数	1年 A4変型 92 2・3年上 A4変型 92 2・3年下 A4変型 92	1年 A4変型 98 2・3年上 A4変型 98 2・3年下 A4変型 98

5 音楽(器楽)

発行者・教科書名		教育出版 17 中学器楽 音楽のおくりもの	教育芸術社 27 中学生の器楽
観点			
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫		音楽表現のための必要な技能を身につけ、音楽活動の楽しさが感じられる道筋がわかりやすくもうけられている。	音楽表現のための必要な技能を身につけ、音楽活動の楽しさが感じられる道筋がわかりやすくもうけられている。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	ア. 言語活動を充実するための工夫	楽器を比べて話し合う活動が提示されている。(P26、P52)	グループワークの方法や行い方をイラストを用いてアドバイスするなど、生徒たちのイメージが膨らみやすい工夫がなされている。
	イ. ICTを活用した学習活動の工夫	学習に役立つ情報を、各自がウェブサイトで見られるよう、QRコードが記載されている。箏の弾き方についてはQRコードをアクセスすると弾き方の動画を見ることができ、分かりやすい。	項目ごとに、取り上げている題材の曲と参考曲があり、また演奏者のプロフィールや音源が聴けるQRコードが記載されている。自宅に帰ってからも授業の振り返りができるよう工夫されている。
	ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	各項目ごとに目標設定が明確に表記されている。また、演奏のポイントが記載されているため、振り返りがしやすくなっている。	各項目ごとに目標設定が明確に表記されている。また、ポイントやQ&Aなどが多く記載され、道筋がわかりやすい。グループとしても振り返りしやすい内容が書かれている。
	エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	グループワークやアンサンブルを通して体験の幅を広くとれるように工夫されている。	グループワークの方法をイラストとコメントを使い説明するなど、工夫がなされている。アンサンブルを通して体験の幅を広くとれるように工夫されている。
	オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	アルトリコーダーの運指とギター&キーボードのコード表があり、活用に結びつけることができる。創作活動や表現活動をとおして、問題解決的な学習に取り組むことができる。不自然な旋律PART-1(器楽P71)不思議な旋律PART-2(器楽P77)	演奏する上でのポイントが書かれているため、演奏の目標を達成するための課題発見がしやすい工夫がされている。課題に沿って、自分の思いを表現する創作活動が設定されている。My Melody 日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう(器楽P49)
③他教科との連携の工夫	楽器の説明のところで、地域や時代、由来などの説明が盛り込まれ、社会科とも連携するような工夫がなされている。	楽器の説明のところで、地域や時代、由来などの説明が盛り込まれ、社会科とも連携するような工夫がなされている。	
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	写真や挿絵を多く使用したページと、あえてそれを用いず楽譜だけを掲載するページが区別され、目的に沿って写真などが活用されている。	適宜、写真や挿絵が使われているが、全体的にすっきりと見える工夫がなされている。	
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	字の大きさや色を変えるなどの工夫がなされている。多くの情報が記載される。	字の大きさや色彩感、ページのレイアウトに工夫がなされている。	
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	リコーダーを中心に、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓と学校現場で取り上げやすい楽器を中心にした編集になっており、基本的な奏法から発展的な奏法につながるような配列になっている。	リコーダー、ギターを中心に、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八と学校現場で取り上げやすい楽器ごとにまとまっており、基本的な奏法から発展的な奏法につながるような配列になっている。様々な打楽器を紹介するページも充実している。	
⑦判・ページ数	A版 107	A版 99	

6 美術

発行元・教科書名 版元	開隆堂出版 9 美術1発見と創造 美術2・3探究と継承	光村図書 38 美術1 美術2・3	日本文教出版 116 美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探究と未来
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	各題材ごとに、資質・能力の3つの柱を「学習の目標」として明記している。また、制作風景や「学習のポイント」「発想・構想の方法」で、より主体的に取り組む態度や思考力・判断力・表現力を育む工夫がされている。2・3教科書には作者のメッセージ等から表現活動する意味や人間性等を涵養するために「まとめ」の項が設けられている。	各題材ごとに「目標」として①表現活動②鑑賞の課題が明記されている。制作風景や「作者の言葉」、制作過程等を掲載することで、主体的に取り組む態度や思考力・判断力・表現力を育む工夫がされている。発想力を豊かにし、知識・技能を習得しやすくするため「学習を支える資料」が設けられている。	各題材ごとに「学びの目標」として、資質・能力の3つの柱が明確に示されている。また、「造形的な視点」や「作者の言葉」を提示することで知識・技能が習得しやすく、主体的に取り組める工夫がされている。生徒の制作風景や題材に関連する作品例や資料等が充実しており、主体性や思考力・判断力・表現力を育むことができる。
ア. 言語活動を充実するための工夫	各ページに学習ポイントがノートメモという形で入っており、見るポイント、考えるポイントが記入されているため、何について話し合うべきか明確になり、言語活動が取り組みやすい設定がされている。	誰もが知っている作者の作品やポスターなど、最近話題となっているジャンルが掲載されており、人気の映画や漫画の資料が多い。また、「発想を広げる」では、生徒が交流する場を持ち言語活動を促す設定がされている。	3年間の学習を一目でわかるページが写真入りで紹介されており、レイアウトも楽しい。アニメや芸能人の紹介もある。また、掲載作品には説明や作者の意図が書かれ、深い学びや対話的な学習につながる工夫がされている。
②主体的・対話的に学習活動の工夫	作品を制作している人の顔が入る構図が多く、作品工程のイメージを持ちやすく、作品に込めた思いも表情から読み取れるようになっている。各テーマごとにQRコードが示され、道具の使い方の動画や、生徒作品などが閲覧できる。	原寸大の作品を載せているページもあり、紹介している資料も豊富である。扱っているテーマ(教材)も多様に掲載されている。全国の中学生の作品や、音声ガイド、映像がQRコードで鑑賞できるものがある。	どのページも写真が大きく掲載されている。また、社会で実用されているデザインが多く掲載されている。ピクトグラムや絵文字で示されているところがあり目を引く。一部QRコードを掲載しているところがあり、作品を360度回転させたり、風神雷神図屏風の動画なども視聴することができる。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	「学習の目標」という表記で同じ場所に各ページ設けられており、観点別に学習の目標が明記されている。目次には、活動内容が色分けして示され、各題材のページのタイトルにも学習活動が明確に分かるようサインで示されている。	何のジャンルのページなのか単元最初の左端に掲載されており、目標も明記されている。全学年共通して「表現の工夫」として生徒の制作工程が図入りで掲載されている。1年生の教科書ではより多くの作品手順の工程が図入りで説明しており、副教材の資料集など使用しなくても説明できるようになっている。	「学びの目標」という表記で同じ場所に各ページ設けられており、観点別に学習の目標が明記されている。1つのテーマでいろいろなジャンルの作品が紹介され、アイデアスケッチの手助けになる。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	「学習の目標」という表記で同じ場所に各ページ設けられており、観点別に学習の目標が明記されている。目次には、活動内容が色分けして示され、各題材のページのタイトルにも学習活動が明確に分かるようサインで示されている。	「美術1」の巻頭に美術学習の意義と教科書の活用法が示され、各所に生活や社会を美しく豊かにするための視点が提示されている。また、「生徒作品」「作者の言葉」などで他者の意図や感じ方に触れ、自己の表現の幅を広げることができるよう工夫されている。	他者とのつながりが起因となる題材が多く設定されている。また、自分たちの生活や居住する地域に関わりのある作品や美術館が掲載されており、各所に生徒が美術の働きを実感的に理解するための工夫がある。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	「誰にでもわかりやすく伝える」(2・3年P70)では、年齢、性別、国籍を越えて誰もが分かり合える社会をつくるために必要なデザインの役割や工夫を学ぶことで実社会とつながって物事を考えることができる。「学びの資料」では、主体的に制作に取り組めるよう美術の知識や技法、工程が示されている。	題材の初めに目標と鑑賞の問いを設け、表現するために役立てることができ発想・構想の視点や作品が示してある。「メッセージを伝える」(2・3年P56)では、復興支援やマナー向上などのポスターが紹介されている。ポスターからメッセージを伝える工夫学び、実社会の問題や、自分の伝えたい内容にふさわしいデザインを考える創作活動が行える。	「印象に残るシンボルマーク」(1年P44)では、都道府県、オリンピック、博物館等のマークが紹介されている。イメージを形や色に表して表現することの工夫を学ぶことで、社会に目を向けながら、自分のイメージを人に伝えることの多様さを学ぶことができる。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	鑑賞や表現のテーマごとに、様々な教科とのつながりが明記されている(すべての教科)。また、鑑賞や表現の分野の中で、課題を見いだし、解決するための話し合いとして特別活動とのつながりも示されている。	生徒の写真が多く、制作時の手元の様子が具体的でわかりやすい。日本の伝統工芸の写真や図が比較的詳しく多い。写真や図の配置が整理整頓されていて、目で追いやす。「注意」の色使いが目につきやすく表示されている。トレーシングペーパーや質感の異なる紙が挟み込まれた仕掛けがある。また、生徒の興味を示す見開きページなどに工夫がみられる。カラーユニバーサルデザインの配慮がある。	写真や挿絵が画面から飛び出すような配置と大小の大きさの工夫でリズム感がある。作品写真が色鮮やかで、原寸大の掲載では迫力が伝わりやすい。写真や挿絵のページあたりの掲載点数が多い。屏風の作品が両開き2ページや4ページにわたり掲載し、実物の見え方に近づけた斬新な工夫がある。また、カラーユニバーサルデザインの配慮がある。
③他教科との連携の工夫	鑑賞や表現のテーマごとに、様々な教科とのつながりが明記されている(すべての教科)。また、鑑賞や表現の分野の中で、課題を見いだし、解決するための話し合いとして特別活動とのつながりも示されている。	「表現」と「鑑賞」の相互関連を意識し、一つの題材の中で、「表現」と「鑑賞」を一体的に学べるような構成にしている。また、題材の内容に応じて「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」と明記してある。	地域や学校の実態に合わせて、題材を選択したり組み合わせたりできるようにしている。題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性を持たせている。2・3年を上下に分け、学年ごとの学びを明確にしている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	見出しは大きく、ゴシック体が用いられ、やや難しいと思われる漢字にはルビ打ちがされていて、わかりやすくなっている。「学習のポイント」や「美術の用語」の説明のために、見やすい表示の工夫がある。また、独自のマークを使用することで、内容について一目でわかるようになっている。ピクトグラムとサイン計画を大きく取り上げている。UDフォントを使用している。	見出しは大きく、ゴシック体が用いられ、やや難しいと思われる漢字にはルビ打ちがされていて、わかりやすくなっている。「学習のポイント」や「美術の用語」の説明のために、見やすい表示の工夫がある。また、独自のマークを使用することで、内容について一目でわかるようになっている。ピクトグラムとサイン計画を大きく取り上げている。UDフォントを使用している。	学習の目的、題材名は丸ゴシック体で統一され、見やすくわかりやすい。各題材で身につけたい学習の目標は丸ゴシック体、本文は明朝体などわかりやすいように使い分けられている。ピクトグラム・サイン計画については、一目で伝えるための工夫がされている。また、学びの目標やマークによって、内容がわかりやすくなり学習に生かすことができる。造形的な視点の吹き出しにより、生徒が主体的に考えるヒントになっている。UDフォントを使用している。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	全体を通し、小学校図画工作科での学習経験を基に第1学年へ、また第2学年及び第3学年での学習を基に高等学校芸術科美術・工芸等への学習の発展を考え、系統的学習を重視して構成されている。	全体を通し、小学校図画工作科での学習経験を基に第1学年へ、また第2学年及び第3学年での学習を基に高等学校芸術科美術・工芸等への学習の発展を考え、系統的学習を重視して構成されている。	全体を通し、小学校図画工作科での学習経験を基に第1学年へ、また第2学年及び第3学年での学習を基に高等学校芸術科美術・工芸等への学習の発展を考え、系統的学習を重視して構成されている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	美術 1:A4 変形 66 美術 2・3:A4 変形 122	美術 1:A4 80 美術 2・3:A4 104	美術1:A4 変形 74 美術2・3上:A4 変形 64 美術2・3下:A4 変形 60
⑦判・ページ数	美術 1:A4 変形 66 美術 2・3:A4 変形 122	美術 1:A4 80 美術 2・3:A4 104	美術1:A4 変形 74 美術2・3上:A4 変形 64 美術2・3下:A4 変形 60

7 保健体育

観点	東京書籍 2 新しい保健体育	大日本図書 4 中学校保健体育	大修館 50 最新 中学校保健体育	学研教育みらい 224 中学保健体育
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	学習指導要領に示された目標に則り、各単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで構成されている。それぞれのステップに応じて思考力、判断力、表現力を育成することができる発問が設定されており、課題の合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それを表現することができるように配慮されている。また、運動や健康について、「主体的・対話的で深い学び」を具現化し、未来を切り開く生徒の育成のための工夫がされている。	知識を活用する力や知識を活かして物事を解決する力が問われる時代に「生きた学び」が得られるように工夫されている。興味・関心を引き出し、自ら進んで学習が進むよう発問が設けられている。各単元の「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」では、生徒が保健体育の「見方・考え方」を働かせる思考を深めたり、ノートに書き出すことで表現力を高めたりできるように配慮されている。また、「学習のねらい」が絞りがやすく、理解度をあげることができレイアウトとなっている。	全ての章で、「課題をつかむ」「学習のまとめ」が設けられており、導入からまとめまでスムーズに学習に取り組むことができる。また、章のまとめでは、知識技能の確認、思考・判断・表現の問題、学びに向かってを設けており、資質・能力の育成に資することができる。学んだ知識が実生活に生きて働くよう、生活に関連した情報を提供する読みもの教材が豊富に掲載され、興味を引くように工夫されている。	学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づいて、内容の特性や重要度を考慮した適切な編集がなされている。運動領域や各教科などとの関連やカリキュラム・マネジメントの実現について、関連を図って学習が進められるように配慮がされている。また、教え合う、学び合う活動には「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に学習活動が生まれるように工夫されている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	今日的な課題を多く掲載することで、生徒の興味・関心を刺激し、より意見が生まれ、対話的学習が進んでいくように工夫されている。また各単元ごとに発問が設けられ、言語活動が充実されるようになっている。各章のまとめの問題には記述式の問題もあり、学んだことを説明するなどの工夫がされている。	各章・各単元で学習のねらいが明記され、本文や資料を活用して取り組む「やってみよう」「話し合ってみよう」などのより活動を深める配慮がされている。各章の最後にある「学びを活かそう」が記述式になっており、自分の意見をまとめることのできる工夫がされている。	「学習のまとめ」に「話しあおう」と明記されることがわかりやすく工夫されている。それぞれのページの下に学習内容に関連する知識を掲載している。「学習のまとめ 話し合おう」という項目で、学習の終わりに項目があるため、テーマが明確である。	教え合い、学び合う学習活動には「協働」マークが示されている。話し合う、表現するなどの言語活動には「言語」マークで示され、言語活動の充実が工夫されている。(P.75 P.95 など)
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	Dマークが随所に表記され、デジタルコンテンツとしてより深い学習や、オンライン授業等に対応できるようになっている。薬物乱用体験者インタビューでは、生の声が聞けることでより現実的に捉えることができる。P.1にはQRコードが用意されているだけでなく、どのような内容が整理されているのかが一目でわかるようになっている。	QRコード(P.16)や無料デジタルコンテンツがあり、まとめの問題もデジタルコンテンツで多く用意されている。デジタルコンテンツが用意されている箇所にはタブレットのイラストでWEBと書かれている。ウェブサイトにリンクの中にまとめの問題があり、学習したことの振り返りを行うことができる。心肺蘇生法などの動画があり、視覚的にわかりやすく学ぶことができる。	QRコードがP.1にまとめられており、参考になる情報を調べることができる。また学習内容に応じて関連する項目がそれぞれのページに明記されている。身体活動量を増やすための動画や、ウェブサイトへのリンクも多数掲載されている。	P.10にQRコードがあり、関連する動画などを見られるようになっている。より広く、深く学習を進められる工夫がされている(P.65 P.125など)。また、ICT機器の活用を例に科学技術で変わるスポーツや健康の世界(口絵4)も紹介されている。
②主体的・対話的で深い学びについての工夫	授業の流れがわかりやすくなるような紙面構成がなされており、「見つける」「学習課題を確認する」「課題の解決」「広げる」と流れがあり生徒も教師も授業の見通しが持ちやすい。各章の終わりに章末資料があり、単元内容を発展させた情報・知識が組み込まれている。情報・知識だけでなく、インタビュー(P.56)やチェックシート(P.122)などもあり、関心を引くことができる。また、各章の学習のまとめには、確認の問題だけでなく、活用の問題などもあり、思考力・判断力・表現力にもつなげられる。	各章のはじめに学習することが簡潔に示されていてわかりやすい。章の終わりに重要な言葉がまとめられ、説明もされている。小学校から高校までの学習する内容をフローチャートで示されている。ウェブサイトのまとめの問題を用いて自ら学習を振り返るための工夫がされている。「見つける」→「課題の解決」→「広げる」という一連の学習の流れが矢印によって示されていて、見通しがたてやすい。	各章の最後に学習の振り返りができ、学力の定着が図れるようになっている。「ほり下げる」では、ワンポイント情報を端的に説明している。章のまとめでは、知識・技能の問題と思考・判断・表現の問題が分けてあり、わかりやすい。また、学んだことを振り返るための問題だけでなく、自己評価をするチェック欄も記載されている。	各章の扉で小学校で学習したこと、高校で学習する内容を表記しており、系統立てた学習ができる工夫がされている。学習の流れが示され、目標や課題が明確であり、学習の最後には学習の課題をまとめたり伝えたりできる構成となっている。また、章末に自己評価欄が設けられており、内容理解など自己の理解度を知ることで学習の振り返りや次回の課題としてつなげることができる。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	応急手当ての方法などがイラストや動画コンテンツで示されていることで、実習が行いやすい。ロールプレイング(P.9 P.39 など)や自分の考えを説明する機会が多く用いられ、対話を通して問題解決や交流の機会が多く設定されている。	心肺蘇生の実習ページでは折り込みが採用されており、全体の確認をしながら進めることができる。また各単元ごとに話し合うテーマが細かく設定されており、丁寧に活用することで思考力・判断力・表現力の向上が期待できる。技能や実習などはイラストなどでわかりやすく示され、動画で確認することもできる。(P.42など)	学びを深める課題として、グループで話あったり、発表あったりして学びを深める課題が随所に設けられており、他者との関わりを持つことができる。ストレス対処と応急手当の技能については、実習のページを設け、写真やイラストを参考にしながら習得できるように工夫されている。	全ての項目に、「まとめる・深める」または「実習」を設け、その時間で習得した知識をまとめたり、深めたり、活用したりすることができるようになっている。ディスカッションやブレインストーミングなどの生徒同士が積極的に関わり活動する内容が盛り込まれている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	各単元で「見つける」の活動を行うことで課題を見出し、「広げる」の活動で学びへの意欲を高める工夫がある。「傷害の発生要因」や「自然災害による傷害の防止」では、日常生活の具体的な場面が例に挙げられ、話し合いの中で、生活の中の課題について考えを深めさせる内容がある。(P.63、P.72など)	課題解決の学習過程(つかもう→やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう→活用して深めよう)を通して、問題解決ができる工夫がある。「健康の成り立ちと疫病の発生要因」(P.6)や「運動やスポーツの安全な行い方」(P.116)では、実生活と学習を結びつける工夫がある。「自然災害による傷害の防止」(P.72)では、避難所で地域の方々とともに、自分たちができると考えさせる教材がある。	各章のはじめに「章とびら」、各項目に「課題をつかむ」「学習のまとめ」を設けて、課題解決の過程を重視するように配慮されている。「ストレスへの対処の仕方」(P.50)や「交通事故の防止」(P.103)では、様々な問題や課題を、実生活と結びつけながら考えを深めることができる。	章末に設定されている研究課題「探求しようよ！」で、課題の例や学習の仕方を示し、課題解決的な学習を展開できるよう工夫されている。「ストレスへの対処」では、中学生の生活における実例が紹介され、実生活に即した課題について考えることができる。(P.46)
③他教科との連携の工夫	「他教科マーク」を設け、教科相互の関連を図り、系統的、発展的な指導が行える。道徳・理科・家庭科との関連(P.20 P.72)が説明され、キャリア教育(口絵3-4 口絵7-8)なども重視されている。	他教科との関連が深い単元では、「リンク」マークを採用する工夫がされている。(P.140 P.154 など)	関連する内容が他教科にある場合「他教科マーク」を使用する工夫がされている。(P.30 P.171 など)	P.10にQRコードがあり、関連する動画などを見られるようになっている。より広く、深く学習を進められる工夫がされている(P.65 P.125など)。また、ICT機器の活用を例に科学技術で変わるスポーツや健康の世界(口絵4)も紹介されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	カラーユニバーサルデザインの観点から、配色及びデザインが工夫されている。紙面の色数を限定し、誰もが見やすく、落ち着いたレイアウトがされている。挿絵も優しいタッチで描かれているが、伝えたい事柄を細かく描写している。図は省スペースでありながら見やすく、ポイントを絞って表記されている。また、挿絵や写真で男女の比率や役割に偏りの無いよう配慮がされている。	カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫している。本文ページと資料ページの区別や読みやすい位置での改行がされている。図やイラストが多く、視覚的な情報が得られやすい。(P.93-95)	カラーユニバーサルデザインに配慮し、資料は目盛や罫線を見やすくされている。また、読むべき本文と資料が明確に区別されている。	カラーユニバーサルデザインの考えに基づいて配色や紙色、表現などが工夫がされている見やすい。イラストがとて多く、理解しやすい。また、ともに学習を進めるキャラクターの「with」も語りかける形式で登場し、学習の手助けをしてくれる。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	UDフォントを使用し、本文は明朝体、本文中のキーワードをゴシック体として区別をしている。常用漢字にはふりがながついており、多様な生徒に配慮がされている。学年・分野ごとに色分けされており、見間違いが起りにくい。	UDフォントを採用しており、本文と重要語句の区別がはっきりして識別しやすさ。図表は線の種類や濃淡、地紋によっても識別できる工夫がされている。	UDフォントを使用し、本文は明朝体、本文中のキーワードをゴシック体として区別している。本文の内容と関連する資料などは色を変えてわかりやすくなっている。	見出しや本文に、判別しやすいUDフォントを使用し、本文は明朝体、本文中のキーワードをゴシック体として区別している。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	体育分野、保健分野でひとまとまりとして、学年ごとに学習する順番で配列している。各学年において、保健分野を先に配列している。インターネット関連についての教材が多数あり、利用状況や依存症について、また、SNSとの付き合い方などを考える工夫がある。(P.46 P.109)また、「いろいろな相談窓口」(P.41)が多数紹介され、活用できる工夫がある。性教育について基本的な内容に加え、異性の尊重、性情報への対処なども取り上げられている。(P.24~29、152~155)LGBTについての手記が紹介され、幅広い考えを持つ機会がある。(P.44)	体育分野、保健分野でひとまとまりとして、学年ごとに学習する順番で配列している。各学年において、体育分野を先に配列している。各学年において、健康な生活と疾病の予防についてを先に配列している。SNSトラブルについての紹介があり、課題発見につながる教材として扱うことができる。(P.39 P.97)また、「ミニ知識」には2つの相談窓口ダイヤルが紹介され、活用できる工夫がある。(P.47)性教育について(P.34~39)と、性感染症やエイズについての扱い(P.136~139)がある。また、LGBTについては「トピックス」(P.38)で触れられている。	体育分野、保健分野でひとまとまりとして、学年ごとに学習する順番で配列している。各学年において、体育分野を先に配列している。SNSトラブルについての注意喚起がある。(P.39 P.105 P.169) スマートフォンについて、事例を用いて考えさせる工夫がある。(P.92)「相談できる場所」が紹介され、思春期の悩みについて考える工夫もある。(P.55)性教育について(P.34~39)と性感染症とエイズについての扱い(P.140~143)がある。また、LGBTについては本文補足説明として紹介がある。(P.38)「がんとその予防」(P.80、P.82、P.93)ではがん教育を扱い、資料なども充実している。	体育分野、保健分野でひとまとまりとして、学年ごとに学習する順番で配列している。各学年において、体育分野を先に配列している。各学年において、健康な生活と疾病の予防についてを先に配列している。SNSトラブルや被害回避などの諸問題が学べる工夫がある。(P.35、P.53、P.104、P.130)また、いじめや人間関係の悩みなどを相談できる相談窓口が多く紹介され、活用できる工夫がある。(P.4)性教育について(P.48~53)と性感染症やエイズについての扱い(P.156~159)がある。LGBTについて「ひと」(P.43)に掲載され、「LGBT」の表記もされ、解説もある。「性意識の変化」では多様な考え、感じ方にも触れている。(P.52)「がんとその予防」(P.90)では、がん教育を重視した探求的な内容がある。
⑦判・ページ数	AB版 206	AB版 194	AB版 198	AB版 206

8 技術・家庭 (技術分野)

発行者・教科書名	東京書籍 2 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	教育図書 6 New技術・家庭 技術分野 明日を創造する 明日を創造する技術ハンドブック	開隆堂 9 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
観点			
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	内容ごとに1編～4編にまとめられ、各編は、①「技術の原理・法則や仕組みを理解する」②「技術による問題解決を行う」③「技術を評価し、選択、管理・運用、改良、応用について考える」という構成になっている。これは学習指導要領(解説)で示されている学習過程に沿っている。	内容ごとにA編からD編にまとめられ、各内容は①「つくって学ぼう」②「じっくり学ぼう」③「学びを深め生かそう」という構成になっている。文言が独自の表現になっているが学習指導要領(解説)で示されている学習過程に沿っている。	内容ごとにA～Dにまとめられ、各内容は、①「身の回りの技術からその役割を考える」②「問題解決活動に取り組む」③「理解を深め、評価・活用し工夫・創造する態度を育てる」という構成になっている。これは学習指導要領(解説)で示されている学習過程に沿っている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	各編、各項の導入に「調べてみよう」で、生徒の言語活動を促す工夫がなされている。また課題解決カードでも言語活動を促している。	各編、各項目の導入が「見つける」で始まっており、学習への動機付けで言語活動につなげることができる。	各内容の各項目は「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」で始まっており、言語活動につなげられる。また、「評価・改善」活動を取り入れることで、自己評価・相互評価を通して言語活動を促すようにしている。(P57)
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	WEB上動画等のコンテンツとリンクして学習できるようになっている。各編からQRコードでアクセスでき、単元に関する動画や実技に関する動画が視聴できる。WEB上に資料がある場合はDマークで示される。「情報の技術」でプログラミング(実習)を扱い、それに関するページ総数は52ページである。	WEB上動画等のコンテンツとリンクして学習できるようになっている。リンクは関連するページごとにQRコードがあり、その数は43である。単元に関する動画や実技に関する動画が視聴できる。「情報の技術」でプログラミング(実習)を扱い、それに関するページ総数は58ページである。	WEB上動画等のコンテンツとリンクして学習できるようになっている。リンクは関連するページごとにQRコードがあり、その数は56である。また、QRコードは奇数ページの右下にある。作業動画や参考資料が閲覧できる。「情報の技術」でプログラミング(実習)を扱い、それに関するページ総数は50ページである。
ウ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	各編ごとの「学習のまとめ」は、テスト問題形式になっている。大切な用語は列挙され、それぞれに関連ページ数が記載されているので、振り返りがしやすいようになっている。	各編ごとの「学習のまとめ」は問題形式になっている。問題は「知識・技能」「思考、判断、表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理され、振り返りがしやすいようになっている。	各内容ごとの「学習のまとめ」は、問題形式ではなく、あくまでも確認(自己評価)である。用語については列挙され、関連ページが記載されているので、振り返りがしやすいようになっている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	題材(問題解決例)以外にも「活動」で、グループでの活動や体験的な活動が紹介されており、他者と関わる力や体験的な活動を取り入れる工夫がみられる。	題材例以外にも、「やってみよう」として手軽にできる実験例が多く掲載され、体験的な活動が取り入れられている。また「やってみよう」にはグループ活動を意識したものも取り入れられ、他者と関わる力をつけるための工夫がみられる。	「話してみよう」や、「実験」では、グループで話し合わせるようになっているものもあり、積極的に他者と交わる力をつける活動が取り入れられている。実習例以外にも、実験が多く掲載され、体験的に学習できるような工夫がみられる。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	各編の第2章の初めに、身の回りの問題を発見し課題を設定する学習内容がある。例えば「材料と加工の技術」では、問題解決や課題設定の手立ての例が示されている。(P38) 各編すべてに「問題解決例」を掲載し、生活の中で生じる問題の発見から課題の設定、設計・計画、製作・制作・育成、評価・改善までの問題解決のプロセスを具体的に示している。(P68～P75)	各編の第2章では、第1章で学んだことをもとにして設計・計画の手順を学び、自らの技術で問題の解決に取り組む構成となっている。(P36・37) 巻末に「夢をかなえる技術」では、学んだ技術を生かして実生活での問題を解決する例を示している。(P270～P283)	各編の第2章で、問題の発見から課題の設定、設計・計画、製作・制作・育成、評価・改善までの問題解決の流れがまとめられ、実習例が具体的に示されている。(P44～P67) 「生活や社会と材料と加工の技術」では、生活や社会の中にある製品の材料や加工の技術を考え、課題を発見することができる場面が設定されている。
③他教科との連携の工夫	該当教科や小学校の既習事項とのリンクが作られており、すぐに調べることができるように工夫されている。(P26など) 「技術のとびら」に科学的根拠に基づいた資料があり、他教科への関心を高める工夫がある。SDGsに触れた箇所が3箇所あり、巻末には資料もある。	リンクマークで関連する教科の記述がある。該当する教科への接続が容易になるように工夫されている。(P36) 職業に関する内容があり、キャリア教育につなげやすい。SDGsについての資料が1箇所ある。(P182)	各内容のはじめに、小学校との関連および中学校他教科との関連が示されており、教科間のつながりがイメージできるように工夫がされている。(P21など) 他教科、小学校へのつながりを示す記号がついており、容易に確認することができる。SDGsに触れた箇所が7箇所ある。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	分野ごとにテーマカラーが設定されており、色覚特性に適合するデザインとなっている。表や矢印は、大きく色をつけるなど見やすい工夫がみられる。(P229等) 写真が多く、イメージしやすい工夫がみられる。	写真が多く掲載されている。作業写真は、1人称視点(作業員目線)のものが多く、学習者が作業のやり方等をイメージしやすい。「資料」が黄色で示され、すぐに発見できるよう工夫されている。(P153)	カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、見やすいデザインとなっている。安全マークや環境マーク・防災マークが付してあり、関係する内容であることが一目でわかる工夫がされている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォントが使用されており、見やすく読み間違いにくい配慮がされている。タイトルは着色、重要語句は太字ゴシック体にするなど、統一された見やすい工夫がみられる。(P166など)	ゴシック体で見やすく、重要語句は青文字(太字)で表現されている。文字サイズが従来より大きくなっており、読みやすくする工夫がみられる。	統一性のある色づかいで、分類ごとに色分けされるなどの工夫がされている。語句の途中で改行されないように編集されており、読みやすさや語句を間違わないようにする工夫がみられる。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	4領域の内容を学習指導要領の記述順に沿って1編～4編に配列している。巻末に統合的な問題解決の単元を配置し、4つの領域を関連付けて学習する機会を設けている。	4領域の内容を学習指導要領の記述順にそってA編～D編に配列している。巻末に夢をかなえる技術として、学んだ技術を組み合わせる単元を設けている。	4領域の内容を学習指導要領の記述順に沿ってA～Dに配列している。巻末に技術分野での問題解決について振り返る単元を設け、4つの内容を関連付けて工夫・創造する場面を設けている。
⑦判・ページ数	AB判 291	AB判 287 別冊:技術ハンドブックAB判 40	AB判 294

8 技術・家庭 (家庭分野)

発行者・教科書名	東京書籍 2 新しい技術・家庭科 家庭分野 自立と共生を目指して	教育図書 6 New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	開隆堂 9 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
観点			
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとに1編～5編にまとめられ、各編の導入で生活の営みに係る見方・考え方を確認し、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで学習内容が記述されている。 教科書冒頭のガイダンスに、家庭分野の目標が文章でしっかりと示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとにA編～C編にまとめられ、各編の項目が「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」という共通の構成になっており、段階を踏んで生活を工夫し創造する資質・能力を身につけられるよう工夫されている。 よりよい生活の実現に向けて課題を解決し、家庭や地域で実践しようとする態度を養えるよう、巻末に「生活の課題と実践」という課題例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとにA～Cにまとめられ、全体を通じて「自立と共生」「生活の見方・考え方」を重視した視点で編集されている。 学習課程を通じて多様な課題が設定されており、教科書に沿って学習を展開することで「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成となっている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の始めに「話し合ってみよう」、「考えてみよう」「調べてみよう」など言語活動を促す工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目ごとに「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「聞いてみよう」など言語活動を充実させる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目ごとに「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表してみよう」など言語活動を充実させる工夫がある。また、項目のはじめに生徒に身近な発問をおくことで、思考を広げ言語活動を促すことができる。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各編の最初にあるQRコードでデジタルコンテンツにアクセスでき、動画やシミュレーションとリンクして学習できるようになっている。 Web上に資料がある教材や、他教科の学習内容と関連のある教材はDマークで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習を補うデジタルコンテンツや関連ホームページを参照できるQRコードが多数(53か所)掲載されている。 特に調理と食文化の章では、調理の方法が細かく動画で示されており、わかりやすくなっている。(P117) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習を補う動画などのデジタルコンテンツを参照できるQRコードが多数(61か所)掲載されている。 特に、Bの衣食住の編では、調理や布製品の制作方法が細かく動画で示されており、わかりやすくなっている。
ウ. 学習を見通したり振り返りするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各編の導入で「この編で学ぶこと」が示され、家庭の機能、見方・考え方を確認して見通しをもって学習できる工夫がある。(P20) 編ごとに「学習のまとめ」が設けられており、学習内容を振り返り、資質・能力が身に付いたかを確認することができる。(P100) 	<ul style="list-style-type: none"> 各章にそれぞれの目当てが示されている。 「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」という構成になっており、学習の見通しや振り返りがしやすくなっている。 編ごとに「学習のふり返り」が設けられており、学習内容を振り返り、資質・能力が身に付いたかを確認することができる。(P68) 	<ul style="list-style-type: none"> 各編の導入に「小学校での学び」や「学習前と後の興味関心」を書き込めるようになっている。(P70, 71) また、各項目に学習の目標が示されている。 編ごとに「学習のまとめ」が設けられており、学習内容を振り返り、資質・能力が身に付いたかを確認することができる。(P67) リンクマークのページと学習内容の記載によって、同じ家庭分野内での知識のつながりがわかるようになっている。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 他者と関わる活動を増やすために、「話し合ってみよう」「考えてみよう」などの活動例を示している。 物事を考えたり整理したりする際に有効な「思考ツール」を取り入れている。(例:P116 P163) 教科書の最後に子どもの視界体験眼鏡が付けられているなど、学習内容を実際に体験できる工夫がある。(P132巻末) 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」「考えてみよう」にはグループ活動を意識したものも取り入れられ、積極的に他者と関わる力をつけるための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に他者と関わる力をつけるために「話し合ってみよう」「発表しよう」「やってみよう」「生活にいかそう」などの課題を設け、ロールプレイングやグループワークの例を示すことで、体験的な活動を進めることができるようになっている。(P48 P53)
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や現代社会における課題を取り上げられており、章のまとめの活動には「生活に生かそう」「まとめよう」など、生活での課題を解決するために活用しやすい工夫がある。(例:P171 P157) 教科書の最後に「生活の課題と実践」が設けられており、各編と関係する課題の解決と実践の方法の例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章ごとに課題解決学習が設定されており、学習のプロセスがわかりやすくまとめられている。 課題解決学習に取り組む際、身につけた知識・技能にフィードバックできる「課題設定のヒント」が示されている。 巻末に「生活の課題と実践」という課題例を示し、よりよい生活の実現に向けて課題を解決し、家庭や地域で実践する力を養える工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容ごとに課題発見につながるような発問が随所にある。 生徒が実際に疑問をもつような問題について、「先輩からのエール」としてQ&A形式で質問に答えるページがある。(P66) 教科書の最後に「生活の課題と実践」が設けられており、各編と関係する課題の解決と実践の方法の例が示されている。
③他教科との連携の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 他教科や小学校家庭科と関連する内容を「他教科」「小学校」マークを用いて示している。(P132 P164) 教科関連を示すDマークは、Web上で関連する他教科の教科書紙面を確認できることを示している。(例:P174) 年齢、多様な生き方など様々な人との共生について学べる工夫がある。(P260 P266) 持続可能な社会(SDGs)との関連について取り上げている。(P239) 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科や小学校、高等学校との学習の関連を「リンク」マークで示している。(P112 P186) 年齢、多様な生き方など様々な人との共生について学べる工夫がある。(P30 P218) 持続可能な社会(SDGs)との関連について取り上げている。(P178) 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科と関連している内容については、「他教科」マークで教科名、題材名が示されている。(P59, P65) 理科(消化)と連携し、「モノグリセリド」という表記が用いられている。(P83) 小学校家庭科と関連している内容には「小学校での学び」というタイトルと既習事項の説明がされている。(P186) 人種、性別、LGBTなど様々な人との共生について学べる工夫がある。「生活に生かそう」では制服の自由選択について考えるページがある。(P59 P65 P173) それぞれの領域において持続可能な社会(SDGs)についての記述がある。(例P7 P64 P152)
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	<ul style="list-style-type: none"> 分野ごとにテーマカラーが設定されており、色覚特性に適應するデザインとなっている。 調理や制作の手順に写真やイラストを多く用いている。また、実物大の写真が用いられている箇所もある。(P36 P222) 巻末に綴じ込みの資料が添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 分野ごとにテーマカラーが設定されており、色覚特性に適應するデザインとなっている。 調理や制作の手順に写真やイラストを多く用いている。野菜の切り方を実物大で示している箇所はわかりやすい。(P116) 巻末にシールが添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 分野ごとにテーマカラーが設定されており、色覚特性に適應するデザインとなっている。 調理や制作の手順に写真やイラストを多く用いており、特に調理の項目では、実物大や大きめの写真が多く用いられており、わかりやすい。(P88) 調理実習例ではアレルギー物質(27品目)を含む食材に黄色のラインが引いてあり、注意しやすい。(P136)
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字は従来より10%大きくなっている。 ルビは、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いている。 キャラクターのせりふは全て文節改行にし、読みやすさに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ルビが大きく読みやすい。 文章は簡潔に、文字量も抑えられている。 本文中の重要な語句は青色の太字である。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 言葉が途中で切れないよう改行し、言葉の判別がしやすく読みやすい工夫がある。また、文章や紙面の配置も見やすい配慮がされている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	<ul style="list-style-type: none"> 学習の系統性や生徒の発達段階を踏まえ、ガイダンスの後は、学習指導要領が示すB、C、Aの順で単元が配列されている。 基礎・基本から発展・応用へと段階を踏んで学習できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿ったA、B、C、の順で単元が配列されている。 各編は、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成されており、身につけた力を生かしてに工夫しながら課題に取り組む流れとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿ったA、B、C、の順で単元が配列されている。 「興味・関心」(主体的)→「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」(対話的)→「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」(深い学び)で構成されており、アクティブラーニングを実現できる教材の配列となっている。
⑦判・ページ数	AB版 291	AB版 295	AB版 299

9 外国語

発行者・教科書名	東京書籍 2	開隆堂 9	三省堂 15	教育出版 17
観点	NEW HORIZON English Course	SUNSHINE ENGLISH COURSE	NEW CROWN English Series	ONE WORLD English Course
①教科目から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	生活で遭遇するような場面を提示し、自立した英語学習者を育てるということを念頭に置き、4技能5領域が習得できるようバランスよく配置されている。基礎的、基本的な知識・技能から思考・判断・表現に至る段階的な学習の道筋が設けられている。	各PROGRAMが知識・技能(Scenes)→思考・判断・表現(Think)→学びに向かう力(Interact)で構成され、「知識・技能」を確実に習得し、その活用への道筋が明確である。学んだ表現方法を使って、自分の言葉で自己表現することができるような工夫がある。技能ごとにアイコンが付けられ、「即興的に話す活動」というアイコンもある。	「学びに向かう力」「他者や文化と関わる力」「考える力」「ことばを使う力」の育成を目指し、4技能5領域のバランスに配慮した言語活動や、身につけた言語材料を活用して言語活動に取り組むための工夫がされている。また、小学校英語との連携、生徒の興味、関心、発達段階に応じた題材が充実している。教科書の使い方、学ぶポイント、プロセス、目標が生徒に分かりやすく提示され学ぶ意欲に喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように工夫されている。	4技能5領域について、Lessonごとに新しい文法を導入した後、「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと(やりとり/発表)」が練習できるように配置されており、基本的な知識・技能を培う段階から実践的な活動まで豊富に盛り込まれている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	基礎・基本となる文の構造や文法を系統的に学んだ上で、それを用いて発展的な言語活動ができるよう構成されている。"Tool Box"で関連の表現を学習することができる。また、「学び方コーナー」(1年 p.9, 28, 65, 85, 2年 p.33, 69, 99, 3年 p.6)が設けられており、学習方法の参考にすることができる。	生徒が主体的に言語活動を行うための場面設定や目的が具体的に示されている。言い換えやつなぎことばなどを紹介する欄が掲載されているなど即興でコミュニケーション出来る能力をはぐくむ場面も取り入れられている。"Our Project"ではマッピング(思いや考えを可視化する書き方)などを用いて思考を整理しながら表現活動が行えるよう工夫されている。	既習の文法事項を活用して、現実の使用場面に近い場面設定で言語活動が行えるよう工夫されている。該当ページや巻末に単語が分類されて掲載されており、言語活動をする上で参考になる。"For Self-study" (1年 p.14, 68, 2年 p.38, 70, 3年 p.34)では、学習者が自主的に学習できる資料等が掲載されている。	単元の導入で言語活動の目標が示され、「何のために学ぶか」がはっきりしている。"Read Aloud"で音読練習ができ、活動のメモやWritingなど直接教科書に書き込むことができる。"Tips"で4技能についての知識を補充でき、スピーチの振り返り(1年 p.45)や参考資料(1年 p.47, 2年 p.88-89, 3年 p.116-117) "How To Study" (1年 p.50, 2年 p.30, 3年 p.68)で学習方法の参考にできる。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	UnitごとにQRコードが配置され、語句や本文、動画もスマートフォンやタブレット等で見るできるようになっている。語彙、本文とも音声と文字の両方が表示され、目と耳で確認できるようになっている。	QRコードが配置されており、語句や本文の発音をスマートフォンやタブレット等で手軽に聞くことができる。	QRコードが配置されており、語句や本文の発音や動画をスマートフォンやタブレット等で手軽に見聞きすることができる。本文テキスト、新出の語句・表現、話すこと(やりとり/発表)の活動のモデル英文などの音声を聞くことができる。QRコード横には、text, wordsなどの表記があり、音声データの内容を確認しやすくなっている。	Lessonごとの音声が表示され、学習意欲を喚起することができる。"Activity Plus"に、赤シートで単語や文を隠しながら練習できるページがある。QRコードが配置されており、発音をスマートフォンやタブレット等で手軽に聞くことができる。
ウ. 学習を見通したり振り返りやすくなるための工夫	単元ごとに、「題材」と「活動」に分けて振り返りをチェックする項目が掲載されている。小学校での既習単語が各パート、巻末で別掲されている。巻末口絵にCan-Doリストが掲載され、イラストを参考に到達度を確認できるようになっている。	各PROGRAMにどのようなゴールを目指しているかがわかるようになっている。学習目標がはっきり提示されており、生徒が身につけたことの軌跡が分かるように、3年間を見通した巻末の"できるようになったリスト(Can-Doリスト)"で自己評価をし、練習に生かせる工夫がある。	Lesson冒頭に"Get"で習得すべき言語材料、"Use Read"の読み取りポイント、"Use Write"や"Use Speak"におけるコミュニケーションや自己表現の目標が提示されている。巻末のCan-Doリストで1年間の振り返りができるようになっており、身につけた力で、何を表現できるかを確認でき、次に生かせる工夫がある。また"Audio Scripts" (1年 付録p.35-36, 2年 付録p.49-50, 3年 付録p.53-54)では、リスニングで聞き取れなかったところを文字で確認することができる。	単元の終わりに、サマリー(まとめ)として本文内容を穴埋めして理解を確かめる"Review"が用意されている。各単元ごとの振り返りに加え、各学年の終わりにできるようになったことを確認するための"Can-Do自己チェックリスト"が設けられ、2, 3年への見直しを持つことができる。1年生のLesson 1~3は"Activity"を中心に構成され、"Chat"では漫画様式で対話文に慣れる工夫がある。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体系的な活動を取り入れるための工夫	"Unit Activity"を使って意見交流ができる。ディベートやプレゼンテーション等、パフォーマンス課題につながる工夫がされている。インタビュー結果をポスターセッションで発表する方法、発表に対するフィードバックの仕方も掲載されている。(2年 p.96-98)	"Interact"で交流活動ができる。"Power-Up"には、ペアでロールプレイをしたり、互いに書いた文を読んで感想を述べ合ったりするタスクが組まれている。「伝え合う能力」「話し合える能力」「発表・討論・交渉などを行う能力」を段階的に身に付けられる活動を多く設定している。	即興でのやりとりを練習するための"Role-Play Sheet" (1年 付録 p.33-34, 2年 付録p.47-48, 3年 付録p.51-52)により、インフォメーションギャップ(異なる情報の差異を埋める)を使ってペアで活動することができる。また、ペアやグループで交流する教材も多く取り入れられている。	"Think & Try!"では、会話の最後に自由にやりとりを加える指示があり、即興性を身に付けるための流れが組み込まれている。カードを使った自己紹介活動やペアでの応答や即興的なやりとりができるよう"Activities Plus"で既習の文法や表現を使った質問や応答例が掲載されている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	資料の読み取りの力を育成するため、図や表などの情報を参考に、異なる情報を統合させて文を読み取る教材を使用している。自分の町について調べたことをまとめ、紹介マップを作り、情報カードにまとめ、発表するという4技能5領域を統合的に活用するタスクが組み込まれている。(2年 Stage Activity 3, p.118-119)	各PROGRAMの題材が、現代社会における課題として取り上げられている。聞いたことのあることとしてマッピング(思いや考えを可視化する書き方)をしたり、そのメモに基づいてインタビューをしたりするタスクが組まれている(2年 p.16)。Story Retelling (本文内容を、写真や絵を参考にトピックごとにキーワードでまとめ、説明する)を行うためのメモを取るタスクが各PROGRAMに導入されている。	Reading, Writingとともに身近な話題についてメモにまとめたり、サマリー(まとめ)をしたりするチャートが付けられており、思考を整理しやすくなっている。"Read"ではStageを分け、図や表を活用しながら段階的に読み取れるよう工夫している。	LessonのPartごとに本文の内容を受けた発展的な発問があり、生徒の考えを深めようとする工夫がされている。また、ディベートや発表などの教材も多く組み込まれている。"Project"ではグループで協働しながら課題を達成していく活動が組み込まれている。
③他教科との連携の工夫	コラムなどの随所に"他教科との連携マーク"と具体的な教科名が示されている。食文化、職業体験、日本の習慣やマナー、世界遺産がトピックとして取り上げられ、他教科の学習事項が生きるようになっている。	"Reading"では、各PROGRAMの題材が他教科とリンクしており、道徳で行うような小発問(例:「杉原千畝はなぜユダヤ人を助けようと思ったのでしょうか」と日本語での問いが付けられている。2年 p. 121)が多く盛り込まれ、場面を想像し、思考を深められるようになっている。環境問題、平和、人権問題、共生など現代の課題を扱っている。	文学作品、自然科学、環境問題、人権問題や科学技術、日本の文化などが盛り込まれており、英語を通して知識や関心を高める工夫がされている。	環境問題や人権問題など、歴史や生物、現代社会など幅広い分野の題材を扱っており、英語を通して知識を深め、考えるきっかけを作る工夫がされている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	A4サイズの紙面で、メモ、グラフ、表が多く用いられており、視覚的にわかりやすくなっている。また、そこから情報を読み取るタスクも組み込まれている。(3年 p.33,81)イラストや写真が多く掲載され、背景知識を付けやすい工夫がされている。	ユニバーサルデザインに配慮されており、全体的に見やすい。付録に"アクションカード"が付き、即興のやりとりに使えるように工夫されている。	メモ、グラフ、表が多く用いられており、視覚的にわかりやすくなっている。また、"Reading for Information" (1年 p. 65, 109, 2年 p.37, 65, 87, 104, 3年 p.31, 68, 83)には、情報を読み取るタスクも組み込まれている。識別しにくい配色を避け、形や記号、番号、説明文をつけたり、色の濃淡をつけたりするなどわかりやすさ工夫がされている。記号や番号も大きくて見やすい。写真や挿絵も十分に大きくて鮮明である。	ユニバーサルデザインに配慮されている。巻末に切り離せるカードが付属されており、即興の会話に使える工夫がされている。挿絵はさまざまなタッチのものが使われており、視覚的な興味を引くようになっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	文字の大きさや行間のスペースなど見やすく工夫されている。1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。手書きの文字を想定した部分には小学校と同じ書体を使用している。"New Words"は背景に色をつけて明確にされている。	文字を極力大きくし、手書き文字に近いフォントを2種類使用しており、学びやすいよう工夫されている。1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。1年生PROGRAM 1~3までは、会話文の登場人物は絵で表記されている。	1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。文法説明ではイラストが効果的に用いられており、語が持つイメージを捉えやすくなっている。文字の大きさ、フォントが工夫されており、実社会で英語を読む際に役立つ。	1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。ユニバーサルデザインフォントを使用している。ページによって字体や字の大きさが変わっている。"Word List"も十分に行間があるので、見やすい。全ての生徒にとって学びやすい紙面作りになっている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	各学年8つのStageで構成されており、各StageのUnit数は軽重をつけてバランスよく配置されている。	各学年8つのProgramで教材を構成し、身近な場面から社会的な場面へと自己表現の幅が広がる配列になっている。	各Lessonが3つのPartで構成されており、使用頻度の高い文法事項から取り扱う配列になっている。	各LessonがPart1~3で構成されており、(1年生のLesson1~3を除く)、4技能5領域をバランスよく取り扱える配列になっている。
⑦判・ページ数	A4版 1年170、2年159、3年155	AB版 1年178、2年174、3年166	AB版 1年174、2年169、3年176	AB版 1年170、2年173、3年178

発行者・教科書名	光村図書 38	啓林館 61
観点	Here We Go! ENGLISH COURSE	BLUE SKY English Course
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	日常生活に即した主教材をもとに帯教材と小教材の活用で総合的に力を身につけられる編集がされている。Unitが導入、展開、総合的な力を運用させる言語活動で構成されており、「目標の確認」から「振り返り」までのサイクルをきちんと作ることで主体的・対話的で深い学びが可能になる工夫がされている。	Unitの扉で学習する内容のイメージを膨らませ、「Get Ready (Read)」で新文法を学び、「Get Ready (Listen)」で使い方を確認し、「Read & Think」、「Express Yourself」で自己表現ができる流れになっている。「USE」では、ペアで考えを伝え合ったり、理由や情報を考えながら表現したりするタスクが組まれている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	文法事項は、Unitごとに文法用語も用いて、詳しくまとめられている。巻末に「Let's Talk」の小冊子が付いており、帯教材として使用することで即興でやりとりする力を高めることができる。また、各学年の「学び方ガイド」(1年 p.26-27, 2年 p.6-7, 3年 p.6-7)を元に学習を進めることができる。	「More Information」では補助資料として国の情報や、災害グッズの作り方や、動物の生態、スポーツのルール等、学習者の興味を引き、理解を深めることがら掲載され、自主学習につなげやすい。「Target」としてキーになる表現を明示し、見通しを立て振り返りやすいように工夫されている。また、例を提示することで、生徒自身が具体的に学習できる工夫もある。
イ. ICTを活用した学習活動の工夫	QRコードが配置されており、語句や本文の発音や動画をスマートフォンやタブレット等で手軽に見聞きすることができる。映像や教科書の内容に関する知識を広げるためのリンク集が掲載されている。	QRコードが配置されており、語句や本文の発音をスマートフォンやタブレット等で手軽に聞くことができる。語句も1つずつ、連続再生など選ぶことができ、文字のサイズ設定、マスキング機能設定も自由にできるようになっている。
ウ. 学習を見通したり振り返りたりするための工夫	学習の流れや目標について、学年ごとのみならず、学期ごとに学習すべきことも記載されており、目標が明確に記されている。「Play Back Story」(2年 p. 8, 3年 p.8)では前年度に学習したことが復習出来るよう工夫されている。また、各Unitの扉やページの上には、「Goal」として学習の目標が表示されている。Unitの終わりには2ページにかけて図や絵を入れた文法のまとめがある。	UnitとPartの最初に学習到達目標が明示され、生徒自身が何が出来るようになるかを意識しながら、自律的に学習が進められる。Unitの終わりにはTargetのまとめがあり、文法を振り返ることができる。巻末には1年間の学習を見通したCan-Doリストがある。
エ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	Unitの「Goal」や「You Can Do It!」ではグループ内でやり取りをする、協力しながら発表をする、即興で会話をする活動が用意されている。話し合いができる活動もあり、多様な意見を交換できる工夫がある。	発表するだけでなく、聞き手からの質問に答えるタスクが組まれており、高等学校への接続意識が見て取れる。国際理解、順序よく論理的に考える読み物など生徒同士が助言しあったり、議論を通して考えを深め、まとめたりする活動が設けられている。(1年 p.74-79, 120-121)
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	Story Retelling (本文内容を、写真や絵を参考にしてトピックごとにキーワードでまとめ、説明する)として本文の内容を簡潔にまとめて相手に伝えるために、教科書の挿絵だけを掲載しているページがある。また、場面設定や目的を明瞭にして自ら考えをまとめ、言語活動をする課題が多く設定されている。	データを図、グラフ、表にまとめるUnitがあり、それらを見ながら話をする場面が設定されている。(2年 Unit 7)インタビューや調べ学習の結果の発表、ディスカッションが教材に取り入れられている。また、現代社会の問題や様々な文化の違いなど、トピックに関連した情報を掲載することで、考えを深めることができる。
③他教科との連携の工夫	実生活で目にする機会が多いマニュアルやパンフレット等の読み取りが多く掲載されている。国際貢献、環境問題、伝統文化、歴史など幅広い分野の題材が取り上げられ、学習者の興味を引き出すような内容となっている。	登場する国や地域が幅広く、各国の文化や伝統を学ぶことができる構成になっている。2年 Unit 7では、国別の面積、訪問先、平均寿命のランキングが取り上げられており、他教科との連携も意識されている。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	マニュアルを読む(2年 p. 66)、写真と正しい英文(2年 p. 90-91)を結びつける、フローチャートに沿って考えをまとめる(3年 p.117)等、長文読解に対応できる教材が多く盛り込まれている。写真、絵、図が多く用いられ、全ページにわたってすべての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った色遣いやデザインである。また、文字の大きさも、教材の内容に十分配慮されている。	豊富な写真や挿絵があり、デザインもシンプルであり、温かみのある優しい色使いを用いて必要な情報が伝わる工夫がされている。拡大教科書も用意されている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字体、文字の大きさなど)	1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。日本語表記においては、視認しやすいユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の大きさも支援が必要な生徒に配慮されている。早期のUnitの会話文は吹き出しを活用してわかりやすくしている。	1年初期では、4線の幅が小文字が書きやすいようになっている。誰もが識別しやすいユニバーサルデザインフォントを使用し、支援が必要な生徒にも配慮がされている。「Word List」の品詞が白抜き文字でわかりやすい。背景が白いので、新出単語などが目に入りやすい。行間にゆとりを持たせており、文章が読みやすい。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	各学年8つのUnitで教材を構成し、まとまりごとの題材数は軽重をつけバランスよく配列されている。	各Unitのページ数は学年ごとに統一されており、教材がコンパクトにまとめられている。
⑦判・ページ数	AB版 1年186、2年183、3年183	AB版 1年155、2年163、3年146

10 「付加」教材	東京書籍 2	教育出版 17	光村図書 38	日本文教出版 116
発行者・教科書名	新訂 新しい道徳	中学道徳 とびだそう未来へ	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
観点				
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	道徳的な価値についての理解を基に、多面的・多角的に考えることを通じて、「生きて働く道徳性」を育めるように、人間としての生き方を深く考えること、さまざまな出来事に触れて新しい世界を知ること、体系的な構成であることから、人間としての生き方についての考えを深める学習が展開できるように編纂されている。評価の手立てになるものとして、「自分の学びをふりかえろう」という学期ごとに提出できる自己評価用紙や、葛藤教材に活用できる心情円がある。	道徳的価値に関わるさまざまなことがらを、自分の生き方に引きつけて考え、議論していくことを通じて、自分自身を深く理解し、人間としてのよりよい生き方(自らの変化や成長を実感しながら学びをつなげる)を模索し続けていく態度を養い、身につけることができるように編纂されている。評価の手立てになるものとして、自分の学びや成長を振り返り、次へとつなげていく、切り離し提出可能な「道徳の学びを振り返ろう」が使用できる。	生徒一人ひとりが自信を持って生きていくために、自分のよさや可能性を認め、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながらさまざまな社会の変化に対応し、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように、効果的な配列し、何について考えるのかを明示し、自分の学びを意味づける力を身につけることを方針として編纂されている。評価の手立てになるものとして、「学びの記録」というページが設けられており、学期ごとに、学びの変容や成長を振り返ることができ、長期的に生徒を見取っていく材料とすることができる。	学びを一つずつ積み上げながら、一人ひとりがよりよく生きる喜びと誇りをもって、他者と共に社会を創造していくために、主体的な学び、躍動感のある授業、社会を創造する道徳教育という基本方針をもとに編纂されている。評価の手立てになるものとして、1教材1ページで構成される別冊「道徳ノート」に自分の考えなどを書くことで、自己評価を計画的・発展的に進めることができるようにし、自らの成長を実感できるようにしている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	巻頭に「話し合いの手引き」を載せ、司会カードや実際に道徳の時間をどのように過ごすかの練習ができる教材をのせている。その中で役割演技も取り入れている。教材の中に問いが組み込まれており、自分の考えや交流した友人の意見をメモするワークシート形式になっている。「ACTION」では物語を読み終えた後に考え、議論する問いもある。教材の中には絵や写真のみで、それぞれの意見をもちやすく表現しやすい工夫がされている教材(1年P22)もある。1年間の中でも多くの言語活動をパターンを変えて行うことができる工夫がされている。	巻頭の「道徳科で学びを深めるために」の中で、「考え、話し合う」ことについて記載している。教材の最後には「学びの道しるべ」として3つの問いがある。それぞれ、内容に即した問い、自分自身を振り返る問い、テーマに即した問いで話し合うきっかけになりやすい。また、各学年1～2カ所(1・2年生2カ所、3年生1カ所)「やってみよう」(1年P29)として、教材の内容を違う角度から役割演技や話し合いを促進させる場面を設定している。	巻頭の「道徳の授業を始めよう!」では対話について説明し、話し合うことの大切さが示されている。「深めタイム」はワークシート形式になっており、自分の意見や他者の意見をもとに考えやすい工夫がされている。また、各学年でヨシタケシンスケさんの漫画(1年P80)を用いて、内容項目に近いテーマを議論する教材がある。自分の考えを持ちやすいが、多様に分かれる可能性が高いものをテーマに用いている。また、内容も身近な問題や時事問題を多く含んでいるため、話し合いやすい教材が多い。	問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材には、「学習の進め方」を設け、役割演技や話し合いを行う問いを用意し、授業の展開を助けている。別冊「道徳ノート」では自分の考えを書く場所や友達の見解を書く場所が作られているため、併用すると言語活動をより行うことができる。
イ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	各教材の最後には、教材に即した問いと自己を振り返るための問いが書かれており、教材を自分事として捉えられる工夫がされている。メモ欄があり、思いや気持ちを書き留めておける。巻末には自己評価用紙が付き、学期ごとの道徳の授業での学びを振り返ることができる。また、ホワイトボード用紙や心情円が付録として付いており、登場人物の気持ちや自分の気持ち、意見などを表現したり交流できるようになっている。	各教材のタイトルの下に、その教材では何を考えたり感じたりすればよいテーマが書かれており、見通しを持って学習ができる。また教材の最後には3つの問いが書かれており、振り返りもしやすい。巻末には、学期ごとや年間の道徳の振り返りができるワークシートがあり、自分の成長や変化に気付けるように工夫されている。	タイトルの上に、道徳の内容項目が書かれており、何のテーマについて考えていくか見通しを持ちやすい。各教材の最後には、問いや話し合いの指示などが書かれており、振り返りがしやすい。また、「見方を変えて」という内容の問いもあり、多面的・多角的に考えやすい工夫がされている。巻末には、1年間で学んできたことを振り返るワークシートがあり、自分の学びの意味や価値を自己評価できるように工夫されている。	タイトルの上に、道徳の内容項目が書かれており、何のテーマについて考えていくか見通しを持ちやすい。またタイトルの下には、主な登場人物が挿絵付きで描かれており、教材の内容の理解を助けてくれる。教材の最後には、問いとして、教材に即したものと自分を振り返るものがそれぞれ書かれており、学びを深める工夫がなされている。別冊「道徳ノート」が付き、各時間の学びの記録、学期ごとの振り返りができるようになっている。
ウ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	巻頭に話し合いの手引きを折り込みページ(全学年P3)に掲載しており、どの教材でも手引きを見ながら学習を進められる。また、役割演技が各学年巻頭と教材後の「ACTION」2カ所(1年P38、P104)の計3カ所、話し合いによって進める教材が各学年1～2カ所(1年P86)ある。巻末に心情円やホワイトボードがあり、自分の意見を視覚的に他者に伝えることができる。	巻頭に道徳科での学びを深めるための手引きを掲載し、友達の考えを聞くことや話し合うことの大切さを示している。また、教材ごとに「学びの道しるべ」のコーナーがあり、話し合ったり様々な立場から考えたりできる問いを設定している。さらに各学年の教材1～2カ所に「やってみよう」を設定し、教材を学んだ後に役割演技を通して、体験的な学習ができる。(1年P29、81)	全学年P8～9の「どうやって学ぶの?」(全学年)、「なぜ学ぶの?」(2・3年)、「なぜいっしょに学ぶの?」(3年)で学び方を紹介し、他者との対話を促している。教材後の「考えよう」コーナーやコラム「広げよう」「深めたいむ」で役割演技(1年P28、68)や話し合い(P34、78)を設定している。また、話し合いをメインにした教材(1年P50)がある。	巻頭に道徳科での学び方、学びをより深めるための手立てを紹介している。話し合う活動が4～5カ所(1年P64、102)、役割演技が2カ所(1年P26、40)あり、写真や手順をのせて学習の進め方を具体的に提示している。各教材の最後は、みんなで考えたり議論したりしたい内容についての問いがあり、別冊「道徳ノート」に友達の意見や話し合いをメモする欄を設けている。
エ. 個々の考えを深めるための工夫	学習内容に即した問いと、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問いの2つが示されている。最初にマンガの台詞を入れて教材学びのきっかけとするものもある。終わりに「つぶやき」という欄でその時の自分の考えを記録することができる。また、学習内容を広げるためのコラムが適宜配置されている。	学習内容に即した問いと、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問い、合わせて3つの問いが設定されている。教材の最初に主題にせまるきっかけとなる問いが設定されている。	道徳の観点によるめあてを提示し、学習内容に即した問いが2つ、見方を変えた問いが1つ、実生活につなげる問いが1～2の構成となっている。これから直面する課題についてのコラムが掲載されている。	学習内容に即した問いと、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問いがそれぞれ1つずつ設定されている。別冊ワークシートには、それぞれの問いに対する解答欄があり、ワークシートとして活用できる。教材の最初に中心となる登場人物が挙げられている。学習内容を広げるためのコラムが配置されている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「ACTION」が設定されており、役割演技や体験的な学習、ディスカッションができるようになっている。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりを考える教材として扱われ、あやまちや失敗に気づいたときどう行動するかが問われている。「二通の手紙」は集団や社会との関わりを考える教材として扱われ、規則やきまりの大切さについての問いがある。	「やってみよう」では、役割演技を取り入れたり、日々の体験を想起して話し合ったりすることができる。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりを考える教材として扱われ、人が人を思う気持ちについての話し合いが設定されている。「二通の手紙」も人との関わりに関する教材として扱われ、きまりや法が何のためにあるのかの問いがある。	中心的な問いと、多面的、多角的な視点からの問いが設定されている。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりを考える教材として扱われ、自分の弱さとの向き合い方についての問いがある。「二通の手紙」は集団や社会との関わりに関する教材として扱われ、主人公の行動や考えについて役割演技を通して考える場が設定されている。	教材から考えてみる項目として、その内容をさらに発展させ、自分のこととして捉えるための「考えてみよう」と「自分に+1」という問いがある。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりを考える教材として扱われ、自分の生き方の今後生かしていきたいことを考える問いがある。「二通の手紙」は集団や社会との関わりに関する教材として扱われ、法やきまりについてどのように考えるのかの問いがある。
③他教科との連携の工夫	教材ごとに関連の教科が記載されている。裏表紙にデジタルコンテンツの一覧があり、その中に関連する教科を記載されているものがある。	関連性のある教材が掲載されている。「まなびリンク」によって学習を深めることができる。	巻末の一覧表に他教科との関わりを掲載している。また教材ごとの最後に「つなげよう」という項目で他教科との関連が示されていることがある。	巻末の内容項目別教材一覧に他教科との関わりを掲載している。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ(大きさ、カラーユニバーサルデザインなど)	話の内容をイメージさせやすいような写真や挿絵が掲載されている。また淡い配色や優しいタッチの挿絵が多い。デジタルコンテンツが用意されている。また、特別支援教育、色覚特性の観点から配色、デザインに配慮している。	教材やシーンによって挿絵や写真の大きさを変えて、登場人物の表情から心情をイメージしやすくするなど、効果的に掲載している。カラーユニバーサルデザインに対応している。教科書の用紙が明るい白色である。	ユニバーサルデザインの観点に立った編集とデザインになっている。人物を取り上げた教材では、写真を冒頭に配置することが多くイメージがしやすい。大ききや色彩に工夫した多くの絵や写真を用いている。優しいタッチや独特のタッチの挿絵が多い。教科書の用紙が黄色がかり、本文の背景が色つきの教材もある。	挿絵や写真を多く掲載している。罫線や罫目の使い方、配色などレイアウトが工夫がある。カラーバリエーションを含めたユニバーサルデザイン。タイトルの下には、挿絵付きで主な登場人物が紹介されている。教科書の用紙が明るい白色である。写真と本文が重なっている教材がある。すべての教材が見開きで始まっている。
⑤表記・表現のわかりやすさ(字體、文字の大きさなど)	ユニバーサルデザインフォントが使われている。語句の説明が文章の下部に表記されている。本文との間に線がひかれているので中学生に合った文字の大きさで表記されている。タイトルに色がない。注釈付きの言葉には番号が付けられており、注釈が多くなったときにも、番号を見ることで探しやすい。また注釈の箇所と本文の間は線で区切られている。	ユニバーサルデザインフォントが使用されている。本文の下部に5行ごとに行数が、その他には点が書かれており、教師と生徒、生徒同士で同じ箇所を共有しやすい。長い文章は二段構成になり、3ページ以内でおさまっている。タイトル下部に考える視点が書かれている。注釈付きの言葉には番号が付けられており、注釈が多くなったときにも、番号を見ることで探しやすくなっている。	ユニバーサルデザインフォントを用いている。教材の間にある「広げよう」は見開きで横書きのため、左から右に、ページを見る必要が出てくる。他のページは全て右から左で見ているため、「広げよう」だけで学ぶが、事前に声掛けが必要になる。注釈はページ下部か、ページ最後尾にまとめて書かれている。	ユニバーサルデザインフォントを用いている。中学校で習う漢字には全てに振り仮名がつけられている。また、振り仮名は初出だけではなく、何度出てきてもついている。行間が物語と詩では変えられている。タイトル上部に評価項目が書かれている。内容に応じて文字の大きさを変えている。
⑥単元(教材の配列)の適切さ(関連付け、時期など)	1つの内容項目を3学年で系統的に配置し、学年を迫って深く考えられるようにしている。いじめ問題や生命尊重について、多様な教材から深められるように、連続して学ぶような設定である。小学校で学習した教材で、再び学ぶことで、自分の変化や成長に気づく教材(1年P180)等、各学年に応じた教材が配列されている。	様々な学校行事や体験活動等との連携がはかりやすいような教材の配列となっている。「生命の輝き」や「いじめや差別のない社会」について、深く考えることができるように、多様な教材がユニット化された配列となっている。	1年間の道徳の学びの流れが生徒の成長を考慮し、3つの学習のまとまり「シーズン」に分けられている。小学校で学習した教材で、再び学ぶことで、自分の変化や成長に気づく教材(1年P174、2年P178、3年P175)も掲載されている。	系統性や小・中・高連携を考慮して、各学年で大きなテーマが設定されている。「『いじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」という重要なテーマについては、複数の教材から深められるように、連続して学ぶように設定している。学校生活を踏まえた教材配列となっている。
⑦判・ページ数	AB版 1年196 2年204 3年204	B5版 1年218 2年202 3年202	B5版 1年192 2年200 3年198	B5版 1年198別冊42 2年198別冊42 3年198別冊42
⑧現代的な課題への対応	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられている(例:1年P22)。SNSやスマートフォンの使い方等、情報モラルを考える教材が掲載されている。また障害のある人や支援を要する生徒への理解をテーマにした教材も掲載されている(例:2年P34)。	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられている(例:1年P46)。食品ロス(2年P22)や裁判員制度(3年P92)等の教材から、社会参画について考えることができる教材が掲載されている。また各学年においては、生命尊重(例:2年P36)やいのちの輝き(例:3年P146)について考えることができる教材も掲載されている。	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられている(例:1年P30)。また、ピアアシスタント(1年P145)やアソシエーション・マネジメント(2年P26)のような、ソーシャルスキル、コミュニケーションスキルに関する内容も取り上げられている。社会参画について考えるために、選挙権を教材として掲載している(3年P72)。男女共生をテーマとしている教材もある。(1年P128)	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられており、情報モラルと絡めスマートフォンを持っていないことによる生じたいじめについても取り扱われている(2年P30)。自転車マナー(1年P66)や鳥取砂丘の落書き(2年P60)等、法やきまりについて学ぶ教材も掲載されている。ジェンダーをテーマにした教材もある(3年P101)。

発行者・教科書名	学研教育みらい 224	廣済堂あかつき 232	日本教科書 233
観点	新・中学生の道徳 明日への扉	中学生の道徳 自分を見つめる中学生の道徳ノート 自分を見つめる 中学生の道徳 自分を考える中学生の道徳ノート 自分を考える 中学生の道徳 自分をのぼす中学生の道徳ノート 自分をのぼす	「道徳 中学 生き方から学ぶ」 「道徳 中学 生き方を見つめる」 「道徳 中学 生き方を創造する」
①教科目標から見た編集の適切さ・資質・能力の3つの柱の育成に向けた工夫	自ら学び、自ら考え、よりよく生きる力を育むために、「プラス思考」と「未来志向」を備えた子供の育成を目指して、子供たちの自ら伸びゆく力を支えるため、主体的・対話的で深い学び、多面的・多角的に考える、発達の見通しをふまえた構成・配列をした、読みたくなる・考えたくなる・話し合いたくなる、ということを目指して編集されている。 評価の手立てになるものとして、巻頭に自分を見つめるページ、巻末に心の成長を振り返るページ、各学期の振り返りができる「学びの記録」が配られ、1年間の成長を感じて、これからの生き方を考えることができるようになっている。	「ともに考え、話し合う」（教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して、多面的・多角的な思考を促し、人間としての生き方についての考えを深める）と「自分を見つめ、考え、のぼす」（書くことを通して自問と内容へと向き、道徳的思考を一層深め道徳的価値の理解を確かなものにする）という2つの観点から、豊かな自己の形成をめざして編修されている。 評価の手立てや自己の成長の記録となる別冊「道徳ノート」には、35時間の学びを記入し、振り返ることができる『学習の記録』、自分を見つめ、考え、のぼすための『心のしおり』が設定されている。	心の成長を目指して、学校で、地域・社会で、家庭でのさまざまな出来事に興味・関心を持ち、問題意識を持つことができ、自分の考えを持って積極的に発言することができ、他人の意見をしっかりと受け止め尊重することができるという基本方針で編修されている。 評価の手立てになるものとして、1年間、自分が育んできたものを確認し、これからの目標を立てることができるページが設定されている。
ア. 言語活動を充実するための工夫	1年生では教材の中に役割演技ができる物語（P28）や3年生では意見が分かれる物語（P56）など、教師が問いを通じて、意図して言語活動を設定しなくても、教材を通じて、自然と言語活動の充実を図ることができる内容が組み込まれている。また、「深めよう」では教材に合った役割演技（1年P37）や話し合い（1年P15）が設定されている教材もある。	巻頭に「ともに考え、話し合う」意味を載せ、どの教材にも最後に「考える・話し合う」枠を設け、人間としての生き方についての考えを深める学習となるよう構成されている。また、各学年に1つは生徒作文や複数の立場から述べた文章（1年P106）を載せている。それによって多面的・多角的に意見をもつことや、自分がどの意見なのか交流しやすい工夫がされている。	全ての教材の最後に「考え、話し合ってみよう」と問いが1～3準備されている。 1年生では絵を見て、作品について考え、議論する教材（P130）が、2年生・3年生では日常や今後出会う可能性の高い場面、例えば座席を譲る（3年P74）、礼儀について（3年P66）、点字ブロック（2年P96）などを題材においた教材があり、テーマと共に自分を表現することへの成長段階をふまえた工夫がされている。
イ. 学習を見通したり振り返ったりするための工夫	教材の前であえて主題名を示さないことで、特定の価値観を押しつけない、生徒自らの気づきや考えを促している。タイトルの下にキープフレーズを掲載することで、生徒の興味を引きつけたり、教材の内容への想像を膨らませることができる。また思いや気付きをメモできるように、メモ欄が設けられている。話し合いのできる教材では、話し合いの流れ（1年P27）も掲載されている。巻末には学期ごとの振り返りができるワークシートが付いている。	教材の前であえて主題名を示していない。各教材の最後に、学習の手がかりとして、内容の詳細と焦点を当てて考えたい事柄が記載されている。また問いも3～4準備されており、思考を広め、深める工夫がされており、振り返りがしやすい。別冊「道徳ノート」が付いており、各時間の振り返りを記入できる。	各教材の最後には、問いが2～3程度書かれており、振り返りがしやすい。巻末には自己評価のページがあり、道徳の内容項目に関わる「中学生で身につけたい22の心」を4段階で自己評価したり、1年間の道徳の授業の振り返りができるようになっている。
ウ. 積極的に他者と関わる力をつけるための工夫や体験的な活動を取り入れるための工夫	巻頭に考えを深める4つのステップを掲載している。教材後に「深めよう」や「クローズアッププラス」というページが各学年11～112カ所あり、その中で話し合い（1年P15）や役割演技（1年P37）による学習を促している。自分の意見を周りに伝えられるような工夫がされている。	巻頭に道徳の学び方を掲載し、話し合うことを推奨している。また、教材ごとに「考える・話し合う」のコーナーがあり、対話による問題解決的な学習や体験的な学習を促す問いが設定されている。	巻頭に道徳科の学び方や多様な考えを知るための手引きがあり、話し合うことを推奨している。教材後の「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」のコーナーで、話し合う問いを設けている。各学年1～2カ所、イラスト（1年P70）や事例（2年P96）、新聞記事（3年P88）を用いて討論する教材がある。
エ. 個々の考えを深めるための工夫	学習内容に即した問いと、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問いがそれぞれ1つずつ設定されている。最初に今日の学習について投げかける問いがあり、途中にメモ欄が設けられている。学習を深めるための関連情報や、学びを深めるための提案が多く掲載されている。	学習内容に即した問いが2～3と、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問いが1つ設定されている。偉人のことばが各教材の最後に添えられている。「学習の手がかり」として考えるテーマを明確にしている。	学習内容に即した問いが1～3と、実生活に置き換えて自分自身を見つめ直す問いが1つ設定されている。学習内容を深めるためのコラムや参考資料が適宜配置されている。
オ. 問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫	「考えよう」という2つの問いや、「深めよう」や「クローズアップ」というページが設定され、学びの提案や関連情報からの学びが提示されている。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりに関することを考える教材として扱われ、「私」の行動や思いや、お婆さんが「私」にくれた心について考える問いがある。「二通の手紙」は集団や社会との関わりに関することを考える教材として扱われ、教材を通して、自分に生かせることを見いだす問いがある。	自己との関わりで考える問い、問題解決的な学習を促す問い、体験的な学習を促す問いが考えられている。「足袋の季節」は生命や自然、崇高なものとの関わりに関することを考える教材として扱われ、自分に恥じず、誇りのある生き方について考える問いがある。「元さんと二通の手紙」は集団や社会との関わりに関することを考える教材として扱われ、規則に問題があったのか、元さんの思いやりに問題があったのか2つの観点で考える問いがある。	教材をもとに個人で考える問いや、話し合いや討議を促す内容が用意されている。「足袋の季節」は自然や崇高なものとの関わりに関することを考える教材として扱われ、お婆さんが「私」にくれた心について考える問いがある。「二通の手紙」は集団や社会との関わりに関することを考える教材として扱われ、人物の行動や思いについて考える問いがある。
③他教科との連携の工夫	関連性のある教科が掲載されている。	巻末の内容一覧に他教科との関わりを掲載している。	巻頭に「教科書の使い方」のページで、他教科との連携を示唆している。
④写真・挿絵・記号・図等のわかりやすさ（大きさ、カラーユニバーサルデザインなど）	カラーユニバーサルデザインを採用している。AB判の大きなサイズで視覚的にゆとりとした紙面になっている。すべての教材が見開きで始まり、学習の手助けになるような挿絵、写真を多く掲載している。挿絵、写真ともに鮮明なものが多い。	教材やシーンによって挿絵や写真の大きさを変えて、それぞれ登場人物の表情や情景に注目できるように、効果的に掲載している。また全体的に淡い配色で視覚的な刺激が少ない。カラーユニバーサルデザインに対応している。CUD認証マーク申請中である。	写真は大きく掲載されているものが多く、詳細まで観察しやすい。また挿絵は全体としてカラフルである。
⑤表記・表現のわかりやすさ（字体、文字の大きさなど）	中学生に合った文字の大きさが使われている。語句の説明は本文の下部にあり、本文との間に線がひかれていて、読みやすく、理解しやすい。物語教材のタイトル下部には印象的なセリフが書かれている。注釈付きの言葉には番号が付けられており、注釈が多数になったときにも、番号を見ることで探しやすい。また注釈の箇所と本文の間は線で区別されている。	AB版を用いて、紙面にゆとりをもたせ、読みやすい大きさと文字が表記されている。特に1年生は2・3年生に比べて少し大きく表記されているため、小学校からの系統性も考慮されている。タイトルと本文の間に特別な行間はなく、色も変えていない。	教材の左上部に教材の名前が書かれているため、探しやすい表記になっている。また、文章下部には語句の説明、行数が書かれている。タイトルの背景色が統一されている。文字の大きさはタイトルや教科書からの問いは大きく、文章は中学生に合った文字の大きさを用いている。
⑥単元（教材の配列）の適切さ（関連付け、時期など）	「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」というテーマで、それぞれの学びを深めるために、2教材を連続して配列している。系統性や発達段階を考慮し、各学年ごとにテーマを設定している。年間では時期を選ばない教材の配列になっている。	「生命尊重」や「いじめ防止・人権尊重」を重点的に扱えるように構成している。別冊「道徳ノート」では、学校生活と振り返りながら考えることができるようになっている。年間では時期を選ばない教材の配列になっている。	発達段階を考慮しつつ、学年間のつながりを重視した教材の配列となっている。例えば、全学年同じ人物が登場し、その成長する姿を通して学習することができる教材がある。（1年P47、2年P48、3年P58）生徒の日常生活における身近な話題が教材として掲載されている。内容項目ごとに分けて、教材が配列されている。
⑦判・ページ数	AB版 1年186 2年198 3年198	AB版 1年186別冊51 2年170別冊51 3年166別冊51	B5版 1年194 2年194 3年194
⑧現代的な課題への対応	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられており、SNSを使ったいじめの教材も掲載されている（1年P24）。スマートフォンの使い方について考えることができる教材も取り上げられている（例：3年P122）。障害のある人に焦点を当てた教材も掲載されている（例：3年P164）。また高齢化社会（2年P124）をテーマにした教材もある。	すべての学年において、いじめについての教材が取り上げられている（例：3年P36）。社会参画の教材として、裁判員制度（3年P142）についての教材が掲載されている。また各学年において、難病（1年P169、2年P）や臓器移植（3年P88）について取り上げられている。	すべての学年において、いじめについての教材が多く取り上げられており、SNSトラブルと絡めた教材も掲載されている（1年P98）。また少年法をきっかけに責任について考えることができる教材（2年P8）が取り上げられている。性同一性障害をテーマとした教材もある（2年P64）。

(2) 令和3年度使用小学校・義務教育学校前期課程使用教科書

	番号	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	略称	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名
国語	38 光村	国語 107	こくご一上 かざぐるま	国語 207	こくご二上 たんぼぼ	国語 307	国語三上 わかば	国語 407	国語四上 かかやき	国語 507	国語五 銀河	国語 607	国語六 創造
		国語 108	こくご一下 ともだち	国語 208	こくご二下 赤とんぼ	国語 308	国語三下 あおぞら	国語 408	国語四下 はばたき				
書写	2 東書	書写 101	あたらしい しよしゃ 一	書写 201	新しい しよしゃ 二	書写 301	新しい書写 三	書写 401	新しい書写 四	書写 501	新しい書写 五	書写 601	新しい書写 六
社会	116 日文					社会 304	小学社会 3年	社会 404	小学社会 4年	社会 504	小学社会 5年	社会 604	小学社会 6年
地図	46 帝国					地図 302	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	(前年度給与したものを使用)		(前年度給与したものを使用)		(前々年度給与したものを使用)	
算数	61 啓林館	算数 108	わくわく さんすう 1	算数 208	わくわく 算数 2上	算数 308	わくわく 算数 3上	算数 408	わくわく 算数 4上	算数 508	わくわく算数 5	算数 608	わくわく算数 6
				算数 209	わくわく 算数 2下	算数 309	わくわく 算数 3下	算数 409	わくわく 算数 4下				
理科	61 啓林館					理科 306	わくわく理科 3	理科 406	わくわく理科 4	理科 506	わくわく理科 5	理科 606	わくわく理科 6
生活	2 東書	生活 101	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上	(前年度給与したものを使用)									
		生活 102	あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下	(前年度給与したものを使用)									
音楽	17 教出	音楽 101	小学音楽 おんがくのおくりもの 1	音楽 201	小学音楽 音楽のおくりもの 2	音楽 301	小学音楽 音楽のおくりもの 3	音楽 401	小学音楽 音楽のおくりもの 4	音楽 501	小学音楽 音楽のおくりもの 5	音楽 601	小学音楽 音楽のおくりもの 6
図画工作	116 日文	図工 103	ずがこうさく 1・2上 たのしいな おもしろいな	(前年度給与したものを使用)		図工 303	図画工作 3・4上 ためしたよ 見つけたよ	(前年度給与したものを使用)		図工 503	図画工作 5・6上 見つけて 広げて	(前年度給与したものを使用)	
		図工 104	ずがこうさく 1・2下 たのしいな おもしろいな	(前年度給与したものを使用)		図工 304	図画工作 3・4下 ためしたよ 見つけたよ	(前年度給与したものを使用)		図工 504	図画工作 5・6下 見つけて 広げて	(前年度給与したものを使用)	
家庭	2 東書									家庭 501	新しい家庭 5・6	(前年度給与したものを使用)	
保健	224 学研					保健 305	みんなのほけん 3・4年	(前年度給与したものを使用)		保健 505	みんなの保健 5・6年	(前年度給与したものを使用)	
英語	15 三省堂									英語 505	CROWN Jr. 5	英語 605	CROWN Jr. 6
特別の教科 道徳	38 光村	道徳 105	きみが どうとく 1 ひかるとき	道徳 205	きみが どうとく 2 ひかるとき	道徳 305	きみが どうとく 3 ひかるとき	道徳 405	きみが どうとく 4 ひかるとき	道徳 505	きみが どうとく 5 ひかるとき	道徳 605	きみが どうとく 6 ひかるとき

令和3年度西宮市立小学校・義務教育学校前期課程使用教科書（特別支援学級〔知的障害者用〕）

種目	番号	第1学年～第6学年											
	略称	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名
国語	2 東書	国語C-121	こくご ☆	国語C-122	こくご ☆☆	国語C-123	こくご ☆☆☆						
算数	17 教出	算数C-121	さんすう ☆	算数C-122	さんすう ☆☆(1)	算数C-123	さんすう ☆☆(2)	算数C-124	さんすう ☆☆☆				
音楽	2 東書	音楽C-121	おんがく ☆	音楽C-122	おんがく ☆☆	音楽C-123	おんがく ☆☆☆						

令和3年度西宮市立小学校・義務教育学校前期課程使用教科書（特別支援学級〔聴覚障害者用〕）

種目	番号	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	略称	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名	記号 番号	教科書名
言語指導	17 教出	国語 B-121	こくご ことばのべんきょう 一ねん	国語 B-221	こくご ことばのべんきょう 二ねん	国語 B-321	こくご ことばのべんきょう 三ねん	国語 B-421	国語 ことばのれんしゅう 四年	国語 B-521	国語 ことばの練習 五年	国語 B-621	国語 ことばの練習 六年

	発行者		図 書		教 科 等													学 年				障 害 種 別			
	発行者 コード	発行者略称	図書 コード	図 書 名	生活	国語	社会	算数	理科	音楽	図画	技術	体育	道徳	外国語	小低	小中	小高	中7年	視覚	聴覚	知的	肢病		
1	01-1	あかね書房	E01	けんちゃんとおそぼう1 のってのって	◎	○										◎	◎					◎	◎		
2	01-1	あかね書房	001	単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	◎											◎					◎	◎			
3	01-1	あかね書房	H02	かぼくん・くらしのえほん2 かぼくんのおか いもの	◎	○	◎							◎		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		
4	01-1	あかね書房	G04	からだのえほん4 からだにもしもし	◎									◎		◎					◎	○	◎		
5	02-1	岩崎書店	F08	絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	◎									◎		◎	◎					◎			
6	06-1	借成社	R01	あかちゃんのあそびえほん(1) ごあいさつ あそび	◎									◎		◎						◎			
7	06-1	借成社	R04	あかちゃんのあそびえほん(4) ひとりであ んちできるかな	◎											◎						◎			
8	06-1	借成社	R06	あかちゃんのあそびえほん(6) いいおへ んじできるかな	◎									◎		◎						◎			
9	06-1	借成社	T01	エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし	◎	◎		◎	○							◎	◎	◎			◎	◎	◎		
10	06-1	借成社	T07	エリック・カールの絵本 できるかな? -あ たまからつまさきまで-	◎	○								◎		◎	○					◎	○		
11	06-1	借成社	Y01	ともだちだいすき(2) おべんとうなあに?	◎	◎								○		◎	◎				◎	◎	○		
12	06-1	借成社	Z01	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活の マナー	◎		◎							◎		◎	◎	◎			◎	◎			
13	06-2	学研	J04	ふしぎ・びつくり!? こども図鑑8 きせつ	◎		◎		◎					◎		◎	◎	◎	◎			◎	◎		
14	06-2	学研	N01	ほんとおおきさ動物園	◎	◎										◎	◎				◎	◎			
15	08-1	くもん出版	B01	生活図鑑カード たべものカード	◎	◎										◎	◎				◎	◎			
16	08-1	くもん出版	B02	生活図鑑カード くだものやさいカード1集	◎	◎										◎	◎				◎	◎			
17	08-2	グランママ	001	ぼくとわたしのせいかつえほん	◎	○										◎	◎	◎			◎	◎			
18	10-5	小峰書店	B01	りかのこうさく1ねんせい	◎				◎		◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
19	12-2	小学館	B02	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	◎			◎									◎	◎	◎			◎	◎		
20	12-7	女子栄養大	001	新・こどもクッキング	◎												◎	◎	◎			◎			
21	12-8	ジュラ	005	かいてけしてまたかける あいうえお	◎	◎										◎	◎	◎			◎	◎	○		
22	14-4	成美堂出版	006	作ってみよう! リサイクル工作68	◎											○	◎	◎	◎			◎			
23	20-1	童心社	H01	14ひきのシリーズ 14ひきのあさごはん	◎	◎		○								◎	◎	◎				◎	◎		
24	20-1	童心社	H02	14ひきのシリーズ 14ひきのびくにつく	◎	◎		○								◎	◎	◎				◎	◎		
25	27-1	ひかりのく	C12	こどものずかんMio12 きせつとしげん	◎				◎							◎	◎	◎	○			◎	○		
26	27-1	ひかりのく	K09	新装版KIDS2112 たべものひゃっか	◎											◎	◎	◎			◎	◎			
27	27-1	ひかりのく	D01	202シリーズ たべもの202	◎	○										◎	◎	◎			◎	◎			
28	27-3	ひさかた	A01	あかちゃんのための絵本 はみがきしゅわ しゅわ	◎											◎	◎					◎			
29	28-1	福音館	K01	日本傑作絵本シリーズ おふろだいすき	◎												◎	◎				◎			
30	28-1	福音館	B09	幼児絵本シリーズ やさいのおなか	◎				◎		◎					◎	◎	◎	◎			◎	◎		
31	28-1	福音館	E16	かがくのとも絵本 みんなうんち	◎											◎	◎						◎		
32	28-1	福音館	H56	こどものとも絵本 はじめてのおつかい	◎	◎											◎	◎	◎			◎			
33	28-1	福音館	K04	ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん	◎	◎										◎	◎					◎			
34	28-1	福音館	B08	幼児絵本シリーズ やさい	◎	○			◎							◎	◎	◎			◎	◎	◎		
35	28-1	福音館	B06	幼児絵本シリーズ くだもの	◎	○			◎							◎	◎				◎	◎			
36	28-1	福音館	L01	みちかなかがくシリーズ 町の水族館・町の 植物園	◎		◎										◎	◎	◎			◎	◎		
37	28-1	福音館	E02	かがくのとも絵本 たべられるしよぶつ	◎				◎								◎	◎	◎	○	◎	◎	◎		

	発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				
	発行者 コード	発行者略称	図書 コード	図 書 名	生活	国語	社会	算数	理科	音楽	図画	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学者	視覚	聴覚	知的	肢病
38	28-1	福音館	G04	福音館の科学シリーズ 道ばたの四季	◎				◎					○		◎	◎	◎	◎		○	◎	◎
39	28-1	福音館	E14	かがくのとも絵本 しんぶんしでつくろう	◎					◎						◎	◎			○		◎	◎
40	28-1	福音館	G09	福音館の科学シリーズ あそびのレシピ	◎					◎							◎	◎	◎			◎	
41	28-7	福村出版	A05	シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな	◎		◎										◎	◎	◎	○	◎	◎	
42	28-8	フレーベル	D04	ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび	◎				◎							◎	◎	◎			◎	◎	
43	29-1	平凡社	B02	新版はじめましてにほんちず	◎		◎											◎	◎			◎	◎
44	30-2	ポプラ	P04	音のでる知育絵本4 こえでおぼえるあいう えおのほん	◎	◎										◎	◎					◎	○
45	30-2	ポプラ	P16	音のでる知育絵本16 とけいがよめるように なる！！とけいくん	◎				◎							◎	◎					◎	○
46	30-2	ポプラ	C08	ペーパーランド8 おりがみえあそび	◎					◎						◎	◎	◎				◎	
47	01-1	あかね書房	A02	もじのえほん かたかなアイウエオ		◎										◎	◎	◎	◎			◎	
48	02-1	岩崎書店	E01	五味太郎のことばとかずの絵本 漢字の絵 本		◎												◎	◎			◎	◎
49	06-1	偕成社	P02	赤ちゃん版ノンタン(2) ノンタンもぐもぐも ぐ	○	◎										◎	◎					◎	◎
50	06-1	偕成社	T04	エリック・カールの絵本 くまさんくまさんな にみてるの？		◎					○					◎	◎					◎	◎
51	06-1	偕成社	H01	日本むかし話 おむすびころりん		◎											◎	◎				◎	
52	06-1	偕成社	O05	五味太郎・言葉図鑑(5) つなぎのことば		◎											◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
53	06-1	偕成社	O06	五味太郎・言葉図鑑(6) ぐらしのことば		◎												◎		◎		◎	◎
54	06-1	偕成社	O10	五味太郎・言葉図鑑(10) なまえのことば		◎										◎	◎	◎		◎		○	
55	08-1	くもん出版	C01	書きかたカード「ひらがな」		◎										◎	◎	◎	◎			◎	◎
56	08-1	くもん出版	D01	ひらがなカード		◎										◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
57	08-1	くもん出版	A03	もじ・ことば3 やさしいひらがな1集		◎										◎	◎	◎				◎	
58	08-1	くもん出版	A01	もじ・ことば1 はじめてのひらがな1集		◎										◎						◎	◎
59	08-2	グランママ	006	ことばえほん	○	◎										◎	◎	◎	◎			◎	○
60	10-4	こぐま社	B05	こぐまちゃんえほん第3集 しろうまちゃんの ほっとけーき	○	◎										◎	◎	◎		○		◎	◎
61	10-4	こぐま社	D01	ことばあそびの絵本 ふたたぬききつねね こ		◎										◎	◎	◎				◎	◎
62	10-5	小峰書店	C01	くまたんのはじめてシリーズ よめるよめる よあいうえお		◎										◎	◎	◎				◎	
63	16-4	太郎次郎社	C03	子どもがしあげる手づくり絵本 あいうえお あそび上ひらがな50音		◎													◎	◎		◎	
64	20-4	戸田デザイ	003	あいうえおえほん		◎										◎	◎	◎				◎	◎
65	20-4	戸田デザイ	007	よみかた絵本		◎											◎	◎	◎			◎	◎
66	20-5	同成社	A01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1(改訂版) (ひらがなのことば・文・文章の読み)		◎											◎	◎	◎		◎	◎	
67	20-5	同成社	A02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2(改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)		◎											◎	◎	◎		◎	◎	
68	20-5	同成社	A03	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3(改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)		◎												◎	◎	◎	◎	◎	
69	20-5	同成社	B01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1(改訂 版)(表象形成・音韻形成・発声・発音)		◎										◎	◎	◎			◎	◎	
70	20-5	同成社	B02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2 (改訂版)(ひらがなの読み書き)		◎										◎	◎	◎			◎	◎	
71	20-7	東洋館	002	ぐらしに役立つ国語		◎													◎		◎	◎	◎
72	27-2	評論社	B01	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ？	○	◎										◎						◎	○
73	27-3	ひさかた	C04	スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ		◎										◎	◎				◎	◎	◎
74	28-1	福音館	H26	こどものとも絵本 おおきなかぶ		◎								◎			◎	◎				◎	○
75	30-2	ポプラ	J01	クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろ なあと		◎											◎	◎					◎

	発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				
	発行者 コード	発行者略称	図書 コード	図 書 名	生活	国語	社会	算 数	理 科	音 楽	図 画	技 術	体 育	道 徳	外 語	小 低	小 中	小 高	中 学 校	視 覚	聴 覚	知 的	肢 体
76	40-3	リーブル	001	あつちゃんあがつくたべものあいうえお		◎										◎	◎	◎	◎		○	◎	◎
77	40-3	リーブル	503	しりとりしましょ！たべものあいうえお		◎										◎	◎	◎	◎		○	◎	
78	06-1	偕成社	S01	安全のしつけ絵本(1) きをつけようね	○		◎									◎	◎	◎	◎	○			◎
79	06-1	偕成社	Z03	子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー			◎							◎		◎	◎	◎			◎	◎	
80	10-5	小峰書店	E19	のりものえほん(しゃしん・ずかん) あたらしい関西のでんしゃずかん			◎												◎			◎	◎
81	12-2	小学館	C01	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず			◎										◎	◎	◎			◎	◎
82	12-2	小学館	C02	ドラえもんちずかん2 せかいちず			◎										◎	◎				◎	◎
83	20-4	戸田デザイン	005	にっぽんちず絵本			◎										◎	◎	◎	◎		◎	◎
84	20-4	戸田デザイン	006	せかいちず絵本			◎										◎	◎	◎				
85	20-7	東洋館	001	くらしに役立つ社会			◎												◎		◎	◎	◎
86	27-2	評論社	C01	ピーター・スピアーの絵本1 せかいのひとびと			◎												◎	○		◎	
87	27-2	評論社	A01	スカーリーおじさんの はたらく人たち			◎							◎			◎	◎		◎			
88	28-1	福音館	G05	福音館の科学シリーズ ぼくらの地図旅行			◎											◎	◎		◎		
89	28-1	福音館	M06	みぢかなながくシリーズ 町たんけん			◎							◎			◎	◎	◎		◎		
90	01-1	あかね書房	B02	あかねえほんシリーズ かたちのえほんまる・さんかく・しかくさん				◎									◎	◎	◎		◎	◎	◎
91	01-1	あかね書房	I02	あかね書房の学習えほん おかあさんだいすき1. 2. 3				◎									◎	◎	◎		◎	◎	◎
92	02-1	岩崎書店	E04	五味太郎のことばとかずの絵本 かずの絵本	○		◎									◎	◎	◎	◎			◎	◎
93	04-1	絵本館	D02	五味太郎の絵本 かずのえほん1・2・3				◎									◎	◎		○	○	◎	◎
94	08-1	くもん出版	D02	とけいカード				◎									◎	◎	◎		◎	◎	◎
95	10-1	講談社	H05	ブルーナのアイデアブック ミッフィーの1から10まで				◎									◎					◎	○
96	10-4	こぐま社	E01	こぐまちゃんえほん別冊 さよならさんかく	○		◎										◎	◎	◎			◎	
97	10-5	小峰書店	C02	くまたんのはじめてシリーズ おいしいおいしい1・2・3				◎									◎	◎				◎	
98	12-2	小学館	B06	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3				◎									◎	◎	◎			◎	
99	12-8	ジュラ	001	プータンいまなんじ？	○			◎									◎	◎		◎		◎	
100	20-4	戸田デザイン	002	1から100までのえほん				◎										◎				◎	
101	20-4	戸田デザイン	009	とけいのえほん				◎									◎	◎	◎			◎	◎
102	20-5	同成社	C01	ゆつくり学ぼうのための「さんすう」1 (量概念の基礎、比較、なかま集め)				◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎
103	20-5	同成社	C02	ゆつくり学ぼうのための「さんすう」2 (1対1対応、1～5の数、5までのたし算)				◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎
104	20-5	同成社	C03	ゆつくり学ぼうのための「さんすう」3 (6～9のたし算、ひき算、位取り)				◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎
105	20-5	同成社	C04	ゆつくり学ぼうのための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)				◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎
106	20-5	同成社	C05	ゆつくり学ぼうのための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)				◎											◎	◎	◎	◎	◎
107	20-7	東洋館	003	くらしに役立つ数学				◎												◎		◎	◎
108	27-3	ひさかた	B02	ミーミとクークのえほん ミーミとクークの1・2・3				◎									◎	◎				◎	◎
109	27-3	ひさかた	C05	スキンシップ絵本 かずのえほん				◎									◎	◎	◎	◎		◎	◎
110	28-1	福音館	I02	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本2				◎												◎		◎	
111	28-4	文化出版局	E07	どうぶつあれあれえほん第4集 かくしたのだあれ				◎									◎	◎	◎			◎	
112	30-2	ポプラ	N02	絵本・いつでもいっしょ2 どうぶつなんびき？				◎									◎	◎				◎	
113	32-1	民衆社	A02	さんすうだいすきあそぶ・つくる・しらべる2年				◎												◎		◎	

	発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				
	発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	生活	国語	社会	算数	理科	音楽	図画	技術	体育	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学	視覚	聴覚	知的	肢残
114	02-1	岩崎書店	C04	かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた					◎		◎								◎	◎	◎		
115	02-1	岩崎書店	F12	絵本図鑑シリーズ12 のはらのずかんー野の花と虫たちー					◎					◎					◎	◎	◎		
116	06-2	学研	J09	ふしぎ・びっくり!? こども図鑑9 ちきゅう					◎										◎			◎	
117	10-1	講談社	001	米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験!!					◎		◎	◎						◎	◎	◎			
118	20-4	戸田デザイン	010	昆虫とあそぼう					◎					◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
119	27-1	ひかりのく	I01	改訂新版体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん					◎					◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
120	28-1	福音館	G01	福音館の科学シリーズ 昆虫ちいさななかまたち					◎								◎	◎	◎			◎	◎
121	28-1	福音館	G03	福音館の科学シリーズ 地球その中をさぐる					◎									◎				◎	
122	28-8	フレーベル	D02	ふしぎをためすかがく図鑑 しよくぶつのさいばい					◎										◎				◎
123	20-7	東洋館	004	くらしに役立つ理科					◎										◎	◎	◎	◎	◎
124	28-8	フレーベル	D03	ふしぎをためすかがく図鑑 かがくあそび					◎										◎			◎	◎
125	06-1	偕成社	004	10+1人の絵本作家オリジナルソング集 うたのパレット					◎									◎	◎	◎			
126	08-1	くもん出版	G03	CD付き 楽器カード					◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
127	21-1	永岡書店	009	お手本のうた付き! どうようたのえほん2					◎								◎	◎				◎	
128	27-1	ひかりのく	F01	改訂新版どうようえほん1					◎								◎	◎	◎			◎	◎
129	27-1	ひかりのく	F02	改訂新版どうようえほん2					◎								◎	◎	◎			◎	◎
130	27-1	ひかりのく	F03	改訂新版どうようえほん3					◎								◎	◎	◎			◎	◎
131	27-1	ひかりのく	001	たのしいてあそびうたえほん					◎								◎			◎	◎	◎	
132	27-1	ひかりのく	002	どうようでおえかきできる どうようNEW絵かきうたブック					◎								◎	◎			◎	◎	◎
133	27-1	ひかりのく	013	あそびうたのほんCDつき					◎								◎	◎		◎	◎	◎	
134	30-2	ポプラ	O07	おとあそぼうシリーズ7 ドン!ドコ!ドン!たいこ					◎								◎	◎		◎	◎	◎	◎
135	02-1	岩崎書店	A07	あそびの絵本 クレヨンあそび							◎						◎	◎	◎			◎	
136	02-1	岩崎書店	A17	あそびの絵本 えのぐあそび							◎						◎	◎	◎			◎	◎
137	06-1	偕成社	T03	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本) わたしだけのはらぺこあおむし							◎						◎	◎	◎			◎	◎
138	06-1	偕成社	003	かこさとし うつくしい絵							◎							◎	◎	◎			
139	10-3	国土社	B14	たのしい図画工作14 こすりだし・すりだし							◎								◎				◎
140	12-2	小学館	N02	あーとぶっく ひらめき美術館第2館							◎							◎	◎			◎	
141	12-8	ジュラ	002	ぴんきいしろっおちゃんのらくがきえほんあそび!	◎						◎						◎	◎		◎	◎		
142	17-1	チャイルド	001	ぬったりかいたりらくがきBOOK							◎								◎	◎		◎	
143	27-1	ひかりのく	I08	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん					◎		◎							◎	◎	◎		◎	
144	30-2	ポプラ	A02	あそびのひろば2 やさしいてづくりのプレゼント							◎							◎	◎	◎		◎	◎
145	30-2	ポプラ	A04	あそびのひろば4 はりえあそび							◎							◎	◎			◎	
146	30-2	ポプラ	A08	あそびのひろば8 らくがきあそび							◎							◎				◎	◎
147	07-2	金の星社	F01	ひとりのできるもん! 1 たのしいたまご料理									◎					◎	◎		◎	◎	◎
148	07-2	金の星社	F04	ひとりのできるもん! 4 うれしいごはん、パン、めん料理									◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎
149	07-2	金の星社	F05	ひとりのできるもん! 5 すてきなおかし作り									◎					◎	◎		◎	◎	◎
150	06-1	偕成社	Q06	子どもの生活(6) じょうぶなからだになれよ!									◎	◎				◎	◎	◎			
151	07-2	金の星社	E01	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの?					◎					◎				◎	◎				

	発行者		図 書		教 科 等														学 年				障 害 種 別			
	発行者 コード	発行者略称	図書 コード	図 書 名	生活	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・史	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学教	視覚	聴覚	知的	肢病			
152	12-2	小学館	B11	21世紀幼稚園百科11 からだのふしぎ										◎	◎				◎	◎	◎			◎		
153	27-1	ひかりのく	I09	改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう				○						◎					◎			◎	◎			
154	27-2	評論社	B25	しかけ絵本の本棚 からだのなかとそと				○						◎	◎				◎	◎		◎	◎			
155	28-1	福音館	E13	かがくのとも絵本 きゆうきゅうばと新版										◎				◎	◎	◎		◎	◎			
156	01-1	あかね書房	I07	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんがっこうに行く											◎				◎	◎	◎	◎	◎			
157	01-1	あかね書房	I03	あかね書房の学習えほん ことばのえほんABC											◎				◎	◎	◎	◎	◎			
158	02-1	岩崎書店	E02	五味太郎のことばとかずの絵本 絵本ABC											◎				◎	◎		◎	◎	◎		
159	11-4	三省堂	C01	親子でうたう英語うたの絵じてん											◎				◎	◎	◎		◎	◎		
160	14-4	成美堂出版	005	CDつき楽しく歌える英語のうた											◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎		
161	14-4	成美堂出版	007	CDつき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話											◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎		
162	20-4	戸田デザイン	001	和英えほん											◎				◎	◎		◎				
163	20-4	戸田デザイン	004	ABCえほん											◎				◎	◎		◎	◎	◎		

	発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別						
	発行者 コード	発行者略称	図書 コード	図 書 名	生活	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・美	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中・高	視覚	聴覚	知的	肢病		
162		アポロ社		ミッフィーのやわらかえほん たのしくおけいこ	◎											◎						◎	○		
163	06-2	学研	606	ほんとおおきさ水族館	◎											◎	◎			◎	◎	◎	○		
164	28-8	フレーベル	665	アンパンマンマグネットえほん5 いろいろおてんき!	◎											◎						◎			
165	06-2	学研	605	もっと!ほんとおおきさ動物園	◎	◎										◎	◎			◎	◎	◎	○		
166	28-3	ブロンズ新	537	だるまさんが	◎	◎										◎	◎				○	◎			
167	28-3	ブロンズ新	538	だるまさんの	◎	◎										◎	◎					○	◎		
168	28-3	ブロンズ新	530	だるまさんと	◎	◎										◎	◎					○	◎		
169	08-1	くもん出版		くもんのかず絵じてん	◎			◎								◎	◎	◎	◎			◎	◎		
170	10-1	講談社	511	創作絵本 かぞえてみよう	◎			◎								◎	◎	◎	◎				◎		
171	06-2	学研	624	こどもずかん 0さい~4さいこどもずかん英語つき		◎										◎							◎		
172	06-2	学研	625	こどもずかん 0さい~4さいこどもずかん もっと英語つき		◎										◎							◎		
173	06-2	学研	626	こどもずかん 0さい~4さいこどもずかんま ち英語つき		◎										◎							◎		
174	08-1	くもん出版	525	ゆびなぞりカードひらがな		◎										◎	◎						◎	◎	
175	08-1	くもん出版	526	反対ことばカード		◎										◎	◎						◎		
176	08-1	くもん出版	640	あきびんごの創造性を育てる〇つけドリル たべもの博士		◎										◎	◎						◎		
177	78-9	文英堂	546	シグマベスト きくきくドリルSTEP1		◎										◎							◎	○	
178	78-9	文英堂	547	シグマベスト きくきくドリルSTEP2		◎										◎	◎						◎	○	
179	06-1	偕成社		だんまりこおろぎ		◎					◎		◎			◎	◎						◎	◎	
180	06-1	偕成社		さびしがりのほたる		◎					◎		◎			◎	◎						◎	◎	◎
181	27-3	ひさかた	509	スキンシップ絵本 につぼんのちずえほん			◎										◎	◎	◎				◎		
182	10-1	講談社	625	決定版心をそだてるはじめての日本の歴史 名場面101			◎													◎			◎		
183	27-4	PHP		ものしり地図絵本世界			◎											◎	◎				◎	◎	
184	27-3	ひさかた	507	せかいのこっけえほん			◎									◎							◎		
185	16-3	大日本絵画	574	あなあきしかけえほん ちいさなおたまじゃくし				◎								◎							◎	◎	◎
186	28-1	福音館	610	安野光雅の絵本 はじめてであうずうがくの絵本2				◎															◎	◎	
187	14-4	成美堂出版		中学生理科の自由研究 すぐに使える実験観察ガイド					◎														◎	◎	
188	30-2	ポプラ		音のでるたのしいおけいこえほん3 うたおう!おうた						◎							◎	◎					◎		
189	30-2	ポプラ		たのしいはりえ							◎						◎	◎	◎				◎	◎	◎
190	28-6	文研出版	509	まかせて!おてつだい1 わくわくしよくじ														◎	◎				◎		
191	28-6	文研出版	508	まかせて!おてつだい2 わくわくそうじ・かたづけ															◎	◎				◎	
192	65-7	草思社	515	みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと								◎	○	◎					◎	◎			◎	◎	◎
193	11-4	三省堂	543	キッズクラウンスタンダードコース												◎							◎	◎	

(参考資料) 令和3年度使用西宮版一覧から外した図書

発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				外した理由	
発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	生活	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・美	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学校	視覚	聴覚	知的		肢病
30-2	ポプラ	M01	うたってかいてけせるえほん1 音のでるえかきうた						◎							◎	◎				◎		令和3年度用一般図書から削除されることが決定しており、発行予定がないため。
30-2	ポプラ	P07	音のでる知育絵本7 こえでおぼえる123かずのほん	◎			◎								◎	◎					◎	○	令和3年度用一般図書から削除されることが決定しており、発行予定がないため。
10-5	小峰書店	E19	のりものえほん(しゃしん・ずかん)あたらしい関西のでんしゃずかん				◎											◎			◎	◎	令和3年度用一般図書から削除されることが決定しており、発行予定がないため。

令和3年度使用西宮版一覧に加えた図書

発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				加えた理由	
発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	生活	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・美	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学校	視覚	聴覚	知的		肢病
121	20-7 東洋館	004	くらしに役立つ理科					◎										◎		◎	◎	◎	小学校で学ぶ内容が図とともに分かりやすく示されており、職業科受検をめざす生徒にはふさわしいと思われる。

令和3年度使用西宮版一覧で「教科等」「学年」「障害種別」を変更した図書

発行者		図 書		教 科 等										学 年				障 害 種 別				変更点とその理由	
発行者コード	発行者略称	図書コード	図 書 名	生活	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・美	技・家	体・保	道徳	外国語	小低	小中	小高	中学校	視覚	聴覚	知的		肢病
19	12-2 小学館	B02	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	◎			◎									◎	◎	◎			◎	○	色々な種類の時計の写真、分かりやすく図示した内容、文字数で構成され、時計の概念が詳しく説明されており、小学校、中学年にも分かりやすい。用紙が丈夫でめくりやすく、肢体不自由・病弱学級での学習にも適している。
30	28-1 福音館	B09	幼児絵本シリーズ やさいのおなか	◎				◎		◎					◎	◎	○	○			◎	◎	野菜の断面がイラストで大きく表示されており、理科の学習や図工・美術のデッサン・スケッチの学習にも適している。小学校低学年から中学校、肢体不自由・病弱学級においても学習効果が期待できる。
56	08-1 くもん出版	D01	ひらがなカード		◎										◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	大きなイラストとひらがなで構成されており、視覚による言語発達を促すために、小学校低学年や難聴学級、知的障害学級、肢体不自由・病弱学級での学習にも効果的である。
73	27-3 ひさかた	C04	スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ		◎										◎	◎					◎	◎	カタカナとひらがなが併記され、イラストと5種類の例語で示されており、視覚による言語発達を促すため、知的障害学級、肢体不自由・病弱学級での学習にも効果的である。
147	07-2 金の星社	F05	ひとりのできるもん！5 すてきなおかし作り									◎					◎	◎		◎	◎	◎	調理手順がイラストで分かりやすく説明され、活動意欲が湧く内容となっており、小学校高学年や肢体不自由・病弱学級での学習にも効果が期待できる。
157	11-4 三省堂	C01	親子でうたう英語うたの絵じてん											◎				◎	◎		◎	◎	聞き慣れた曲が使用され、CDが添付されているので、生徒の興味関心を惹き、弱視学級や肢体不自由・病弱学級での学習にも効果的である。
158	14-4 成美堂出版	005	CDつき楽しく歌える英語のうた											◎				◎	◎	○	◎	◎	手遊び歌を通して英語の学習ができる内容構成になっており、楽譜とCDが添付されているため、どの障害種別にも効果が期待できる。
159	14-4 成美堂出版	007	CDつき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話											◎				◎	◎	◎	◎	◎	会話の場面が分かりやすくイラストで描かれ、カタカナで発音表記がされているため、どの障害種別にも学習効果が期待できる。

発行者コード・略称及び正式名称

発行者コード	発行者略称	発行者名
01-1	あかね書房	株式会社 あかね書房
02-1	岩崎書店	株式会社 岩崎書店
04-1	絵本館	株式会社 絵本館
05-1	大阪教育図	大阪教育図書 株式会社
06-1	借成社	株式会社 借成社
06-2	学研	株式会社 学研プラス
06-4	開隆堂出版	開隆堂出版 株式会社
07-2	金の星社	株式会社 金の星社
07-4	教芸	株式会社 教育芸術社
08-1	くもん出版	株式会社 くもん出版
08-2	グランまま	株式会社 グランまま社
10-1	講談社	株式会社 講談社
10-2	好学社	株式会社 好学社
10-3	国土社	株式会社 国土社
10-4	こぐま社	株式会社 こぐま社
10-5	小峰書店	株式会社 小峰書店
10-8	合同出版	合同出版 株式会社
10-9	こばと	有限会社 KOBATO
11-1	さえら	株式会社 さえら書房
11-4	三省堂	株式会社 三省堂
12-2	小学館	株式会社 小学館
12-7	女子栄養大	女子栄養大学出版部
12-8	ジュラ	株式会社 ジュラ出版局
12-10	視覚デザイ	株式会社 視覚デザイン研究所
13-2	鈴木出版	鈴木出版 株式会社
14-3	育成会	全国手をつなぐ育成会連合会
14-4	成美堂出版	成美堂出版 株式会社
14-5	世界文化社	株式会社 世界文化社
15-3	草思社	株式会社 草思社
16-3	大日本絵画	株式会社 大日本絵画
16-4	太郎次郎社	株式会社 太郎次郎社エディタス
10-10	コクヨ	コクヨ 株式会社

発行者コード	発行者略称	発行者名
17-1	チャイルド	株式会社 チャイルド本社
20-1	童心社	株式会社 童心社
20 2	ドレミ楽譜	株式会社 ドレミ楽譜出版社
20-3	東京書店	東京書店 株式会社
20-4	戸田デザイ	有限会社 戸田デザイン研究室
20-5	同成社	株式会社 同成社
20-7	東洋館	株式会社 東洋館出版社
21-1	永岡書店	株式会社 永岡書店
21-2	ナツメ社	株式会社 ナツメ社
22-3	日本教育研	株式会社 日本教育研究出版
25-1	のら書店	有限会社 のら書店
27-1	ひかりのく	ひかりのくに 株式会社
27-2	評論社	株式会社 評論社
27-3	ひさかた	株式会社 ひさかたチャイルド
27-4	PHP	株式会社 PHP研究所
28-1	福音館	株式会社 福音館書店
28-2	婦人之友	株式会社 婦人之友社
28-3	ブロンズ新	株式会社 ブロンズ新社
28-4	文化出版局	学校法人 文化学園文化出版局
28-6	文研出版	文研出版
28-7	福村出版	福村出版 株式会社
28-8	フレーベル	株式会社 フレーベル館
29-1	平凡社	株式会社 平凡社
30-2	ポプラ	株式会社 ポプラ社
32-1	民衆社	株式会社 民衆社
33-1	むぎ書房	有限会社 むぎ書房
36-1	山と溪谷社	株式会社 山と溪谷社
40-1	理論社	株式会社 理論社
40-3	リーブル	株式会社 リーブル
05-3	旺文社	株式会社 旺文社
07-5	教育画劇	株式会社 教育画劇